

2016年度

# 秋田県立近代美術館年報

**Akita Museum of Modern Art** Annual Report, 2016



沿革	2
美術館の事業紹介	3
2016(平成28)年度事業一覧	5
展示事業	
江戸の遊び絵づくし - おもしろ浮世絵ご覧あれ!	7
ホキ美術館展 -これが写実だ! 驚きと感動の絵画	15
橘小夢とその時代 -幻の画家、ふるさとに咲く	17
生誕150年 寺崎廣業とその時代展	25
絵画×物語 描かれたストーリー	28
コレクション展	30
教育普及事業	
キンビ・創作体験プログラム	36
ミュージアムコンサート	40
美術館講座・美術講演	41
出前美術館・出前美術展	43
ネットワーク推進事業	46
“ふれんどリーギャラリー”を活用した学校による展示事業	49
セカンドスクールの利用	50
博物館実習	51
ボランティア活動	51
収集事業	
美術品収集	52
図書資料	55
美術品保存・修復	55
重要文化財等指定	55
燻蒸	55
美術品貸し出し	56
調査・研究業績	57
刊行物	58
入館状況	59
組織	60
建築・設備概要	61
関係法規	62
館内図	64
利用・交通案内	66

## 沿革

1988(昭和63)年	11月		秋田ふるさと村(仮称)建設基本構想策定
1989(平成元)年	5月		秋田郷土美術館(仮称)建設基本構想策定
	12月		秋田ふるさと村(仮称)建設基本計画策定
1990(平成2)年			文化課に新美術館建設準備担当設置
	6月		用地取得・造成工事着手
1991(平成3)年	6月		美術館建設工事着手
1993(平成5)年	6月		美術館建設工事完成
1994(平成6)年	4月	20日	開館
1997(平成9)年	10月	2日	天皇・皇后両陛下下行幸啓
1999(平成11)年	4月		秋田ふるさと村入村料無料化
2001(平成13)年	1月		展示室以外の館内無料化
	9月	26日	入館者数1,000,000人を達成
2007(平成19)年	10月		入館者数1,500,000人を達成
2009(平成21)年	4月		特別展観覧料学生以下無料
2013(平成25)年	7月		入館者数2,000,000人を達成

# 美術館の事業紹介

## ◆ 展 示

### 企画展

美術館独自の企画、他美術館・諸団体との共催により、広く内外の美術を対象に特色あるテーマをもった展覧会を開催します。

### コレクション展

当館所蔵作品を年4回の展示替えを行いながら、常時公開するものです。

## Exhibition

### Special Exhibition

Under a unique theme, native and foreign artwork are displayed in cooperation with other museums and organizations.

### Permanent Exhibition

A portion of our collection is regularly displayed and each is rotated every few months.

## ◆ 収 集

近代以降の優れた美術作品を中心に、近・現代美術の思潮をたどるうえで必要な作品や資料を収集します。

- ①秋田蘭画・初期洋風画作品及び資料
- ②近代以降の本県出身及びゆかりの作家の作品や資料
- ③日本の美術思潮を学ぶことのできる作品や資料
- ④当館の収集作品としてふさわしい内外の美術作品や資料

## Purchasing Activities

In order to follow the current trends in modern and present day thought in fine art, our collection of fine works concentrates mostly on the postmodern era as described below.

- ① The Akita School of Ranga paintings, early westernstyle paintings in Japan, and the materials associated with these works.
- ② The fine art work of modern artists who are closely connected to, or are from Akita Prefecture, and related materials.
- ③ Works which teach us about the current thought in Japanese fine art, and the materials associated with these works.
- ④ Other native and foreign works which are of great substance, and the materials associated with them.

## ◆ 保存管理

優れた美術作品の散逸・損傷・亡失を防ぎ、後世に伝えるため、調査研究を行い、良好な環境の中で保存します。

## Preservation

We have preserved all of the fine works in the best condition possible in order to prevent them from being scattered, damaged or lost.

We wish to continually improve our research and hand down these collections to future generations.

#### ◆ 調査研究

当館の各種事業の充実を図るため、その基礎となる次のような調査研究活動を行います。

- ①収蔵品に関する調査研究
- ②秋田県の近・現代美術に関する調査
- ③保存・管理、教育普及活動、展示活動、創作に関する調査研究
- ④その他の調査

#### Research Activities

We are constantly researching in order to increase our knowledge and to improve the museum's collections.

- ① Permanent collection
- ② Modern and contemporary fine art from Akita Prefecture
- ③ Topics relating to the creation, exhibition and preservation of art, as well as the contribution of fine art to education
- ④ Other researchs

#### ◆ 広報出版

県民に親しまれる芸術文化活動の拠点として、種々の印刷物の刊行やマスメディアとの連携等により、美術館事業に関する情報を提供します。

#### Publicity Works Activities

As a center of art and cultural activity for People in Akita, we provide information about museum operations through pamphlets and the mass media.

#### ◆ 教育普及

誰でもが気軽に利用できる美術館を目指し、展示活動を始め、講演会・美術館講座・実技講座等様々な事業を行います。また、美術館ボランティアAMC(アムック)との連携により、より積極的な普及活動を行います。

#### Educational Activities

In cooperation with the museum volunteer group(AMC), we hold various lectures, seminars and workshops.

# 2016(平成28)年度事業一覧

月	企画展	コレクション展	◆移動展等 ◇アーティストトークほか
2016	2月13日(土)～4月17日(日) 企画展 食 ～自然からの恵み～	1月22日(金)～4月10日(日) 2015コレクション展 第4期 高橋功 永遠からの振動	
4			
5	4月23日(土)～6月26日(日) 特別展 江戸の遊び絵づくし ～おもしろ浮世絵ご覧あれ!	4月13日(水)～7月10日(日) 2016コレクション展 第1期 斎藤寅彦 時の跡	◇4/26(日)江戸の遊び絵づくし展特別講演会 「江戸の遊び絵を解く」 講師：中右 瑛 氏(国際浮世絵学会常任理事)
6			◇5/ 8(日)江戸の遊び絵づくし展 ABSアナウンサーとのギャラリートーク ABS秋田放送 椿田恵理子アナウンサー、当館学芸主事
7	7月2日(土)～9月11日(日) 特別展 ホキ美術館展 －これが写実だ！驚きと感動の 絵画	7月13日(水)～10月10日(月・祝) 2016コレクション展 第2期 没後60年 高橋萬年	◇6/ 5(日)江戸の遊び絵づくし展 ABSアナウンサーとのギャラリートーク ABS秋田放送 関向良子アナウンサー、当館学芸主事
8			◇7/ 2(土)ホキ美術館展記念講演会 「リアリズム絵画とは何だろうか？」 講師：野田 弘志 氏 (広島市立大学名誉教授・噴火湾アートビレッジ顧問)
9			◇8/ 6(土)・7(日)ホキ美術館展ワークショップ 「美術館を描こう！～写実に挑戦！～」 講師：安彦 文平 氏(宮城教育大学准教授)
10	9月17日(土)～11月27日(日) 特別展 橘小夢とその時代展 －幻の画家、ふるさとに咲く		◇9/17(土)橘小夢とその時代展オープニングスペシャルトーク 「秋の秋田で小夢を語る」 ゲスト：荒俣 宏 氏(作家・評論家)、 加藤 宏明 氏、加藤 千鶴 氏(橘小夢・孫)
11		10月13日(水)～1月9日(月・祝) 2016コレクション展 第3期 異国へのまなざし －画家たちが描いたもの－	◆10/2(日)～10/23(日) ネットワーク事業第1期「食 ～自然からの恵み～」 会場：秋田県立図書館 2階特別展示室
12	12月3日(土)～2月5日(日) 特別展 生誕150年 寺崎廣業とその時代展		◇10/ 9(日)橘小夢とその時代展記念講演会 「橘小夢の生涯と仕事／竹久夢二と秋田」 講師：中村 圭子 氏(弥生美術館学芸員)
	12/29(木)～31(土) 年末休館		◆10/29(土)～11/ 3(木・祝) 出前美術館 ～ARTが学校にやってきました～ 会場：大潟村立大潟小学校・中学校
2017	同上	同上	◆12/18(日)～1/30(月) ネットワーク事業第2期 「油彩画の魅力 横手・湯沢の洋画家たち」 会場：秋田県立図書館 2階特別展示室
1			
	1/10(火)～19(木) メンテナンス休館		
2	2月11日(土)～4月16日(日) 企画展 絵画×物語 描かれたストーリー	1月20日(金)～4月9日(日) 2016コレクション展 第4期 My コレクション －寄託作品のご紹介－	◆2/15(水)～2/26(日)出前美術展「画家たちの写生帳」 会場：能代エナジウムパーク
3			

※文中敬称略

		2016
	★4/16(土)2016コレクション展 第1期「斎藤寅彦 時の跡」ギャラリートーク① ②回目：6/12(日) ★4/24(日)江戸の遊び絵づくし展ギャラリートーク	4
◇平成28年度 秋田県立近代美術館館長講座 「－浮世絵に遊ぶ－」 5/7(土) 菱川師宣 －浮世絵の誕生－ 6/4(土) 奥村政信 －見立て絵の遊び－ 7/23(土) 鈴木春信 －吾妻錦絵の魅力－ 9/10(土) 勝川春章・鳥居清長 －市井文化高揚の時－ 10/22(土) 喜多川歌麿 －青楼の画家？－ 11/12(土) 東洲斎写楽 －真をあばく－「摺物」の世界 12/17(土) 葛飾北斎 －百まで描こうとした絵師－ 2/11(土) 歌川広重・歌川国芳と幕末明治の浮世絵 講師：仲町啓子 (秋田県立近代美術館館長、実践女子大学文学部教授)	●5/8(日) みんなの教室「私って誰だろう？ 写真コラージュポートレート」 講師：浅野 壽里 氏(美術家・ART&ENGLISH"森のおと"主宰) ○5/15(日)江戸の遊び絵づくし展ワークショップ「等身大！影絵で遊ぶ！」① ②回目：6/11(土) ◎5/22(日)「遊 ～江戸を奏でる～」コンサート	5
	●6/4(土)・5(日)美術館教室「水彩で描く」 講師：鈴木 司 氏(秋田公立美術大学美術センター教授)	6
	★7/10(日)ホキ美術館展ギャラリートーク① ②回目：7/31(日) ●7/17(日)きつずあーと「びしゃびしゃアート」 ★7/24(日)2016コレクション展 第2期「没後60年 高橋萬年」ギャラリートーク① ②回目：9/18(日)	7
	●8/20(土)みんなの教室「コマ撮りアニメーション」 講師：松村 泰三 氏(東北芸術工科大学准教授) ☆8/21(日)先生のための美術館講座「手づくりメディアアート」 講師：松村 泰三 氏(東北芸術工科大学准教授) ◎8/28(日)浅野未希&斎藤洋 ヴァイオリン・ピアノデュオコンサート	8
◇平成28年度あきたスマートカレッジ連携講座 明快！Artゼミ ① 5/26(木) 「おもしろ浮世絵『遊び絵』の世界 －江戸のユーモア再発見－」 講師：鈴木 京 (秋田県立近代美術館学芸主事) ② 7/15(金) 「写実絵画を見る －ホキ美術館所蔵作品を中心に－」 講師：保泉 充 (秋田県立近代美術館主任学芸主事) ③ 10/14(金) 「幻の画家・橘小夢とその時代」 講師：奈良 香 (秋田県立近代美術館学芸主事)	●9/3(土)・4(日)美術館教室 型染め教室「ハンカチを染めよう」 講師：森 香織 氏(秋田公立美術大学助教) ★9/25(日)橘小夢とその時代展ギャラリートーク ②回目：10/23(日)	9
	★10/15(土)2016コレクション展 第3期「異国へのまなざし」ギャラリートーク① ②回目：11/20(日) ●10/16(日)きつずあーと「どろどろアート」 ◎11/3(木・祝)トレコンアモーレ Autumn コンサート ●11/5(土)・6(日)美術館教室 日本画教室「猫を描こう」 講師：小笠原 光 氏(日本画家)	10
	★12/4(日)寺崎廣業とその時代展ギャラリートーク ②回目：1/22(日) ●12/11(日)みんなの教室「なが〜い絵巻物を描こう」	11
		12
		2017
	★1/29(日)2016コレクション展 第4期「My コレクション」ギャラリートーク① ②回目：2/19(日) ◎2/5(日)茂木風歌&優希 ピアノデュオリサイタル ★2/12(日)絵画×物語展ギャラリートーク① ②回目：3/5(日)	1
		2
		3

# 展示事業

## i. 特別展

### 江戸の遊び絵づくし ~おもしろ浮世絵ご覧あれ！

会 期：2016(平成28)年4月23日(土)～6月26日(日) (65日間)  
 主 催：江戸の遊び絵づくし展実行委員会  
 (ABS秋田放送・秋田県立近代美術館)  
 後 援：横手市／横手市教育委員会／秋田魁新報社／  
 河北新報社／横手かまくらFM／  
 エフエムゆーとびあ／FMはなび  
 企画協力：株式会社アートワン  
 監 修：稲垣 進一、中右 瑛、恵 俊彦  
 担 当：鈴木 京、木村雅洋

江戸の遊び絵をテーマに、江戸中期から明治初期の浮世絵177点を展示した。歌川国芳の寄せ絵や戯画をはじめ、影絵、絵文字、判じ絵など、人々が楽しんだ様々なテーマを紹介し、江戸の遊びの文化を味わうことのできる展覧会となった。関連事業には監修者の中右瑛氏の講演会をはじめ、ABSアナウンサーとのギャラリートーク、ミュージアムコンサート、ワークショップなどを行い、展示と合わせてお楽しみいただいた。



#### 第1展示室

No	絵師名	作品名	判型・形態・技法	制作年代	版元	額寸 (cm)
一	よって、たかって、こしらえる 〈寄せ絵〉					
1	歌川国芳	みかけハこハあがとんだいゝ人だ	大判錦絵	弘化4-嘉永元年 (1847-48)	藤岡屋彦太郎	54.9×43.4
2	歌川国芳	としよりのよふな若い人だ	大判錦絵	弘化4-嘉永元年 (1847-48)	藤岡屋彦太郎	54.9×43.4
3	歌川国芳	人をばかにした人だ	大判錦絵	弘化4-嘉永元年 (1847-48)	大和屋久兵衛	54.9×43.4
4	歌川国芳	人かたまつて人になる	大判錦絵	弘化3-嘉永元年 (1846-48)	大和屋久兵衛	54.9×43.4
5	歌川国芳	年が寄ても若い人だ	大判錦絵	弘化4-嘉永3年 (1847-50)	伊場屋仙三郎	54.9×43.4
6	歌川芳盛	おあひだか寄合人となる	大判錦絵	文久2年(1862)	版元未詳	54.9×43.4
7	歌川芳藤	からの子がよりかたまつて人になる	大判錦絵	弘化4-嘉永元年 (1847-48)	玉屋惣助	54.9×43.4
8	歌川貞房	忠臣蔵見立人形	大判錦絵	弘化3-嘉永元年 (1846-48)	版元未詳	54.9×43.4
9	(無款・作者未詳)	北国のおばけ	大判錦絵	幕末期	版元未詳	54.9×43.4
10	歌川国芳	開運出世合躰七福神	大判錦絵	天保14-弘化3年 (1843-46)	藤岡屋彦太郎	54.9×43.4
11	歌川芳藤	小猫寄り集まって大猫になる	大判錦絵	弘化4-嘉永元年 (1847-48)	版元未詳	54.9×43.4
12	歌川芳藤	五拾三次之内猫之怪	大判錦絵	弘化4-嘉永元年 (1847-48)	版元未詳	54.9×43.4
13	関斎	ふんだん たるまづ画	大判錦絵	弘化4-嘉永元年 (1847-48)	小林泰治郎	54.9×43.4
14	(無款・作者未詳)	破れ壁に達磨 [銭だるま]	大判錦絵	安政2年(1855)頃	版元未詳	54.9×43.4

15	(無款・作者未詳)	難義鳥	大判錦絵	安政2年(1855)頃	版元未詳	54.9×43.4
16	(無款・作者未詳)	天加羅渡利 泡喰鳥	大判錦絵 二枚続	慶応4年(1868)頃	版元未詳	54.9×72.0
17	(無款・作者未詳)	分鳥 一名カツ鳥	大判錦絵	慶応4年(1868)頃	版元未詳	54.9×43.4
18	(無款・作者未詳)	無欲の鳥	中判錦絵	弘化3-嘉永元年 (1846-48)	東盛堂	54.9×43.4
19	歌川国芳	欲といふ獣	間倍判錦絵	弘化4-嘉永元年 (1847-48)	鶴屋喜右衛門か	54.9×72.0
20	(無款・作者未詳)	おそろししのけだもの	大判錦絵 二枚続	慶応元年(1865)頃	版元未詳	54.9×72.0
21	遠浪斎重光	寿と云ふ獣	大判錦絵	弘化-嘉永期 (1844-54)頃	川金	54.9×43.4
22	歌川国芳	福神之図 年中行事菩薩	大判錦絵	弘化3-嘉永元年 (1846-48)	彫正	54.9×43.4
23	(無款・作者未詳)	延寿安穩之見酔	大判錦絵	安政期(1854-60)頃	版元未詳	54.9×43.4
二 ふしぎなからだ-合体・あべこべ・顔三つ! <奇跡画>						
24	歌川貞景	五子十童図	大判錦絵	天保期(1830-44)頃	山本屋平吉	54.9×43.4
25	歌川芳藤	五人のあたまで十人に見ゆる	大判錦絵	文久元年(1861)3月	辻岡屋文助	54.9×43.4 ※辻:しんによう点2つ
26	歌川芳藤	三面六身之図	大判錦絵	慶応3年(1867)2月	杉屋清兵衛	54.9×43.4
27	歌川芳虎	新工夫 五人十人 きょうかい いちらん	大判錦絵	弘化元-弘化3年 (1844-46)	清水屋直次郎	54.9×43.4
28	歌川芳員	五首十童遊	大判錦絵	安政6年(1859)4月	遠州屋彦兵衛	54.9×43.4
29	歌川芳艶	六し十二童かくべへの図	大判錦絵 二枚続	弘化4-嘉永3年 (1847-50)	版元未詳	54.9×72.0
30	歌川国芳	一頭多体図 [組討の武者ほか]	大判錦絵	天保末期(1839-42)頃	山本屋平吉	54.9×43.4
31	歌川国芳	一頭多体図 [長五郎長吉ほか]	大判錦絵	天保末期(1839-42)頃	山本屋平吉	54.9×43.4
32	歌川国芳	欠留人物更紗	大判錦絵	天保後期(1838-44)頃	山本屋平吉	43.4×54.9
<顔面絵>						
33	歌川国芳	両面相 伊久 げどふ だるま とくさかり	大判錦絵	嘉永2-3年(1849-50)	井筒屋庄吉	54.9×43.4
34	歌川国芳	両面相 奇異上下見之図	大判錦絵	天保12年(1841)頃	江崎屋辰蔵	54.9×43.4
35	歌川芳虎	道外上下見ノ図	大判錦絵	文久元年(1861)10月	加藤屋岩蔵・ 清兵衛	54.9×43.4
36	歌川芳虎	道外上下見之図	大判錦絵	文久2年(1862)6月	加藤屋岩蔵・ 清兵衛	54.9×43.4
37	歌川国芳	百色面相 (あくび ほか)	大判錦絵	天保中期(1835-39)頃	伊勢屋三次郎	43.4×54.9
38	歌川国芳	百色面相 (目のごみ ほか)	大判錦絵	天保中期(1835-39)頃	伊勢屋三次郎	43.4×54.9
39	歌川芳艶	開運出世三面大黒天	大判錦絵	天保14-弘化3年 (1843-46)	丸屋甚八	54.9×43.4
40	歌川貞房	寿三面布袋	大判錦絵	天保14-弘化3年 (1843-46)	上州屋重蔵	54.9×43.4
41	小林清親	西京舞子嘉代 大坂舞子一鶴 東京藝妓小吉	大判錦絵	明治10年代 (1877-86)頃	松木平吉	54.9×43.4
42	二代 歌川芳艶	貴面之寄鏡 勝安房公・楠本 正隆公・由利公正公	大判錦絵	明治11年(1878)6月	遠山久	54.9×43.4
43	二代 歌川芳艶	貴面之寄鏡 三條實美公・ 岩倉具視公・西郷従道卿	大判錦絵	明治11年(1878)2月	遠山久	54.9×43.4

<隠し絵>

44	歌川広重	平清盛怪異を見る図	大判錦絵 三枚続	天保14-弘化3年 (1843-46)	伊場屋久兵衛	54.9×95.0
45	歌川国芳	国芳もやう 正札附現金男 野晒悟助	大判錦絵	弘化元-3年 (1844-46)	伊場屋久兵衛	54.9×43.4
46	歌川芳員	源義経平知盛ノ霊ニ逢図 ※逢：しんによう点2つ	大判錦絵 三枚続	嘉永4年(1851)	伊勢屋兼吉	54.9×95.0

## 第2展示室

No	絵師名	作品名	判型・形態・技法	制作年代	版元	額寸 (cm)
<b>三 幸せはこぶラッキーアイテム ＜七福神＞</b>						
47	歌川国芳	七福神 宝の蔵入	大判錦絵 三枚続	嘉永2-5年 (1849-52)	辻岡屋文助 ※ 辻：しんによう点2つ	54.9×95.0
48	歌川国芳	七福神岩戸の蔵開	大判錦絵 三枚続	安政3年(1856)10月	遠州屋彦兵衛	54.9×95.0
49	歌川国芳	戯遊 七福神	大判錦絵 三枚続	安政6年(1859)11月	丸屋徳蔵	54.9×95.0
50	春川英蝶(英笑)	大黒天と兎の火消 ＜福女・福助・有卦絵＞	大判錦絵	江戸後期	版元未詳	54.9×43.4
51	三代 歌川豊国 (歌川国貞)	丙午の俗説を辨ず	大判錦絵	弘化元-3年 (1844-46)	版元未詳	54.9×43.4
52	歌川広重	有卦絵 ふ尽しのお福	大判錦絵	安政2年(1855)正月	山田屋庄次郎	54.9×43.4
53	歌川広重	有卦絵 大津絵の福助お福	大判錦絵	安政2年(1855)正月	辻屋安兵衛 ※ 辻：しんによう点2つ	54.9×43.4
54	歌川国芳	有卦福曳の図	大判錦絵 二枚続	安政5年(1858)4月	恵比須屋庄七	54.9×72.0
55	歌川芳藤	有卦絵 ふ尽しの福禄寿	大判錦絵	嘉永5年(1852)5月	辻岡屋文助 ※ 辻：しんによう点2つ	54.9×43.4
56	歌川芳藤	有卦絵 ふ尽しの福助	大判錦絵	安政5年(1858)3月	辻岡屋文助 ※ 辻：しんによう点2つ	54.9×43.4
57	歌川芳藤	有卦絵 ふ尽しのお福	大判錦絵	嘉永2年(1849)頃	辻岡屋文助 ※ 辻：しんによう点2つ	54.9×43.4
58	歌川芳藤	有卦絵 福助お福の宝船	大判錦絵	文久元年(1861)7月	辻岡屋文助 ※ 辻：しんによう点2つ	54.9×43.4
59	歌川藤よし	有卦絵 ふ尽しの福助	大判錦絵	慶応3年(1867)正月	相ト	54.9×43.4
60	歌川藤よし	有卦絵 お福の面	大判錦絵	慶応3年(1867)正月	版元未詳	54.9×43.4
61	歌川藤よし	有卦絵 福助のふ尽し身振絵	大判錦絵	慶応3年(1867)正月	遠州屋彦兵衛	54.9×43.4
62	豊原国周	有卦絵 ふうふむつまし木	大判錦絵	文久元年(1861)5月	山田屋庄次郎	54.9×43.4
<b>四 チャレンジ!江戸っ子と知恵くらべ ＜文字絵＞</b>						
63	葛飾北斎	(六歌仙) 大伴黒主	大判錦絵	文化中期(1809-13)頃	江崎屋吉兵衛か	54.9×43.4
64	葛飾北斎	(六歌仙) 喜撰法師	大判錦絵	文化中期(1809-13)頃	江崎屋吉兵衛か	54.9×43.4
65	葛飾北斎	(六歌仙) 文屋康秀	大判錦絵	文化中期(1809-13)頃	江崎屋吉兵衛か	54.9×43.4
66	葛飾北斎	(六歌仙) 在原業平	大判錦絵	文化中期(1809-13)頃	江崎屋吉兵衛か	54.9×43.4
67	歌川広重	狂筆蝠寿の姿見(暫・勸進帳)	大判錦絵 (中判二丁掛)	嘉永2-5年 (1849-52)	伊場屋仙三郎	54.9×43.4
68	歌川広重	狂筆蝠寿の姿見(御所五郎蔵・ 伽羅先代萩)	大判錦絵 (中判二丁掛)	嘉永2-5年 (1849-52)	伊場屋仙三郎	54.9×43.4
69	清川種春	新板字づくし	大判 藍摺 絵二枚組	文久元年(1861)8月、 2年(1862)9月	小川半助	各54.9×43.4
70	歌川小芳盛	しん板文字絵つくし	大判錦絵	幕末期	版元未詳	54.9×43.4
71	(無款・作者未詳)	享保九年大小曆草稿 [西行法師]	大判墨 摺絵	享保9年(1724)頃	版元未詳	54.9×43.4

72	田祐之	明和二年大小曆 [おいらん立姿]	中判錦絵	明和2年(1765)頃	版元未詳	54.9×43.4
73	伝歌川広重 (賛)万亭應賀	嘉永七年大小曆 [宝船ほか]	小判錦絵 四枚組	嘉永7年(1854)頃	版元未詳	72.0×54.9
74	三代 歌川豊国 (歌川国貞)	七福神 壽 柱建之図	大判錦絵 三枚続	嘉永6年(1853)6月	恵比須屋庄七	54.9×95.0
75	歌川国芳	浮世よしづ久志	大判錦絵 二枚続	弘化3-嘉永元年 (1846-48)	野村屋徳兵衛か	54.9×72.0
76	歌川国貞	金のなる木繁栄ノ図	大判錦絵 三枚続	天保3-7年 (1832-36)頃	山本屋平吉	54.9×95.0
77	歌川国芳	しやうじ木	大判錦絵	江戸後期	山本屋平吉・ 有田屋清右衛門	54.9×43.4
78	歌川芳虎	開運(金の成る木)	大判錦絵二枚 続(掛物絵)	安政6-明治8年 (1859-75)	和泉屋市兵衛	95.0×54.9
79	歌川広重	六花撰	長判摺物	(復刻版) 明治期	版元未詳	54.9×72.0
80	二代 喜多川歌麿	一筆だるま	大判墨 摺絵	文化4-天保2年 (1807-31)頃	版元未詳	54.9×43.4
<b>&lt;絵文字&gt;</b>						
81	歌川国芳	猫の当字 ふぐ	大判錦絵	天保末期(1841-43)頃	伊場屋仙三郎	54.9×43.4
82	歌川国芳	猫の当字 かつを	大判錦絵	天保末期(1841-43)頃	伊場屋仙三郎	54.9×43.4
83	河鍋暁斎	甘党づくしの当字 しるこ	間判錦絵	文久期(1861-64)頃	上州屋重蔵	43.4×54.9
84	歌川国麿	火性の人うけに入	大判錦絵	嘉永5年(1852)7月	版元未詳	54.9×43.4
<b>&lt;判じ絵&gt;</b>						
85	歌川国貞	役者はんじもの(岩井半四郎)	大判錦絵	文化9年(1812)	西村屋与八	54.9×43.4
86	歌川国貞	役者はんじ物(瀬川路考)	大判錦絵	文化9年(1812)	西村屋与八	54.9×43.4
87	二代 歌川広重 (歌川重宣)	しょく類はんじ物 上戸	大判錦絵	嘉永4年(1851)	辻屋安兵衛 ※辻:しんによう点2つ	54.9×43.4
88	二代 歌川国盛	さかなのはんじもの 上・中・下	大判錦絵 三枚組	嘉永2年(1849)頃	辻屋安兵衛 ※辻:しんによう点2つ	各54.9×43.4
89	歌川芳虎	流行 道化拳はんじ物	大判錦絵	弘化4-嘉永元年 (1847-48)	版元未詳	54.9×43.4
90	(無款・作者未詳)	国づくしはんじ物	大判錦絵	嘉永2-5年 (1849-52)	版元未詳	43.4×54.9
91	歌川国芳	武者尽はんじもの	大判錦絵	嘉永2-5年 (1849-52)	若狭屋与市	54.9×43.4
92	歌川国芳	はんじもの	大判錦絵	嘉永2-5年 (1849-52)	玉屋惣助	54.9×43.4
93	歌川貞房	成駒屋仕入新形・音羽屋 仕入新形	大判錦絵 二枚	天保期(1830-44)頃	川口屋長蔵	54.9×72.0
<b>&lt;地口絵&gt;</b>						
94	歌川国芳	其まゝ地口猫飼好五十三疋 上・下	大判錦絵三枚 続の内二枚	弘化4-嘉永3年 (1847-50)	伊場屋仙三郎	各54.9×43.4
95	歌川国芳	妙名異相胸中五十三面	大判錦絵九枚 組の内四枚	弘化4-嘉永元年 (1847-48)	杉屋清兵衛	各54.9×43.4

### 第3展示室

No	絵師名	作品名	判型・形態・技法	制作年代	版元	額寸 (cm)
<b>五 身振り手振りでこれな〜んだ?</b>						
<b>&lt;身振絵&gt;</b>						
96	歌川豊国	犬の介科	大判錦絵	文化6年(1809)7月	西村屋与八	54.9×43.4
97	歌川豊国	鳶の介科	大判錦絵	文化6年(1809)7月	西村屋与八	54.9×43.4

98	歌川豊国	猫の介科	大判錦絵	文化6年(1809)7月	西村屋与八	54.9×43.4
99	歌川豊国	鶯の介科	大判錦絵	文化6年(1809)7月	西村屋与八	54.9×43.4
100	歌川貞秀	即席身振茶番	大判錦絵 (小判四丁掛)	天保期(1830-44)頃	山本屋平吉	43.4×54.9
101	歌川国芳	道外見富利十二志	大判錦絵 三枚組	弘化4-嘉永3年 (1847-50)	恵比須屋庄七	54.9×95.0
102	歌川国芳	見振十二おもひ月	大判錦絵 五枚組	弘化3-嘉永元年 (1846-48)	恵比須屋庄七	各54.9×43.4
103	歌川広重	狂戯芸づくし 壹・二・三・四・五	大判錦絵 五枚組	弘化4-嘉永元年 (1847-48)	辻屋安兵衛 ※辻:しんによる点2つ	各54.9×43.4
<影絵>						
104	歌川広重	即興かげぼしづくし ふじの山・らんかんぎぼし	大判錦絵 (中判二丁掛)	天保末期(1840-42)頃	蔦屋吉蔵	54.9×43.4
105	歌川広重	即興かげぼしづくし きりことふろう・つる	大判錦絵 (中判二丁掛)	天保末期(1840-42)頃	蔦屋吉蔵	54.9×43.4
106	歌川広重	即興かげぼしづくし 塩引さけの魚・茶がま	大判錦絵 (中判二丁掛)	天保末期(1840-42)頃	蔦屋吉蔵	54.9×43.4
107	歌川広重	即興かげぼしづくし こんろにきびせう・かんちろり	大判錦絵 (中判二丁掛)	天保末期(1840-42)頃	蔦屋吉蔵	54.9×43.4
108	歌川広重	新板かげぼしづくし (からす ほか)	大判錦絵	天保末期(1840-42)頃	上州屋重蔵	54.9×43.4
109	歌川広重	新板かげぼしづくし (ひょうたん ほか)	大判錦絵	天保末期(1840-42)頃	上州屋重蔵	54.9×43.4
110	歌川国芳	其面影程能写絵 獵人にたぬき ・金魚にひごいッ子	大判錦絵 二枚組	弘化4-嘉永元年 (1847-48)	上総屋岩吉	54.9×72.0
111	歌川国芳	其面影程能写絵 おかづり ・ゑびにあかがひ	大判錦絵 二枚組	弘化4-嘉永元年 (1847-48)	上総屋岩吉	54.9×72.0
112	歌川芳春	新板かげ画尽	大判錦絵	安政6年(1859)5月	佐野屋富五郎	54.9×43.4
113	二代 歌川国輝	しんはんかげゑ尽し	大判錦絵 三枚組	慶応3年(1867)4月	版元未詳	54.9×95.0
114	歌川貞秀	回り燈籠狐の嫁入	団扇絵判 錦絵	文政末期(1827-30)頃	伊場屋仙三郎	43.4×54.9
六 みんな大好き♪おもちゃ箱						
<切抜絵・組上絵・タテバンコ>						
115	三代 歌川豊国 (歌川国貞)	福笑い	大判錦絵	天保14-弘化3年 (1843-46)	版元未詳	43.4×54.9
116	(無款・作者未詳)	猫・達磨・河童の福笑い	小判錦絵 三枚組	明治期	版元未詳	43.4×54.9
117	(無款・作者未詳)	風流 百目玉	大判錦絵	幕末期	版元未詳	43.4×54.9
118	歌川芳盛	生酔 風流百眼	大判錦絵	安政3年(1856)2月	小林泰治郎	54.9×43.4
119	歌川芳虎	子供遊道化拳合	大判錦絵	弘化4年(1847)頃	小島屋重兵衛	54.9×43.4
120	歌川国貞	鬘合 [初代坂東しうか]	大判錦絵	天保期(1830-44)頃	上州屋重蔵	43.4×54.9
121	歌川国貞	新撰早替り地紙	大判錦絵	天保前期(1830-36)頃	上州屋重蔵・ 江戸屋松五郎	54.9×43.4
122	歌川芳藤	しん板ひなだん組立の図	大判錦絵	安政6年(1859)11月	辻文(辻岡屋文助か) ※辻:しんによる点2つ	43.4×54.9
123	歌川芳藤	新板具そくの組立	大判錦絵	万延元年(1860)閏3月	小林泰治郎	54.9×43.4
124	歌川芳藤	しん板猫尽両めん合	大判錦絵	安政6-明治8年 (1859-75)	版元未詳	54.9×43.4
<尽くし絵>						

125	関斎	張子尽し	大判錦絵 三枚続	弘化3-嘉永元年 (1846-48)	高野屋友右衛門	54.9×95.0
126	歌川芳藤	しん板 手あそびづくし	大判錦絵	安政5年(1858)2月	小林泰治郎	54.9×43.4
127	歌川芳藤	もん尽 香箱	大判錦絵	万延元年(1860)10月	小林泰治郎	54.9×43.4
＜さや絵・仕掛絵・折かわり絵・凧絵＞						
128	歌川芳虎	風流さや絵 (花魁)	大判錦絵	嘉永2年(1849)	版元未詳	54.9×43.4
129	(無款・作者未詳)	鞘絵 恵比須大黒道具づくし	小判摺物	制作年未詳	版元未詳	43.4×54.9
130	(無款・作者未詳)	鞘絵 木挽の図	小判摺物	制作年未詳	版元未詳	43.4×54.9
131	豊原国周	四谷怪談 隠亡堀戸板返し	大判錦絵 三枚続	明治17年(1884)	福田熊次郎	54.9×95.0
132	楊洲周延	四谷怪談 蛇山庵室	大判錦絵 三枚続	明治17年(1884)10月	深沢貞次郎	54.9×95.0
133	歌川国利	新板たゝみ換絵	大判錦絵	明治25-32年 (1892-99)	森本順三郎	43.4×54.9
134	歌川国利	新板武者の折かわり絵	大判錦絵	明治期	小林泰治郎	43.4×54.9
135	歌川芳藤	新板だるま凧	大判錦絵	元治元年(1864)8月	小林泰治郎	54.9×43.4
136	歌川芳員	たこづくし	大判錦絵	安政4年(1857)8月	近江屋久助・ 久次郎	54.9×43.4

#### 第4展示室

No	絵師名	作品名	判型・形態・技法	制作年代	版元	額寸 (cm)
<b>七 人も世相も茶化しちゃえ！戯画(ギガ)ワールド</b>						
＜くぎ絵＞						
137	歌川国芳	荷宝蔵壁のむだ書 (黒腰壁)	大判錦絵 二枚組	嘉永元年(1848)頃	伊場屋仙三郎	54.9×72.0
138	歌川国芳	荷宝蔵壁のむだ書 (黄腰壁)	大判錦絵 三枚組	嘉永元年(1848)頃	伊場屋仙三郎	54.9×95.0
＜擬人絵＞						
139	歌川国芳	亀喜妙々	大判錦絵 三枚続	嘉永元年(1848)頃	野村屋徳兵衛	54.9×95.0
140	歌川国芳	流行猫の曲手まり	大判錦絵	天保12年(1841)頃	川口屋宇兵衛	54.9×43.4
141	歌川国芳	流行猫の狂言づくし (与四郎ほか)	大判錦絵	天保12年(1841)頃	川口屋宇兵衛	54.9×43.4
142	歌川国芳	流行猫の狂言づくし (一寸徳兵衛ほか)	大判錦絵	天保12年(1841)頃	川口屋宇兵衛	54.9×43.4
143	歌川広重	きみだんご・こてりょうじ	大判錦絵 (中判二丁掛)	江戸後期	版元未詳	54.9×43.4
144	歌川国芳	狸のうりすへ・狸の引ふね	大判錦絵 (中判二丁掛)	天保14-弘化元年 (1843-44)頃	上総屋岩蔵	54.9×43.4
145	歌川芳藤	廓通色々青楼全盛	大判錦絵 三枚続	慶応3年(1867)6月	山村金三郎	54.9×95.0
146	歌川国芳	相かはず蛙あそび	大判錦絵	弘化4年(1847)頃	佐銀	54.9×43.4
147	歌川国芳	三國拳	大判錦絵	嘉永2年(1849)頃	太田屋多吉	54.9×43.4
148	(無款・作者未詳)	けんのけいこ	大判錦絵	弘化4年(1847)頃	版元未詳	54.9×43.4
149	三代 歌川国貞 (梅堂国政)	流行開帳拳	大判錦絵	明治4年(1871)頃	古賀(河)屋勝五郎	54.9×43.4
150	月岡芳年	百器夜行	大判錦絵 二枚続	慶応元年(1865)9月	岐阜屋清七	54.9×72.0
＜鳥羽絵＞						
151	葛飾北斎	鳥羽絵	小判	江戸後期	版元未詳	54.9×72.0
152	歌川広重	鳥羽絵	小判	江戸後期	版元未詳	54.9×43.4
153	二代 喜多川歌麿	鳥羽絵	小判	江戸後期	版元未詳	54.9×72.0
＜鯰絵＞						

154 (無款・作者未詳)	しんよし原大なまづゆらひ	大判錦絵 二枚続	安政2年(1855)頃	版元未詳	54.9×72.0
155 (無款・作者未詳)	信州鯨と江戸鯨	大判錦絵 二枚続	安政2年(1855)頃	版元未詳	54.9×72.0
<b>&lt;巨大表現&gt;</b>					
156 歌川国芳	朝比奈小人嶋遊	大判錦絵 三枚続	弘化4-嘉永5年 (1847-52)頃	彫正	54.9×95.0
157 歌川貞秀	朝比奈島遊び	大判錦絵 三枚続	万延元年(1860) 閏三月	山田屋庄次郎	54.9×95.0

「江戸の遊び絵づくし」 秋田会場特別出品

No	絵師名	作品名	判型・形態・技法	制作年代	版元	額寸 (cm)
特別1	葛飾北斎	百物語 笑ひはんにや	中判錦絵	天保2年(1831)頃	鶴屋喜右衛門	53.0×42.0
特別2	葛飾北斎	百物語 小幡小平次	中判錦絵	天保2年(1831)頃	鶴屋喜右衛門	53.0×42.0
特別3	歌川広重	即興かげぼし尽し 根上りのまつ・梅に鶯	大判錦絵 (中判二丁掛)	天保末期 (1840-42)頃	蔦屋吉蔵	57.0×46.0
特別4	歌川広重	即興かげぼし尽し うさぎ・鉢植の福寿草	大判錦絵 (中判二丁掛)	天保末期 (1840-42)頃	蔦屋吉蔵	57.0×46.0
特別5	歌川広重	即興かげぼし尽し 石燈籠・鷹にとまり木	大判錦絵 (中判二丁掛)	天保末期 (1840-42)頃	蔦屋吉蔵	57.0×46.0
特別6	歌川国芳	木曾街道六十九次之内 追分 おいわ宅悦	大判錦絵	嘉永5年(1852)6月	高田屋竹蔵	53.0×42.0
特別7	歌川国芳	大江山酒吞退治	大判錦絵 三枚続	天保(1830-44)頃	佐野屋喜兵衛	
特別8	歌川国芳	相馬の古内裏・ 滝夜叉姫と大骸骨	大判錦絵 三枚続	弘化2-3年 (1845-46)頃	版元未詳	54.9×95.0
特別9	歌川国芳	本朝水滸伝剛勇八百人一個 宮本無三四	大判錦絵	天保4-6年 (1833-35)頃	加賀屋吉右衛門	53.0×42.0
特別 10	歌川国芳	本朝水滸伝豪傑八百人一個 尾形周馬寛行	大判錦絵	天保2年(1831)頃	加賀屋吉右衛門	54.9×43.4
特別 11	歌川国芳	源頼光公館土蜘蛛妖怪図	大判錦絵 三枚続	天保14年(1843)	伊場屋仙三郎	
特別 12	歌川国芳	讃岐院眷属をして為朝を すくふ図	大判錦絵 三枚続	嘉永4年(1851)	住吉屋政五郎	54.9×95.0
特別 13	歌川国芳	鬼若丸大鯉退治	大判錦絵 三枚続	弘化2年(1845)頃	美濃屋忠助	54.9×95.0
特別 14	歌川国芳	大物之浦海底之図	大判錦絵 三枚続	嘉永2-4年 (1849-51)頃	藤岡屋慶次郎	54.9×95.0
特別 15	歌川国芳	狸のうらない／ 狸のかんばん	大判錦絵 (中判二丁掛)	天保14-弘化元年 (1843-44)頃	上総屋岩蔵	54.9×43.4
特別 16	歌川国芳	天狗のまね／地引だぬき	大判錦絵 (中判二丁掛)	天保14-弘化元年 (1843-44)頃	上総屋岩蔵	54.9×43.4
特別 17	月岡芳年	新形三十六怪撰 おもみつづら	大判錦絵	明治25年(1892)	松本平吉	53.0×42.0
特別 18	歌川国長	新板阿蘭陀浮絵 楽徳海嶋銅人巨像	大判錦絵	文化期(1804-17)	和泉屋市兵衛	42.0×53.0
特別 19	(無款・作者未詳)	黒船の図	大判錦絵	嘉永6年(1853)頃	版元未詳	42.0×53.0
特別 20	(無款・作者未詳)	北亜墨利加洲華盛頓 副将「アハタムス像」	大判錦絵	制作年未詳	版元未詳	53.0×42.0

## ◇関連記事

### 印刷物

- ・『教育あきた』 3月号information
  - ・うたおどり美郷フェスティバルパンフレット 3/27
  - ・毎日新聞 イベント情報欄 3/31
  - ・都市対抗野球パンフレット 4月中
  - ・朝日新聞 展覧会紹介欄 4/1
  - ・『市報よこて』「イベントカレンダー」 4/15号
  - ・『広報美郷お知らせ版』 4/15号
  - ・『Bouquet』 4/20刊
  - ・秋田魁新報 イベント紹介 4/21、4/24、4/23、5/31
  - ・秋田魁新報 広告5段2分の1カラー 4/23
  - ・『秋田タウン情報』 4/25刊
  - ・『Takeup!』 4/25
  - ・『月刊アンドナウ』5月号 4/25発売
  - ・『rakra(ラ・クラ)』No.76 4/25刊
  - ・『月刊どあっぷ』5月号 5/1発行
  - ・秋田魁新報ギャラリートーク 5/4、5/11
  - ・月刊『書道界』5月号 5/15発行
  - ・北羽新報 5/16
  - ・河北新報広域交流版 4/21、6/3
  - ・読売新聞イベントガイド 5/18
  - ・『mari\*mari』 6/3号 (Vol.359)
  - ・秋田魁新報 イベント歳時記 5/31
  - ・『教育あきた』6月号 6月中旬
- ### テレビ・ラジオ
- ・FMゆーとぴあ 4/21 8:00～8:20
  - ・ABSラジオ 佐藤有希のあさラテ 4/23 10:00～
  - ・ABSラジオ ラジオ快晴GOGOのマキ 4/23 15:20～15:35
  - ・NHKラジオ仙台 ひるはぴ 4/26 11:30～
  - ・ABS秋田放送 えびす堂☆GOLD 4/29放送
  - 「江戸の遊び絵づくし」ナビ (3分ミニ番組) 5/12 (木) 15:50-15:55  
5/21 (土) 14:55-15:00  
5/28 (土) 15:25-15:30  
6/2 (木) 15:50-15:55
  - ・横手かまくらFM 4/30
  - ・FMゆーとぴあ おさんぽ美術館 5/17 7:30～、5/25 11:30～

### Web

- ・日本博物館協会HP
- ・横手経済新聞 4月22日掲載<http://yokote.keizai.biz/headline/102/>
- ・和楽公式サイト<http://www.waraku-an.com/museums/akita/>
- ・秋田県観光連盟facebook

ii. 特別展

ホキ美術館展 -これが写実だ！驚きと感動の絵画

会 期：2016(平成28)年7月2日(土)～9月11日(日) (72日間)  
 主 催：ホキ美術館展実行委員会  
 (秋田魁新報社/秋田県立近代美術館)  
 後 援：横手市/横手市教育委員会/NHK秋田放送局/  
 ABS秋田放送/AKT秋田テレビ/AAB秋田朝日放送/  
 CNA秋田ケーブルテレビ/エフエム秋田/  
 横手かまくらFM/エフエムゆーとぴあ/FMはなび  
 特別協力：ホキ美術館  
 担 当：保泉 充、西野美佳

世界初の写実絵画専門美術館、ホキ美術館の所蔵品による東北初となる展覧会。本展では、現代日本の写実絵画を収集するとともに、新しい作家の発掘と育成にも努める開館5周年を迎えたホキ美術館の所蔵品から、秋田出身の作家藤井勉を含む28名の作家による65点の作品をご覧いただいた。生命感あふれる木々や緑、透き通った美しい肌、みずみずしい果物など、作家の目を通して描かれた精緻で奥深い表現から、来場者は写実絵画の魅力を存分に感じていただけたことだろう。



第1展示室

No	作家名	作品名	制作年	寸法(縦×横、cm)
1	森本 草介	田園	平成13(2001)年	112.0×145.5
2	森本 草介	コーヒータイム	平成19(2007)年	100.0×100.0
3	森本 草介	窓からの光	平成20(2008)年	72.7× 53.0
4	山本 大貴	Waiting	平成23(2011)年	40.9× 53.0
5	藤原 秀一	石見海岸	平成23(2011)年	80.3×116.7
6	藤原 秀一	宝篋院秋図	平成23(2011)年	80.3×116.7
7	藤原 秀一	水辺の館	平成26(2014)年	72.7×116.7
8	藤井 勉	追想	平成23(2011)年	72.7× 90.9
9	藤井 勉	夜明け	平成23(2011)年	90.9×116.7
10	李 暁剛	ヌード	平成19(2007)年	60.6× 72.7
11	野田 弘志	天谿・梓川	平成14(2002)年	162.0×130.3
12	野田 弘志	手吹き花瓶にバラ	平成13(2001)年	65.2× 65.2
13	野田 弘志	アナスタシア	平成20(2008)年	91.0× 72.7
14	野田 弘志	聖なるものTHE-II	平成23(2011)年	130.3×162.1

第2展示室

No	作家名	作品名	制作年	寸法(縦×横、cm)
15	松村 卓志	白い犬	平成19(2007)年	65.2× 65.2
16	大矢 英雄	海の記憶に	平成15(2003)年	72.3× 72.3
17	島村 信之	朝靄	平成13(2001)年	80.3×130.3
18	島村 信之	籐寝椅子	平成19(2007)年	65.2× 91.0
19	島村 信之	浴	平成21(2009)年	60.6×100.0
20	島村 信之	響き	平成22(2010)年	31.0× 53.0
21	島村 信之	ロブスター(戦闘形態)	平成21-22(2009-2010)年	42.0×101.0
22	島村 信之	オオコノハムシ擬態-	平成27(2015)年	40.9× 27.3
23	島村 信之	ニジイロクワガタメタリック	平成27(2015)年	40.9× 28.5
24	山木 章	Promise	平成23(2011)年	53.0× 33.3
25	安彦 文平	自然への感謝	平成21(2009)年	130.0×162.0
26	安彦 文平	収穫の喜び	平成21(2009)年	45.5× 53.0

27	小尾 修	南瓜	平成14(2002)年	60.6×50.0
28	小尾 修	昨日の雨	平成20(2008)年	130.3×162.1
29	小尾 修	Sveva Sveva	平成24(2012)年	130.3×97.0
30	小尾 修	静寂の声	平成26(2014)年	116.7×116.7
31	原 雅幸	羊のいる風景	平成19(2007)年	41.0×53.0
32	原 雅幸	ナローカナルのボート乗り場	平成19(2007)年	33.3×53.0
33	原 雅幸	クリストファーロビンの聲	平成20(2008)年	45.5×60.6
34	原 雅幸	白い波	平成22(2010)年	41.0×60.6

### 第3展示室

No	作家名	作品名	制作年	寸法(縦×横、cm)
35	石黒賢一郎	惰眠	平成5-24(1993-2012)年	80.3×116.7
36	石黒賢一郎	SIN TITULO	平成19-24(2007-2012)年	130.3×194.0
37	石黒賢一郎	A〇〇K A-02	平成24(2012)年	65.3×45.7
38	石黒賢一郎	綾〇〇〇的な	平成26(2014)年	91.0×45.0
39	藤田 貴也	虚空の皿-眠り-	平成25(2013)年	116.7×60.6
40	生島 浩	月隠り	平成23(2011)年	162.1×112.1
41	青木 敏郎	オーベルニュの教会	平成12(2000)年	80.3×116.7
42	青木 敏郎	デルフトの焼物と果実	平成20(2008)年	80.3×116.7
43	青木 敏郎	椿・レーマ杯・染付皿	平成21(2009)年	91.0×65.2
44	渡抜 亮	照らされた影	平成23(2011)年	90.9×65.2
45	渡抜 亮	スペキエース	平成26(2014)年	72.7×53.0
46	曾根 茂	頂きへ	平成21(2009)年	31.8×40.9
47	五味 文彦	青い器物のある静物	平成17(2005)年	80.3×130.3
48	五味 文彦	林檎	平成22(2010)年	33.0×72.5
49	五味 文彦	パンと檸檬	平成22(2010)年	45.5×65.2
50	五味 文彦	木霊が啼く時	平成23(2011)年	44.0×85.8
51	五味 文彦	ヒゲを愛した女	平成24(2012)年	90.9×72.7
52	五味 文彦	ホワイト・スクエア・コンポジション	平成26(2014)年	65.2×65.2

### 第4展示室

No	作家名	作品名	制作年	寸法(縦×横、cm)
53	塩谷 亮	耀	平成21(2009)年	40.9×60.6
54	塩谷 亮	白い部屋	平成22(2010)年	97.0×193.9
55	卯野 和宏	雲を追う	平成23(2011)年	116.7×91.0
56	大畑 稔浩	陸に上がった舟	平成22(2010)年	97.0×194.0
57	大畑 稔浩	五十歳の画家	平成23(2011)年	160.0×91.0
58	大畑 稔浩	祖谷 かずら橋	平成24(2012)年	65.2×80.3
59	大畑 稔浩	気配-春	平成27(2015)年	80.5×162.3
60	磯江 毅	ESPANTAJAROS	平成9(1997)年	92.0×65.0
61	松田 一聡	無題	平成26(2014)年	38.2×62.0
62	木原 和敏	樹	平成21(2009)年	194.0×112.0
63	中山 忠彦	トルコブルーの襟飾り	平成10(1998)年	91.0×72.7
64	中山 忠彦	燭台のある部屋	平成11(1999)年	162.0×112.0
65	羽田 裕	秀峯富士	平成18(2006)年	53.0×72.7

### ◇関連記事

#### 印刷物

- ・秋田魁新報カラー広告 5/12、5/16、5/17、5/22、5/24、5/30、6/2、6/5、6/25、6/30、7/2、7/8、7/10、7/16、7/18、7/20、7/22、8/1、8/3、8/10、8/17、8/21
- ・秋田魁新聞 5/8、5/31、6/29、7/1、7/2、7/8、7/13、7/15、7/19、7/22、7/29、7/31、8/13、8/18、8/31
- ・週間さきがけスポーツ 7/7
- ・世界日報 8/6
- ・河北新報 8/22

### iii. 特別展

## 橘小夢とその時代 —幻の画家、ふるさとに咲く

会 期：2016(平成28)年9月17日(土)～11月27日(日) (77日間)

主 催：橘小夢展実行委員会

(秋田魁新報社、秋田県立近代美術館)

特別協力：弥生美術館・竹久夢二美術館(東京・台東区)

後 援：横手市／横手市教育委員会／湯沢市／  
湯沢市教育委員会／美郷町／美郷町教育委員会／  
NHK秋田放送局／ABS秋田放送／AKT秋田テレビ／  
AAB秋田朝日放送／エフエム秋田／横手かまくらFM／  
エフエムゆーとびあ／FMいはなび

担 当：奈良 香、藤井正輝

橘小夢のふるさと秋田で、初の大開個展を開催することができた。関東に在住のご遺族の方々を始め、小夢とゆかりの深い湯沢市の愛好家の方々から多大なご協力をいただいた。展覧会の広報を通して、文化財の保護・継承を担う美術館の役割についても知っていただく機会になったのではと思う。

秋田県内に足跡を残している竹久夢二の作品を始め、小夢と同時代に活躍した挿絵画家たちの作品も紹介することができ、座談会・講演会などの関連イベントも好評だった。



### I 幻の画家・橘小夢、ふるさとに咲く (第1・第2展示室)

No	作家名	作品名	制作年	材料技法等	所蔵
1	橘 小夢	花菖蒲 (仮題)	明治44年 (1911)	鉛筆・水彩、紙	個人蔵
2	橘 小夢	紫陽花 (仮題)	明治44年 (1911)	鉛筆・水彩、紙	個人蔵
3	橘 小夢	むべ (仮題)	明治44年 (1911)	鉛筆・水彩、紙	個人蔵
4	橘 小夢	赤い芍薬 (仮題)	制作年不詳	鉛筆・水彩、紙	個人蔵
5	橘 小夢	白い芍薬 (仮題)	制作年不詳	鉛筆・水彩、紙	個人蔵
6	橘 小夢	雉 (仮題)	制作年不詳	鉛筆・水彩、紙	個人蔵
7	橘 小夢	『淑女画報』カット	大正4年 (1915)	雑誌(博文館)・複写	
8	橘 小夢	『淑女画報』カット	大正4年 (1915)	雑誌(博文館)・複写	
9	橘 小夢	葉ざくらの頃／『女学世界』コマ絵	大正5年(1916)6月	雑誌(博文館)・複写	
10	橘 小夢	ほたる／『女学世界』コマ絵	大正5年(1916)8月	雑誌(博文館)・複写	
11	橘 小夢	欄に凭りて／『女学世界』コマ絵	大正5年(1916)8月	雑誌(博文館)・複写	
12	橘 小夢	伝説物語「瀧の白糸」／ 『女学世界』挿絵	大正5年(1916)8月	雑誌(博文館)・複写	
13	橘 小夢	妖怪絵物語・河原の魔風より 「夏の炬燵」／『女学世界』挿絵	大正5年(1916)9月	雑誌(博文館)・複写	
14	橘 小夢	梅咲く日 (右)・日当たりよき縁 にて (左)／『女学世界』コマ絵	大正6年(1917)2月	校正刷りスクラップ帖	個人蔵
15	橘 小夢	浮世絵を見る (仮題)／ 『淑女画報』コマ絵	大正6年(1917)2月	雑誌(博文館)・複写	
16	橘 小夢	柳の芽ぐむ頃／ 『女学世界』コマ絵	大正6年(1917)3月	雑誌(博文館)・複写	
17	橘 小夢	無題／『女学世界』コマ絵	大正6年(1917)4月	雑誌(博文館)・複写	
18	橘 小夢	雨あがり／『女学世界』コマ絵	大正6年(1917)6月	雑誌(博文館)・複写	
19	橘 小夢	たそがれどき／『女学世界』コマ絵	大正6年(1917)6月	雑誌(博文館)・複写	

20	橘 小夢	食後／『女学世界』コマ絵	大正6年(1917)6月	雑誌(博文館)・複写	
21	橘 小夢	『婦人』扉絵(2点)	大正6年(1917)	雑誌(白水社)・複写	
22	橘 小夢	『新脚本叢書』装幀	大正6年(1917)	書籍(平和出版社)	個人蔵
23	橘 小夢	『揚幕』扉絵(2点)	大正6年(1917)	冊子(揚幕発行所)・複写	
24	橘 小夢	岡本綺堂著『綺堂脚本十種』装幀	大正6年(1917)	書籍(平和出版社)	個人蔵
25	橘 小夢	岡本綺堂著『半七捕物帳』装幀	大正6年(1917)	書籍(平和出版社)	個人蔵
26	橘 小夢	『現代俳優名鑑』装幀	大正12年(1923)	書籍(揚幕出版社)	個人蔵
27	橘 小夢	帯屋久太郎著『銀の芽』装幀	大正8年(1919)	冊子(デッサン社)	個人蔵
28	橘 小夢	青松之凶	昭和4年(1929)	襖絵・参考図版	秋田市の寺院蔵
29	橘 小夢	蓮池之凶	昭和9年(1934)	襖絵・参考図版	湯沢市の寺院蔵
30	橘 小夢	梅川	昭和初期	紙本着色	個人蔵
31	橘 小夢	湯上がり	昭和初期	紙本着色	個人蔵
32	橘 小夢	雪	昭和初期	紙本着色	個人蔵
33	橘 小夢	首途	制作年不詳	紙本着色	個人蔵 【初公開】
34	橘 小夢	首途	制作年不詳	紙本着色	美郷町学友館蔵
35	橘 小夢	火桶(仮題)	大正5-6年(1916-17)	紙本着色／軸装	個人蔵
36	橘 小夢	想い(仮題)	制作年不詳	絹本着色／軸装	個人蔵 【初公開】
37	橘 小夢	美人	制作年不詳	絹本着色／軸装	個人蔵 【初公開】
38	橘 小夢	山の神	昭和20年代	紙本着色／軸装	個人蔵
39	橘 小夢	若菜姫	大正8年(1919)	紙本着色／軸装	個人蔵
40	橘 小夢	花筐・隅田川	大正中期～末頃	絹本着色／二曲一双	個人蔵 【初公開】
41	橘 小夢	海辺の春(小下図)	制作年不詳	紙本着色／額装	個人蔵
42	橘 小夢	海辺の春	制作年不詳	絹本着色／一隻	個人蔵 【初公開】
43	橘 小夢	老松双鶴	制作年不詳	紙本着色／六曲一双	個人蔵 【初公開】
44	橘 小夢	艶笑(仮題)	大正中期頃	絹本着色／軸装	弥生美術館蔵
45	橘 小夢	花魁	大正12年(1923)	絹本着色／軸装	個人蔵
46	橘 小夢	伊勢物語一芥川	大正中期～末頃	紙本着色／軸装	個人蔵
47	橘 小夢	竹園白鳳	制作年不詳	紙本着色／六曲一双	個人蔵 【初公開】
48	橘 小夢	殺生関白行状記	昭和初期	絹本着色	個人蔵
49	橘 小夢	女郎蜘蛛	制作年不詳	挿絵切抜	個人蔵
50	橘 小夢	刺青	大正12年(1923)、 昭和9年(1934)	凸版画に手彩色、 紙／額装	個人蔵
51	橘 小夢	嫉妬	大正12年(1923)、 昭和9年(1934)	凸版画、紙／額装	個人蔵
52	橘 小夢	嫉妬	大正7年(1918)	墨・ペン、紙／額装	個人蔵
53	橘 小夢	水魔	昭和7年(1932)	プロセス版(印刷)、 紙／額装	個人蔵
54	橘 小夢	水魔	昭和10～20年代	紙本着色	個人蔵
55	橘 小夢	唐人お吉	昭和8年(1933)	木版画、紙／額装	弥生美術館蔵
56	橘 小夢	唐人お吉	制作年不詳	紙本着色／額装	個人蔵
57	橘 小夢	澤村田之助	昭和9年(1934)	木版画、紙／額装	弥生美術館蔵
58	橘 小夢	やよいひばり	昭和10年(1935)	木版画、紙／額装	弥生美術館蔵
59	橘 小夢	中村もしほ	昭和10年(1935)	木版画、紙／額装	弥生美術館蔵
60	橘 小夢	若き日のハイネ 小夜福子	昭和10年頃(c. 1935)	新作手摺木版画、紙	個人蔵

61	橋 小夢	牡丹灯籠 (5点)	大正5年 (1916)	挿絵切抜／額装	個人蔵
62	橋 小夢	牡丹灯籠画譜 (9点)	昭和9年 (1934)	凸版画、紙／額装	弥生美術館蔵
63	橋 小夢	『婦人』表紙	昭和2年 (1927)	雑誌(朝日新聞社)・複写	
64	橋 小夢	落葉の嘆き／『婦人』カット	昭和2年 (1927)	雑誌(朝日新聞社)・複写	
65	橋 小夢	水仙／『婦人』カット	昭和3年 (1928)	雑誌(朝日新聞社)・複写	
66	橋 小夢	狢をつれた女／『婦人』カット	制作年不詳	雑誌(朝日新聞社)・複写	
67	橋 小夢	愠気の火の玉／『週刊朝日』挿絵	昭和4年 (1929)	雑誌(朝日新聞社)・複写	
68	橋 小夢	怪談三人狂／『週刊朝日』挿絵	昭和4年 (1929)	雑誌(朝日新聞社)・複写	
69	橋 小夢	阿蘭陀船 (右)・ お伽の姫様 (左)	制作年不詳	校正刷りスクラップ帖	個人蔵
70	橋 小夢	人魚の恩返し／『少女画報』挿絵	昭和6年 (1931)	雑誌 (東京社)	弥生美術館蔵
71	橋 小夢	大江戸岡場所繁盛記／ 『文芸倶楽部』挿絵	昭和7年 (1932)	雑誌 (博文館)	弥生美術館蔵
72	橋 小夢	江見水蔭著『切られ牡丹』装幀	大正15年 (1926)	書籍 (博文館)	個人蔵
73	橋 小夢	江見水蔭著『切られ牡丹』挿絵 (2点)	大正15年 (1926)	書籍(博文館)・複写	
74	橋 小夢	矢田挿雲著『地から出る月』 見返し	大正13年 (1924)	書籍 (東光閣書店)	個人蔵
75	橋 小夢	御成先御用／矢田挿雲著 『江戸から東京へ4』口絵	大正11年 (1922)	書籍 (東光閣書店)	弥生美術館蔵
76	橋 小夢	伊豆へ行こう／矢田挿雲著 『江戸から東京へ8』口絵	大正13年 (1924)	書籍 (東光閣書店)	弥生美術館蔵
77	橋 小夢	矢田挿雲著『澤村田之助』挿絵	昭和3年 (1928)	書籍 (平凡社)	弥生美術館蔵
78	橋 小夢	澤村田之助／ 『現代大衆文学全集10』	昭和3年 (1928)	書籍 (平凡社)	弥生美術館蔵
79	橋 小夢	江島騒動／矢田挿雲著 『現代大衆文学全集10』挿絵	昭和3年 (1928)	書籍(平凡社)・複写	
80	橋 小夢	本郷区本妙寺の振袖火事／矢田挿雲著 『現代大衆文学全集10』挿絵	昭和3年 (1928)	書籍(平凡社)・複写	
81	橋 小夢	江戸から東京へ／矢田挿雲著 『現代大衆文学全集36』挿絵	昭和4年 (1929)	書籍 (平凡社)	弥生美術館蔵
82	橋 小夢	花井お梅／矢田挿雲著 『現代大衆文学全集36』挿絵	昭和4年 (1929)	書籍(平凡社)・複写	
83	橋 小夢	吉原百人斬／矢田挿雲著 『現代大衆文学全集36』挿絵	昭和4年 (1929)	書籍(平凡社)・複写	
84	橋 小夢	置てけ堀と洗足へ屋敷／矢田挿雲著 『現代大衆文学全集36』挿絵	昭和4年 (1929)	書籍(平凡社)・複写	
85	橋 小夢	唐人お吉の末路／矢田挿雲著 『現代大衆文学全集36』挿絵	昭和4年 (1929)	書籍(平凡社)・複写	
86	橋 小夢	鬼女紅葉／藤沢衛彦著 『日本伝説研究6』	昭和7年 (1932)	書籍 (六文館)	個人蔵
87	橋 小夢	山姫の舞／藤沢衛彦著 『日本伝説研究5』	昭和7年 (1932)	書籍(六文館)・複写	
88	橋 小夢	高野聖／『日本挿画選集』	昭和5年 (1930)	書籍 (ユウヒ社)	弥生美術館蔵
89	橋 小夢	大下宇陀児著『あかづの函』装幀	昭和23年 (1948)	書籍(日本文京出版社)	個人蔵
90	橋 小夢	平野止夫著『蓮如 地の巻』装幀	昭和24年 (1949)	書籍 (百華苑)	個人蔵
91	橋 小夢	押絵と旅する男	昭和10年 (1935)	墨・ペン、紙／額装	個人蔵
92	橋 小夢	鏡地獄	昭和10年 (1935)	墨・ペン、紙／額装	個人蔵
93	橋 小夢	高野聖	制作年不詳	紙本着色／額装	弥生美術館蔵
94	橋 小夢	日本武尊 I	大正中期～末頃	絹本着色／軸装	個人蔵
95	橋 小夢	日本武尊 II	大正中期～末頃	絹本着色／軸装	個人蔵
96	橋 小夢	水妖	制作年不詳	絹本着色／軸装	藤井庄三郎蔵

97	橘 小夢	水妖 (下図)	制作年不詳	鉛筆・墨・朱、紙/額装	個人蔵
98	橘 小夢	夕顔	昭和10-16年頃 (c. 1935-1941)	紙本着色/額装	個人蔵
99	橘 小夢	紫式部妄語地獄	昭和10年頃(c. 1935)	紙本着色/額装	個人蔵
100	橘 小夢	ガラシャ昇天	昭和15年 (1940)	紙本着色/額装	個人蔵
101	橘 小夢	軍荼利明王 (仮題)	昭和10-16年頃 (c. 1935-1941)	紙本着色/額装	個人蔵
102	橘 小夢	清玄と白菊丸	昭和10-16年頃 (c. 1935-1941)	紙本着色/額装	個人蔵
103	橘 小夢	恵心僧都尊菩薩来迎	昭和15年 (1940)	紙本着色/額装	個人蔵
104	橘 小夢	祈祷師	昭和10-16年頃 (c. 1935-1941)	紙本着色	個人蔵
105	橘 小夢	雪姫	制作年不詳	紙本着色	個人蔵
106	橘 小夢	袈裟御前	昭和10-16年頃 (c. 1935-1941)	紙本着色	個人蔵
107	橘 小夢	傀儡師	制作年不詳	紙本着色	個人蔵
108	橘 小夢	春の夕暮れ	昭和初期	絹本着色/軸装	個人蔵
109	橘 小夢	銭塘奇譚 第一場 衣装デザイン (2点)	昭和20年代	紙本着色/額装	個人蔵
110	橘 小夢	王朝絵巻 (仮題)	昭和20年代	名古屋帯仕立	個人蔵
111	橘 小夢	着物図案 紫陽花	昭和初期~10年頃	紙本着色/額装	個人蔵
112	橘 小夢	着物図案 秋草に蝶	昭和初期~10年頃	紙本着色/額装	個人蔵
113	橘 小夢	遺愛品(墨籠、筆、道具入れ、目打ち)			個人蔵
114	橘 小夢	骸骨とナイフ (仮題)	大正15年 (1926)	紙本着色	個人蔵 【初公開】
115	橘 小夢	逢魔ヶ刻	制作年不詳	墨・ペン、紙/額装	個人蔵
116	橘 小夢	立雛	昭和35年頃(c. 1960)	紙本着色/軸装	個人蔵
117	橘 小夢	兜	昭和39年 (1964)	絹本着色/軸装	個人蔵 【初公開】
118	橘 小夢	地獄太夫 (小下図)	昭和10年代	鉛筆・墨・朱、紙/額装	個人蔵
119	橘 小夢	地獄太夫	昭和35年頃(c. 1960)	紙本着色/一隻	個人蔵
120	橘 小夢	夢枕	昭和35-40年頃 (c. 1960-1965)	絹本着色/一隻	個人蔵
121	橘 小夢	花車 (仮題)	昭和40年頃(c. 1965)	絹本着色/一隻	個人蔵
122	橘 小夢	梅若塚	大正5年 (1916)	墨・ペン、紙/額装	弥生美術館蔵
123	橘 小夢	梅若塚	大正5年 (1916)	墨・ペン、紙/額装	弥生美術館蔵
124	橘 小夢	梅若塚	大正5年 (1916)	紙本着色/額装	弥生美術館蔵
125	橘 小夢	梅若塚	大正5年 (1916)	墨・ペン、紙/額装	弥生美術館蔵
126	橘 小夢	梅若塚	大正5年 (1916)	墨・ペン、紙/額装	弥生美術館蔵
127	橘 小夢	玉藻前	大正末頃	墨・ペン、紙/額装	弥生美術館蔵
128	橘 小夢	玉藻前	昭和8年 (1933)	紙本着色/額装	個人蔵
129	橘 小夢	玉藻前	制作年不詳	紙本着色/額装	個人蔵
130	橘 小夢	玉藻前	大正末頃	紙本着色/額装	弥生美術館蔵
131	橘 小夢	玉藻前	昭和8年 (1933)	紙本着色/額装	個人蔵
132	橘 小夢	佐賀の化猫	大正15年 (1926)	墨・ペン、紙/額装	弥生美術館蔵
133	橘 小夢	佐賀の化猫	大正15年 (1926)	墨・ペン、紙/額装	弥生美術館蔵
134	橘 小夢	破戒	大正5-6年(1916-17)	墨・ペン、紙/額装	個人蔵
135	橘 小夢	振袖火事	大正末~昭和初期	墨・ペン、紙/額装	個人蔵
136	橘 小夢	振袖火事	大正末~昭和初期	墨・ペン、紙/額装	個人蔵
137	橘 小夢	八百屋お七	大正中期	墨・ペン、紙/額装	個人蔵
138	橘 小夢	安珍と清姫	大正末期	墨・ペン、紙/額装	個人蔵
139	橘 小夢	海の幻想	制作年不詳	墨・ペン、紙/額装	個人蔵

140	橋 小夢	於玉ヶ池	大正末～昭和初期	墨・ペン・胡粉、紙／額装	個人蔵
141	橋 小夢	感應丸	大正末～昭和初期	墨・ペン、紙／額装	個人蔵
142	橋 小夢	柳の前	大正末～昭和初期	墨・ペン、紙／額装	個人蔵
143	橋 小夢	お浦伊之助	大正末～昭和初期	墨・ペン、紙／額装	個人蔵
144	橋 小夢	お浦伊之助	大正末～昭和初期	墨・ペン、紙／額装	個人蔵
145	橋 小夢	お蝶夫人	制作年不詳	紙本着色／額装	個人蔵
146	橋 小夢	お蝶夫人	昭和9年（1934）	木版画、紙／額装	個人蔵
147	橋 小夢	愛欲を生じて吉祥天女の像に 恋ひ感応して奇しき表を示し縁	制作年不詳	紙本着色／額装	個人蔵
148	橋 小夢	鷺娘	昭和10年頃(c. 1935)	絹本着色／額装	個人蔵
149	橋 小夢	炎車	昭和10年頃(c. 1935)	絹本着色／額装	個人蔵
150	橋 小夢	静御前	昭和10年頃(c. 1935)	絹本着色／額装	個人蔵
151	橋 小夢	蛇性の淫	昭和10年頃(c. 1935)	紙本着色	個人蔵

【初公開】

## II 時代の寵児・竹久夢二と大正ロマン・昭和モダンの画家たち (第3・第4展示室)

No	作家名	作品名	制作年	材料技法等	所蔵
152	竹久 夢二	内と外／『女学世界』口絵	明治40年（1907）	印刷／額装	竹久夢二美術館蔵
153	竹久 夢二	年の暮／『女学世界』口絵	明治44年（1911）	印刷／額装	竹久夢二美術館蔵
154	竹久 夢二	初旅／『女学世界』口絵	大正3年（1914）	印刷／額装	竹久夢二美術館蔵
155	竹久 夢二	春／『淑女画報』口絵	大正7年（1918）	印刷／額装	竹久夢二美術館蔵
156	竹久 夢二	写生する人／『週刊朝日』掲載	昭和3年（1928）	インク、紙／額装	竹久夢二美術館蔵
157	竹久 夢二	羽子板「髻の女」	大正7年頃(c. 1918)	油彩、板／額装	竹久夢二美術館蔵
158	竹久 夢二	化粧の秋／『婦人グラフ』表紙	大正13年（1924）	木版画、紙／額装	竹久夢二美術館蔵
159	竹久 夢二	mai／『婦人グラフ』表紙	大正15年（1926）	木版画、紙／額装	竹久夢二美術館蔵
160	竹久 夢二	ピクニックにて／『婦人グラフ』口絵	大正15年（1926）	木版画、紙／額装	竹久夢二美術館蔵
161	竹久 夢二	春／『婦人グラフ』表紙	大正15年（1926）	木版画、紙／額装	竹久夢二美術館蔵
162	竹久 夢二	APL・FOOL／『婦人グラフ』表紙	大正15年（1926）	印刷／額装	竹久夢二美術館蔵
163	竹久 夢二	セノオ楽譜「清怨」 （成田為三作曲）	大正8年(1919)1月 （初版）	石版画、紙／額装	竹久夢二美術館蔵
164	竹久 夢二	セノオ楽譜「浜辺の歌」 （成田為三作曲）	大正13年(1924)6月 （3版）	石版画、紙／額装	竹久夢二美術館蔵
165	竹久 夢二	セノオ楽譜「秋田おぼこ」 （関谷敏子作曲）	大正15年(1926) 11月（初版）	石版画、紙／額装	竹久夢二美術館蔵
166	竹久 夢二	山田順子宛書簡	大正14年(1925) 7月24日（消印）	墨、紙／額装	竹久夢二美術館蔵
167	竹久 夢二	出帆（下）	昭和15年(1940)5月	冊子	竹久夢二美術館蔵
168	竹久 夢二	星に寄する	昭和初期	紙本墨画着色／軸装	竹久夢二美術館蔵
169	竹久 夢二	紙治之図	大正4年頃(c. 1915)	絹本着色／軸装	竹久夢二美術館蔵
170	竹久 夢二	舞妓	大正期	紙本着色／軸装	竹久夢二美術館蔵
171	竹久 夢二	置炬燵	大正10年頃(c. 1921)	紙本着色／軸装	竹久夢二美術館蔵
172	竹久 夢二	稲荷山	大正10年頃(c. 1921)	絹本着色／軸装	竹久夢二美術館蔵
173	竹久 夢二	『女学世界』七月号「無花果」	明治45年(1912)7月	雑誌	竹久夢二美術館蔵
174	竹久 夢二	『女学世界』定期増刊号	大正2年(1913)11月	雑誌	竹久夢二美術館蔵
175	竹久 夢二	『淑女画報』六月号	大正3年(1914)6月	雑誌	竹久夢二美術館蔵
176	竹久 夢二	『淑女画報』二月号	大正5年(1916)2月	雑誌	竹久夢二美術館蔵
177	竹久 夢二	『小説倶楽部』三月号	大正10年(1921)3月	雑誌	竹久夢二美術館蔵
178	竹久 夢二	『若草』五月	昭和4年(1929)5月	雑誌	竹久夢二美術館蔵
179	竹久 夢二	『民謡音楽』十二月	昭和4年(1929)12月	雑誌	竹久夢二美術館蔵
180	竹久 夢二	『暁声』一月	昭和5年(1930)1月	雑誌	竹久夢二美術館蔵
181	鱒崎 英朋	芙蓉	大正期	絹本着色／軸装	弥生美術館蔵

182	北野 恒富	初雪	大正末～昭和初期	絹本着色／軸装	弥生美術館蔵
183	北野 恒富	花	大正9年頃(c. 1920)	絹本着色／軸装	弥生美術館蔵
184	伊藤 晴雨	祭礼	大正末～昭和初期	絹本着色／軸装	弥生美術館蔵
185	井川 洗厓	雪中戯狗	大正期	絹本着色／軸装	弥生美術館蔵
186	鏑木 清方	おぼろ夜	大正14年頃(c. 1939)	絹本着色／軸装	弥生美術館蔵
187	鏑木 清方	絵草子屋の店	大正8年 (1919)	絹本着色／軸装	弥生美術館蔵
188	高島 華宵	雁わたる頃	昭和10年頃(c. 1921)	絹本着色／軸装	弥生美術館蔵
189	高島 華宵	情炎	昭和10年頃(c. 1921)	絹本着色／軸装	弥生美術館蔵
190	高島 華宵	長恨歌1～6	昭和2年 (1913)	校正刷り／額装	弥生美術館蔵
191	高島 華宵	若き日はおどらん	大正末～昭和初期	便箋原画／額装	弥生美術館蔵
192	高島 華宵	海に来て	大正末～昭和初期	便箋原画／額装	弥生美術館蔵
193	高島 華宵	桃色の部屋	大正末～昭和初期	便箋原画／額装	弥生美術館蔵
194	高島 華宵	桃色の部屋	大正末～昭和初期	印刷／額装	弥生美術館蔵
195	高島 華宵	囁くひかり	大正末～昭和初期	便箋原画／額装	弥生美術館蔵
196	高島 華宵	囁くひかり	大正末～昭和初期	印刷／額装	弥生美術館蔵
197	高島 華宵	紅薔薇	大正末～昭和初期	便箋原画／額装	弥生美術館蔵
198	高島 華宵	紅薔薇	大正末～昭和初期	印刷／額装	弥生美術館蔵
199	高島 華宵	落葉	大正末～昭和初期	便箋原画／額装	弥生美術館蔵
200	高島 華宵	落葉	大正末～昭和初期	印刷／額装	弥生美術館蔵
201	高島 華宵	かげろふ	大正末～昭和初期	便箋原画／額装	弥生美術館蔵
202	高島 華宵	かげろふ	大正末～昭和初期	印刷／額装	弥生美術館蔵
203	高島 華宵	幻を追うて	大正末～昭和初期	便箋原画／額装	弥生美術館蔵
204	高島 華宵	幻を追うて	大正末～昭和初期	印刷／額装	弥生美術館蔵
205	高島 華宵	ささやく月影	大正末～昭和初期	便箋原画／額装	弥生美術館蔵
206	高島 華宵	菊咲く頃	大正末～昭和初期	便箋原画／額装	弥生美術館蔵
207	高島 華宵	移りゆく姿 (複製)	大正末～昭和初期	印刷／六曲一双	弥生美術館蔵
208	高島 華宵	『婦人世界』 第22巻 第6号	昭和2年 (1913)	雑誌	弥生美術館蔵
209	高島 華宵	『婦人世界』 第22巻 第8号	昭和2年 (1913)	雑誌	弥生美術館蔵
210	高島 華宵	『少女画報』 第13巻 第10号	大正13年 (1924)	雑誌	弥生美術館蔵
211	高島 華宵	『少女画報』 第15巻 第2号	大正15年 (1926)	雑誌	弥生美術館蔵
212	高島 華宵	『少女画報』 第19巻 第1号	昭和5年 (1930)	雑誌	弥生美術館蔵
213	高島 華宵	『少女画報』 第15巻 第6号	昭和5年 (1930)	雑誌	弥生美術館蔵
214	高島 華宵	『少女画報』 第15巻 第9号	昭和5年 (1930)	雑誌	弥生美術館蔵
215	高島 華宵	『少女画報』 第15巻 第11号	昭和5年 (1930)	雑誌	弥生美術館蔵
216	ホーリー・ヴァンセント ・ピアズリー	オスカー・ワイルド著『サロメ』	1905	書籍	弥生美術館蔵
217	ホーリー・ヴァンセント ・ピアズリー	『イエローブック』(2冊)	1894/1895	冊子	弥生美術館蔵
218	須藤 しげる	明月	昭和5年 (1930)	カラー原画／額装	弥生美術館蔵
219	須藤 しげる	春の女神	昭和8年 (1933)	カラー原画／額装	弥生美術館蔵
220	須藤 しげる	たなばた姫	昭和6年 (1931)	カラー原画／額装	弥生美術館蔵
221	水島 爾保布	人魚の嘆き1～1 1	大正8年 (1919)	印刷／額装	弥生美術館蔵
222	小村 雪岱	お伝地獄1～1 8	昭和9-10年 (1934-1935)	下絵／額装	弥生美術館蔵
223	初山 滋	お姫さまは森で (仮題)	大正末～昭和初期	モノクロ原画／額装	弥生美術館蔵
224	初山 滋	星の十字架 (仮題)	大正末～昭和初期	モノクロ原画／額装	弥生美術館蔵
225	初山 滋	マリア陛下の御童話	大正末～昭和初期	モノクロ原画／額装	弥生美術館蔵
226	加藤 まさを	薔薇	大正末～昭和初期	印刷／額装	弥生美術館蔵
227	加藤 まさを	モクレン (仮題)	大正末～昭和初期	カラー原画／額装	弥生美術館蔵
228	加藤 まさを	インディアンラメント	大正末～昭和初期	カラー原画・印刷／額装	弥生美術館蔵
229	岩田 専太郎	蛇姫様1～7	昭和14-15年	モノクロ原画／額装	弥生美術館蔵

(1939-40)

230	岩田 専太郎	新篇丹下左膳	昭和23年 (1948)	モノクロ原画／額装	弥生美術館蔵
231	蒔谷 虹児	追想	大正末～昭和初期	モノクロ原画／額装	弥生美術館蔵
232	蒔谷 虹児	柳 (仮題)	大正末～昭和初期	モノクロ原画／額装	弥生美術館蔵
233	蒔谷 虹児	初雁	大正末～昭和初期	モノクロ原画／額装	弥生美術館蔵
234	蒔谷 虹児	柳の下 (仮題)	大正末～昭和初期	モノクロ原画／額装	弥生美術館蔵
235	蒔谷 虹児	ミュージックホールの娘たち	大正末～昭和初期	モノクロ原画／額装	弥生美術館蔵
236	蒔谷 虹児	緑色の部屋	大正末～昭和初期	印刷／額装	弥生美術館蔵
237	蒔谷 虹児	潮風	大正末～昭和初期	印刷／額装	弥生美術館蔵
238	蒔谷 虹児	南国の庭 (仮題)	大正末～昭和初期	印刷／額装	弥生美術館蔵
239	蒔谷 虹児	新緑	大正末～昭和初期	印刷／額装	弥生美術館蔵
240	蒔谷 虹児	PROMNARD DECK	大正末～昭和初期	印刷／額装	弥生美術館蔵
241	蒔谷 虹児	秋風	大正末～昭和初期	印刷／額装	弥生美術館蔵
242	蒔谷 虹児	手紙を出しに (仮題)	大正末～昭和初期	印刷／額装	弥生美術館蔵
243	蒔谷 虹児	イブニングドレス (仮題)	大正末～昭和初期	印刷／額装	弥生美術館蔵
244	蒔谷 虹児	うたたね	大正末～昭和初期	印刷／額装	弥生美術館蔵
245	蒔谷 虹児	メルシィ モンプティ	大正末～昭和初期	印刷／額装	弥生美術館蔵
246	蒔谷 虹児	宵闇	大正末～昭和初期	印刷／額装	弥生美術館蔵
247	蒔谷 虹児	巴里のカーニバル	大正末～昭和初期	印刷／額装	弥生美術館蔵
248	蒔谷 虹児	郊外の秋	大正末～昭和初期	印刷／額装	弥生美術館蔵
249	蒔谷 虹児	マロニエの秋	大正末～昭和初期	印刷／額装	弥生美術館蔵
250	蒔谷 虹児	ボートデッキ (仮題)	大正末～昭和初期	印刷／額装	弥生美術館蔵
251	蒔谷 虹児	胡蝶の夢	大正末～昭和初期	印刷／額装	弥生美術館蔵
252	蒔谷 虹児	碧き瞳	大正末～昭和初期	印刷／額装	弥生美術館蔵
253	蒔谷 虹児	『少女画報』 10周年記念号	大正10年 (1921)	雑誌	弥生美術館蔵
254	蒔谷 虹児	『少女画報』 第10巻 第8号	大正10年 (1921)	雑誌	弥生美術館蔵
255	蒔谷 虹児	『令女界』 第4巻 第6号	大正14年 (1925)	雑誌	弥生美術館蔵
256	蒔谷 虹児	『令女界』 第4巻 第7号	大正14年 (1925)	雑誌	弥生美術館蔵
257	蒔谷 虹児	『令女界』 第4巻 第10号	大正14年 (1925)	雑誌	弥生美術館蔵
258	蒔谷 虹児	『令女界』 第4巻 第11号	大正14年 (1925)	雑誌	弥生美術館蔵
259	蒔谷 虹児	『令女界』 第14巻 第3号	昭和10年 (1935)	雑誌	弥生美術館蔵
260	蒔谷 虹児	『令女界』 第17巻 第8号	昭和13年 (1938)	雑誌	弥生美術館蔵
261	中原 淳一	娘十二ヶ月 (8月)	昭和16年 (1941)	木版画、紙／額装	弥生美術館蔵
262	中原 淳一	娘十二ヶ月 (9月)	昭和16年 (1941)	木版画、紙／額装	弥生美術館蔵
263	中原 淳一	娘十二ヶ月 (10月)	昭和16年 (1941)	木版画、紙／額装	弥生美術館蔵
264	中原 淳一	娘十二ヶ月 (11月)	昭和16年 (1941)	木版画、紙／額装	弥生美術館蔵
265	中原 淳一	娘十二ヶ月 (12月)	昭和16年 (1941)	木版画、紙／額装	弥生美術館蔵
266	中原 淳一	『少女の友』 第29巻 第10号	昭和11年 (1936)	雑誌	弥生美術館蔵
267	中原 淳一	『少女の友』 第30巻 第7号	昭和12年 (1937)	雑誌	弥生美術館蔵
268	中原 淳一	『少女の友』 第30巻 第9号	昭和12年 (1937)	雑誌	弥生美術館蔵
269	中原 淳一	『少女の友』 第30巻 第11号	昭和12年 (1937)	雑誌	弥生美術館蔵
270	中原 淳一	『少女の友』 第31巻 第13号	昭和13年 (1938)	雑誌	弥生美術館蔵
271	中原 淳一	『少女の友』 第32巻 第12号	昭和14年 (1939)	雑誌	弥生美術館蔵
272	中原 淳一	『ジュニアそれいゆ』 No. 11	昭和31年 (1956)	雑誌	弥生美術館蔵
273	中原 淳一	『ひまわり』 第3巻 第9号	昭和24年 (1949)	雑誌	弥生美術館蔵

## ◇関連記事

### 印刷物

- ・『あきた県民文化芸術祭公式ガイドブック』
- ・秋田魁新報 1/3、2/17、3/19、4/3、4/26、6/12、7/9、7/16、7/19、7/31、8/4、8/6、8/14、8/27、8/31、9/11、9/12、9/13、9/14、9/15、9/16、9/17、9/28、10/10、10/31、11/9
- ・秋田魁新報 カラー広告 7/15、7/25、8/1、8/2、8/7、8/22、8/29、9/3、9/9、9/17、9/23、10/2、10/9、10/15、10/28、10/30、11/6、11/9、11/11、11/27
- ・『take up!』 8月号
- ・読売新聞 8/6、8/31
- ・『地域創造レター』 8/25
- ・『岩手タウン誌acute』 8/26
- ・『月刊アンドナウ』 9月号
- ・『どあっぷ!』 9月号
- ・『rakra (ラ・クラ)』 9月号
- ・『クルール』 9月号
- ・北鹿新聞 10/20
- ・河北新報 広域交流版 10/20
- ・『Mari Mari』 11/4号 (Vol.381)
- ・河北新報 11/13

### テレビ・ラジオ

- ・AKT秋田テレビ 9/18
- ・FMゆーとぴあ 9/20
- ・ABS秋田放送 9/27
- ・横手かまくらFM 10/12
- ・NHK新日曜美術館アートシーン 10/23
- ・AAB秋田朝日放送 11/2

### Web

- ・仙台タウン情報 Machico
- ・Walkerplus
- ・日本博物館協会HP
- ・横手経済新聞HP 11/10掲載

#### iv. 特別展

### 生誕150年 寺崎廣業とその時代

会 期：2016(平成28)年12月3日(土)～2017(平成29)年2月5日(日)(52日間)

前期：2016(平成28)年12月3日(土)～2017(平成29)年1月9日(月)

後期：2017(平成29)年1月20日(金)～2017(平成29)年2月5日(日)

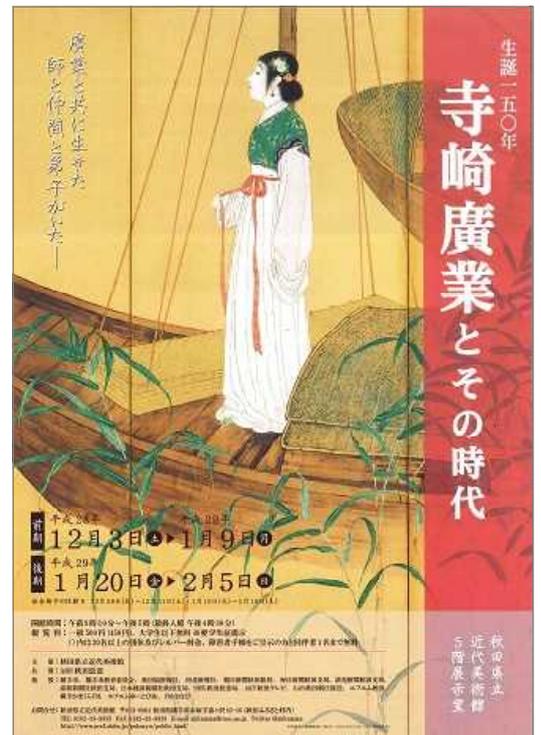
主 催：秋田県立近代美術館

共 催：ABS秋田放送

後 援：横手市／横手市教育委員会／秋田魁新報社／  
河北新報社／朝日新聞秋田総局／毎日新聞秋田支局／  
読売新聞秋田支局／産経新聞社秋田支局／  
日本経済新聞社秋田支局／NHK秋田放送局／  
AKT秋田テレビ／AAB秋田朝日放送／エフエム秋田／  
横手かまくらFM／エフエムゆーとぴあ／FMはなび

担 当：保泉 充、鈴木 京

明治から大正時代を代表する日本画家・寺崎廣業の生誕150年を記念した展覧会。秋田市に生まれた廣業は、狩野派の小室怡々斎、四条派の平福穂庵、南画家の菅原白龍に影響を受け、入社した東陽堂では版下縮図を描くなど多様な流派の様式を学ぶ。その後日本青年絵画協会、日本美術院の創立へ参加、東京美術学校教授、日本最初の官設美術展である文展で第1回展より審査委員をつとめなど、明治・大正期の日本画壇を支える一人として活躍した。本展では、日本画壇の中心的存在として活躍した寺崎廣業と師や仲間、弟子などの作品を前後期に分けて展示し、廣業の人物像や時代背景を俯瞰した。



#### 第1展示室

No	作家名	作品名	制作年	技法・素材・形状	寸法(縦×横、cm)	所蔵	展示
1	寺崎 廣業	夜聴歌者	1915(大正4)	絹本裏箔着色6曲1双	各166.6×370.8	秋田県立近代美術館	前・後期
2	小室怡々斎	鍾馗	1887(明治20)	絹本着色軸装	147.5×101.0	秋田県立近代美術館	前期
3	菅原 白龍	雨中山水図	—	絹本墨画軸装	145.3× 49.5	宮城県美術館	前期
4	小室怡々斎	年中行事	1891(明治24)	紙本淡彩6曲1隻	89.3×298.4	秋田市立千秋美術館	後期
5	平福 穂庵	蕭何追韓信図	1886(明治19)頃	絹本着色軸装	126.8× 56.2	秋田県立近代美術館	前・後期
6	平福 穂庵	西王母	1890(明治23)頃	絹本着色軸装	147.8× 64.8	寄託品(個人蔵)	前・後期
7	平福 穂庵	乳虎	1890(明治23)	絹本墨画淡彩軸装	82.4×159.5	秋田県立近代美術館	前・後期
8	寺崎 廣業	墨堤之雪	1893(明治26)	絹本着色	65.6×110.4	秋田県立近代美術館	前期
9	寺崎 廣業	美人読書図	1893(明治26)	絹本着色軸装	49.0×105.0	秋田市立千秋美術館	後期
10	寺崎 廣業	不忍池畔	1894(明治27)	絹本着色軸装	49.1× 67.8	秋田県立近代美術館	前・後期
11	寺崎 廣業	美人	—	絹本着色軸装3幅対	各126.0× 50.0	秋田県立近代美術館	前・後期
12	寺崎 廣業	和合の女神	—	絹本淡彩軸装	112.0× 42.0	培広庵コレクション	前・後期
13	寺崎 廣業	秋草美人	—	絹本着色軸装	44.0× 26.0	培広庵コレクション	前・後期
14	寺崎 廣業	小野小町	1899(明治32)頃	絹本着色軸装	127.2× 50.5	秋田県立近代美術館	前期
15	寺崎 廣業	天の岩戸	—	絹本着色軸装	147.0× 84.0	秋田県立近代美術館	後期

#### 第2展示室

No	作家名	作品名	制作年	技法・素材・形状	寸法(縦×横、cm)	所蔵	展示
16	寺崎 廣業	易水離別図	1899(明治32)	絹本着色軸装	167.7× 84.6	秋田市立千秋美術館	後期
17	寺崎 廣業	王陽明	1903(明治36)	絹本着色軸装	196.1×115.6	秋田市立千秋美術館	後期
18	寺崎 廣業	春秋	1905(明治38)頃	紙本金地着色6曲1双	各180.0×370.0	秋田県立近代美術館	前・後期

19	寺崎 廣業	王摩詰	1907(明治40)	絹本着色軸装	165.0× 84.5	秋田県立近代美術館	前期
20	寺崎 廣業	湖畔の夏 ・寒林の月	1907(明治40)	絹本裏箔墨画6曲1双	各178.0×420.0	秋田市立千秋美術館	後期
21	寺崎 廣業	澗明撫松	1910(明治43)	絹本着色軸装	198.0× 58.0	秋田県立近代美術館	前期
22	寺崎 廣業	舞妓・芸者	1910(明治43)	絹本着色軸装対幅	各144.0× 65.9	秋田市立千秋美術館	後期
23	寺崎 廣業	羅浮仙図	1913(大正 2)	絹本着色軸装	226.0× 56.5	秋田県立近代美術館	前期
24	寺崎 廣業	山水図	1911(明治44)	紙本金地墨画6曲1双	右隻168.9×361.4 左隻169.1×361.8	福島県立美術館	前期
25	寺崎 廣業	長恨歌	1914(大正 3)	絹本金地着色6曲1双	各171.0×373.5	秋田県立近代美術館	前期
26	寺崎 廣業	美人観月図	—	絹本着色軸装	119.7× 57.3	秋田県立近代美術館	前・後期
27	寺崎 廣業	婦女弹琴図	—	絹本着色軸装	55.0× 87.7	秋田市立千秋美術館	後期
28	寺崎 廣業	韓信	—	絹本墨画淡彩対幅	各111.0× 40.3	秋田市立千秋美術館	後期
29	寺崎 廣業	杜甫	1918(大正 7)	絹本着色軸装	210.8×100.7	秋田県立近代美術館	前・後期
30	寺崎 廣業	白馬雪溪	1917(大正 6)	絹本着色軸装	184.8× 86.4	秋田県立近代美術館	前期
31	寺崎 廣業	絶峰催春	—	絹本墨画軸装	137.0× 56.0	秋田県立近代美術館	後期
32	寺崎 廣業	天平美人	1909(明治42)頃	絹本金地着色2曲1双	各152.5×172.5	秋田県立近代美術館	前・後期

### 第3展示室

No	作家名	作品名	制作年	技法・素材・形状	寸法(縦×横、cm)	所蔵	展示
33	橋本 雅邦	山家春暁 秋汀夜泊	—	絹本着色軸装双幅	129.5× 51.5 129.7× 51.5	宮城県美術館	前期
34	横山 大観	春曙・秋雨	—	絹本着色軸装対幅	各120.0× 41.0	秋田県立近代美術館	後期
35	横山 大観	雲中富士	1920(大正9)頃	紙本金地着色2曲1双	各169.0×178.0	秋田県立近代美術館	後期
36	村田 丹陵	文武	1900(明治33)	絹本着色軸装双幅	各111.5× 49.3	宮城県美術館	前期
37	川端 玉章	麗人採桑之図	1899(明治32)	絹本着色軸装	117.2× 51.3	宮城県美術館	前期
38	川端 玉章	山静日長	1907(明治40)	絹本墨画淡彩軸装	157.0× 72.0	宮城県美術館	前期
39	下村 観山	寒空	1923(大正12)	絹本着色軸装	44.0× 94.0	福島県立美術館	前期
40	結城 素明	春秋山水	—	絹本着色軸装対幅	各126.0× 46.0	秋田県立近代美術館	後期
41	寺崎 廣業	瀟湘八景	1912(大正1)	紙本着色軸装8幅	各 52.1× 86.8	秋田県立近代美術館	前期
42	寺崎 廣業	白馬山八題	1917(大正 6)	紙本着色軸装8幅	各 57.9× 89.2	秋田県立近代美術館	後期
43	町田 曲江	太子と王妃	1936(昭和11)	絹本着色額装	右 55.0× 43.0、 左 55.3× 42.3	秋田県立近代美術館	前・後期
44	高橋 萬年	新月橋の雨	1923(大正12)	絹本着色軸装	95.0×147.0	秋田市立千秋美術館	後期
45	下村 観山	三保富士	1919(大正8)	絹本金地着色6曲1双	各167.0×370.0	秋田県立近代美術館	後期
46	松岡 映久	沼川 入江 薄野 雪路	1917(大正6)頃	絹本着色軸装(4幅対)	127.3× 35.8 127.3× 35.7 127.4× 35.8 127.2× 35.8	福島県立美術館	前期

### 第4展示室

No	作家名	作品名	制作年	技法・素材・形状	寸法(縦×横、cm)	所蔵	展示
47	寺崎 廣業	高山清秋	1914(大正3)	絹本裏箔着色6曲1双	各168.2×364.2	秋田県立近代美術館	前・後期
48	寺崎 廣業	春秋図	1905(明治38)	紙本着色襖10面	167.0× 84.1 167.0×108.0	秋田県立近代美術館	前・後期
49	寺崎 廣業	信濃の山路	1915(大正4)	紙本墨画卷子装	43.0×1,005.0	秋田県立近代美術館	前・後期

資料 印章 — 秋田県立近代美術館 前・後期

資料 絵画叢誌 第244号 1907(明治40.8) 東陽堂 島田安彦コレクション 前・後期

資料	絵画叢誌 第253号	1908(明治41.5)	東陽堂	島田安彦コレクション	前・後期
資料	絵画叢誌 第254号	1908(明治41.6)	東陽堂	島田安彦コレクション	前・後期
資料	絵画叢誌 第263号	1909(明治42.3)	東陽堂	島田安彦コレクション	前・後期
資料	画法自在	1898(明治31)	博文館	島田安彦コレクション	後期
資料	絵はがき	—	東京両国すみ屋	島田安彦コレクション	後期

#### ◇関連記事

#### 印刷物

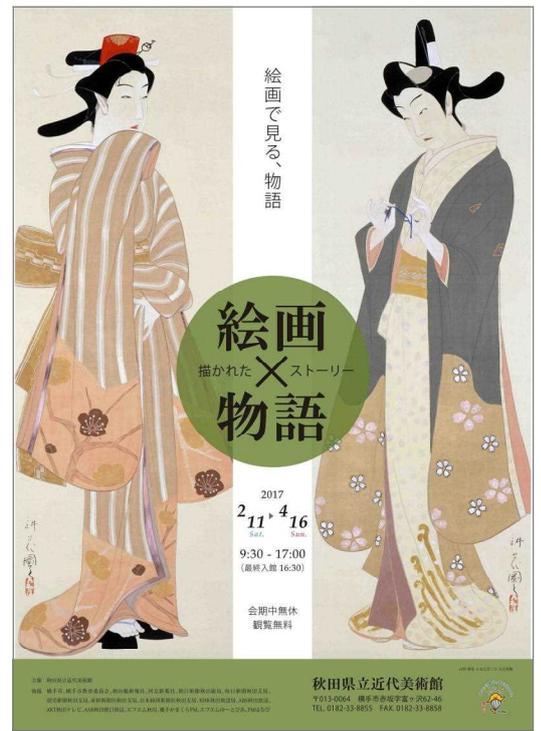
- ・秋田魁新聞 11/8、12/15、12/23
- ・読売新聞 11/30
- ・教育あきた 12月号 (No. 735)
- ・北鹿新聞 12/15
- ・『月刊アンドナウ』 1月号
- ・『rakra(ラ・クラ)』 1・2月号
- ・広報うご 12月号

V. 企画展

絵画×物語 描かれたストーリー

会 期：2017(平成29)年2月11日(土)～4月16日(日) (65日間)  
 主 催：秋田県立近代美術館  
 後 援：横手市／横手市教育委員会／秋田魁新報社／  
 河北新報社／朝日新聞秋田総局／毎日新聞秋田支局／  
 読売新聞秋田支局／産経新聞社秋田支局／  
 日本経済新聞社秋田支局／NHK秋田放送局／ABS秋田放送／  
 AKT秋田テレビ／AAB秋田朝日放送／エフエム秋田／  
 横手かまくらFM／エフエムゆーとぴあ／FMはなび  
 担 当：奈良 香、鈴木 京

本展では、当館の収蔵品より、「日本の物語」「中国・インドの物語」「勝平得之が描く物語」「福田豊四郎が描く物語」の4部構成で、物語を基に描かれた絵画作品を紹介した。素描、水彩画、版画、日本画など、バラエティに富んだ作品を選定し、普段はあまり展示される機会のない作品も取り上げた。勝平得之の「椽ノ木の話」、福田豊四郎の「夕鶴」など、原画ならではの魅力も伝えられるよう努めた。



第1展示室：「日本の物語」

No	作家名	作品名	制作年	材料技法等	寸法 (cm)
1	小杉 放菴	雀の御宿	制作年不詳	紙本墨画淡彩／軸装	39.0× 43.0
2	平福 穂庵	祐天上人霊夢	1889 (明治22)	絹本着色／軸装	123.0× 53.0
3	平福 百穂	法然上人	1922 (大正11)	紙本着色／軸装	106.0× 56.0
4	平福 百穂	堅田の一休	1929 (昭和4)	絹本墨画淡彩／軸装	115.0× 95.0
5	平福 穂庵	日蓮上人入滅之図	1890 (明治23)	絹本着色／軸装	86.5× 120.0
6	小川 芋銭	草汁翁作海坊主	制作年不詳	紙本墨画／軸装	径 60.6
7	平福 百穂	武尊誅梟帥図	1893 (明治26)	紙本着色／軸装	81.0× 133.0
8	平福 百穂	日本武尊・白鳥陵・相模の海	1918 (大正7)	紙本墨画淡彩／軸装	各156.0× 47.0
9	平福 百穂	神語	1918 (大正7)	紙本墨画淡彩／軸装	各 55.7× 68.0
10	山村 耕花	お七吉三	1910年代 (大正初期)	絹本着色／軸装	各126.0× 42.0
11	川口 月嶺	加藤清正図	制作年不詳	紙本着色／軸装	132.0× 60.0
12	小野崎大凌	清磨八幡宮参詣途次	制作年不詳	絹本着色／軸装	101.0× 42.0
13	平福 百穂	蘆花翡翠	制作年不詳	紙本墨画淡彩／軸装	27.7× 30.0
14	寺崎 廣業	歴史説話図屏風	制作年不詳	絹本着色／6曲1双	各120.0× 271.8

第2展示室：「中国・インドの物語」

No	作家名	作品名	制作年	材料技法等	寸法 (cm)
15	平福 百穂	芳池育鱗	1921 (大正10)	紙本墨画淡彩／軸装	48.0× 59.0
16	辻 九阜	秋聲賦意	1898 (明治31)	絹本着色／軸装	98.0× 42.0
17	吉川 靈華	弁財天	1929 (昭和4)	紙本墨画淡彩／軸装	129.4× 30.5
18	平福 穂庵	羅漢尊者之図	1889 (明治22) 頃	絹本着色／軸装	120.8× 57.5
19	倉田 松濤	羅漢	制作年不詳	紙本淡彩／6曲1隻	76.0× 300.0
20	平福 穂庵	蝦蟇仙人	1874 (明治7)	紙本墨画淡彩／軸装	127.7× 56.2
21	作者不詳	蝦蟇仙人	制作年不詳	絹本着色／額装	94.0× 56.0
22	岡田 琴湖	寒山拾得	制作年不詳	紙本墨画淡彩／2曲1隻	各135.0× 60.0
23	岡田 琴湖	龍虎	制作年不詳	絹本金地墨画／6曲1双	各170.0× 381.0
24	柴田 是真	蘭亭曲水図	制作年不詳	絹本着色／軸装	155.0× 86.0

25	平福 穂庵	緑蔭清談	1886 (明治19)	紙本着色／軸装	150.0× 79.2
26	加藤 雪窓	知音	1897 (明治30)	絹本着色／軸装	145.0× 71.0
27	河津 胖子	訶梨帝母	1980 (昭和55)	紙本着色／額装	227.3×181.8

### 第3展示室：「勝平得之が描く物語」

No	作家名	作品名	制作年	材料技法等	寸法 (cm)
28	勝平 得之	秋田民族絵詞 (6点)	1962 (昭和37)	木版、紙／額装	各 19.5× 15.1
29	勝平 得之	椽ノ木の話版画集 (32点)	1942 (昭和17)	木版、紙／額装	各 15.0× 21.1
30	勝平 得之	土に生きる (11点)	1941 (昭和16)	木版、紙／額装	各 29.7× 38.0

### 第4展示室：「福田豊四郎が描く物語」

No	作家名	作品名	制作年	材料技法等	寸法 (cm)
31	福田豊四郎	小説『あした来る人』原画 (16点)	1954 (昭和29)	墨、紙／額装	各 16.0× 24.2
32	福田豊四郎	小説『チョップ先生』原画 (16点)	1955 (昭和30)	墨、紙／額装	各 16.0× 24.2
33	福田豊四郎	小説『火口湖』原画 (4点)	1958 (昭和33)	墨、紙／額装	各 16.0× 24.2
34	福田豊四郎	小説『氷点』原画 (16点)	1964 (昭和39)	墨、紙／額装	各 16.0× 24.2
35	福田豊四郎	絵本『夕鶴』原画 (23点)	1951 (昭和26)	水彩、紙／額装	(大)各30.8×42.6 (小)各44.5×31.3
36	福田豊四郎	秋田のマリヤ	1948 (昭和23)	紙本着色／3曲1隻	179.3×222.4
37	福田豊四郎	氷原	1958 (昭和33)	紙本着色／額装	95.4×161.0

#### ◇関連記事

##### 印刷物

- ・『美術の窓』 2月号
- ・『take up!』 3月号
- ・『教育あきた』 3月号
- ・『Mari Mari』 3/3号 (Vol.397)
- ・秋田魁新報 3/8、3/21、3/29
- ・『rakra(ラ・クラ)』 3・4月号

##### テレビ・ラジオ

- ・FMゆ〜とぴあ 2/21
- ・AKT秋田テレビ 2/23

## コレクション展

### i. 2016コレクション展

#### 第I期 斎藤寅彦 時の跡

会期：2016(平成28)年4月13日(水)～7月10日(日) (89日間)

第1展示室(6階)：「秋田蘭画・日本画セレクション」

第2展示室(6階)：「斎藤寅彦 時の跡」

第3展示室(6階)：「彫刻セレクション」

担当：奈良 香



#### 第1展示室：秋田蘭画・日本画セレクション

No	作家名	作品名	制作年	素材	寸法 (cm)
1	平福 穂庵	岩に鶯	—	紙本墨画淡彩／軸装	103.4× 58.4
2	平福 百穂	鶯鳥	—	紙本墨画淡彩／軸装	44.5× 58.5
3	小室怡々斎	嵐峡桜花	—	紙本墨画淡彩／軸装	135.0× 54.0
4	寺崎 廣業	絶峰催春	—	絹本墨画／軸装	137.0× 56.0
5	横山 大観	春曙・秋雨	—	絹本着色／軸装	各120.0× 41.0
6	福田豊四郎	山湖遊行巻	1929 (昭和4)	紙本着色／卷子装	66.0×1090.0
7	小松 均	春の最上川	1974 (昭和49)	紙本墨画着色／額装	各 94.0× 368.0
8前	小田野直武	不忍池図	1770年代 (安永年間)	絹本着色／額装	98.5× 132.5
8後	小田野直武	芍薬花籠図	1770年代 (安永年間)	絹本着色／軸装	94.5× 21.5
9	小野崎大凌	春秋遊鹿花鳥図	—	絹本着色／6曲1双	各131.0× 301.8

※ 小田野直武の《不忍池図》と《芍薬花籠図》は、作品保護のため会期中に展示替え。  
 展示期間 前期 《不忍池図》 4/13～5/27 後期 《芍薬花籠図》 5/28～7/10

#### 第2展示室：斎藤寅彦 時の跡

No	作家名	作品名	制作年	素材	寸法 (cm)
1	斎藤 寅彦	蒼園 一 II	1982 (昭和57)	油彩、キャンバス	162.0×194.0
2	斎藤 寅彦	H氏の机	1988 (昭和63)	油彩、キャンバス	227.3×162.0
3	斎藤 寅彦	紙ふうせん	1991 (平成3)	油彩、キャンバス	227.3×162.0
4	斎藤 寅彦	時の跡 2002年3月31日	2002 (平成14)	油彩、キャンバス	181.8×227.3
5	斎藤 寅彦	時の跡 2005	2005 (平成17)	油彩・テンペラ、キャンバス	227.3×162.0
6	斎藤 寅彦	時の跡 [繋ぐ]	2007 (平成19)	油彩・テンペラ、キャンバス	162.0×130.0
7	斎藤 寅彦	時の跡 (繋ぐ '09)	2009 (平成21)	油彩・テンペラ・アキーラ、キャンバス	162.0×227.3
8	斎藤 寅彦	時の跡 一 繋ぐIII	2008 (平成20)	油彩・テンペラ、キャンバス	227.3×162.0
9	斎藤 寅彦	時の跡 '12	2012 (平成24)	油彩・テンペラ・アキーラ、キャンバス	162.0×227.3
10	斎藤 寅彦	時の跡・イソヒヨドリ	2012 (平成24)	油彩・アキーラ、キャンバス	116.7× 91.0
11	斎藤 寅彦	時の跡 2013	2013 (平成25)	油彩・テンペラ・アキーラ、キャンバス	227.3×162.0
12	斎藤 寅彦	印旛沼 (春)	2005 (平成17)	鉛筆、紙	36.5×206.0
13	斎藤 寅彦	野 (山百合)	2012 (平成24)	墨、紙	116.7× 80.3
14	斎藤 寅彦	野 (野菊)	2012 (平成24)	墨、紙	116.7× 72.7

#### 第3展示室：彫刻セレクション

No	作家名	作品名	制作年	素材	寸法 (cm)
1	高田 博厚	ナナ	1969 (昭和44)	テラコッタ	26.0× 14.5× 21.0
2	一色 邦彦	津舞 I	1965 (昭和40)	ブロンズ	77.0× 63.0× 35.0
3	桜井 祐一	あるポーズ (六)	1967 (昭和42)	ブロンズ	85.0× 63.0× 90.0
4	堀内 正和	摩止訶俱天狗	1968 (昭和43)	ブロンズ	45.0× 23.0× 54.0
5	峯田 義郎	旅・ひとり	1993 (平成5)	ブロンズ	72.0×118.0× 26.0
6	山本 正道	旅の記憶	1986 (昭和61)	ブロンズ	20.0×126.0× 44.0
7	柳原 義達	犬の唄	1961 (昭和36)	ブロンズ	153.3× 62.0× 62.0

8	安藤 泉	橿原生活	1975 (昭和50)	銅、銀	158.0× 70.0× 70.0
9	舟越 保武	原の城	1971 (昭和46)	ブロンズ	197.0× 64.0× 53.0

◇関連記事

印刷物

- ・北鹿新聞 4/14
- ・秋田魁新報 4/16、4/28、6/8
- ・『新美術新聞』 6/1
- ・『美術の窓』 6月号 vol. 393

テレビ・ラジオ

- ・横手かまくらFM 会期中随時

ii. 2016コレクション展

第Ⅱ期 没後60年 高橋萬年

会期：2016(平成28)年7月13日(水)～10月10日(月・祝) (90日間)

第1展示室(6階)：「日本画コレクション」

第2展示室(6階)：「没後60年 高橋萬年」

第3展示室(6階)：「版画コレクション」

担当：鈴木 京



第1展示室：日本画コレクション

No	作家名	生没年	作品名	制作年	材質	寸法 (cm)	形式・員数
1※	小田野直武	1749-1780	唐太宗花鳥山水図	江戸中期	絹本着色	各122.0× 44.5	軸装・3幅対
1※	小田野直武	1749-1780	富嶽図	江戸中期	絹本着色	43.5× 77.0	軸装
2	平福 穂庵	1844-1890	鶴ヶ丘静ノ舞	1883 (明治16)	絹本着色	39.5× 58.0	軸装
3	鏑木 清方	1878-1972	秋の夜	1919 (大正8)	絹本着色	140.3× 50.7	軸装
4	荘司 福	1910-2002	秋立つ	1946 (昭和21)	紙本着色	138.5× 124.0	額装
5	梶田 半古	1870-1917	孔雀図屏風	制作年不詳	絹本金地着色	各172.0× 376.0	六曲一双
6	平福 百穂	1877-1933	菊図	1917 (大正6)	紙本墨画淡彩	各169.5× 83.0	襖8面
7	高橋 清見	1932-	朝顔	1984 (昭和59)	紙本着色	186.0× 224.0	額装
8	横山 津恵	1916-2007	椅子	1950 (昭和25)	紙本着色	149.0× 170.0	二曲一隻
9	斎藤 英壺	1926-1999	浜	1988 (昭和63)	紙本着色	227.3× 182.0	額装

※ 秋田蘭画は次の期間で展示替 小田野直武 《唐太宗花鳥山水図》 (7月13日～8月26日)  
小田野直武 《富嶽図》 (8月27日～10月10日)

第2展示室：没後60年 高橋萬年

No	作家名	生没年	作品名	制作年	材質	寸法 (cm)	形式・員数
10	高橋 萬年	1897-1956	一掃百態	1915 (大正4)	紙本墨画		卷子装
11	高橋 萬年	1897-1956	スケッチ東京	制作年不詳	紙本着色		額装
12	高橋 萬年	1897-1956	銀座尾張町	1928 (昭和3)	絹本着色	98.5× 145.5	額装
13	高橋 萬年	1897-1956	弁財天	制作年不詳	絹本着色	124.8× 50.4	軸装
14	高橋 萬年	1897-1956	鍾馗	制作年不詳	絹本着色	119.0× 57.0	軸装
15	高橋 萬年	1897-1956	飯詰児	制作年不詳	絹本着色	139.5× 50.9	軸装
16	高橋 萬年	1897-1956	夏の午後	制作年不詳	絹本着色	119.0× 35.5	軸装
17	高橋 萬年	1897-1956	秋の田園	制作年不詳	絹本着色	48.0× 99.0	軸装
18	高橋 萬年	1897-1956	田植大下図	1938 (昭和13)	紙本着色	166.5× 334.5	4曲1隻
19	高橋 萬年	1897-1956	農夫	1940 (昭和15)	紙本着色	169.0× 453.0	6曲1隻

20	高橋 萬年	1897-1956	野山柴大下図	1946 (昭和21)	紙本着色	各170.2×170.8	軸装・2幅
21	高橋 萬年	1897-1956	田	1951 (昭和26)	紙本着色	各168.8×170.2	2曲1双
22	高橋 萬年	1897-1956	馬屋	制作年不詳	紙本着色	173.0×173.0	2曲1隻
23	高橋 萬年	1897-1956	牡丹	制作年不詳	絹本着色	137.0× 51.0	軸装
24	高橋 萬年	1897-1956	初秋	制作年不詳	絹本着色	126.0× 34.0	軸装
25	高橋 萬年	1897-1956	菊	制作年不詳	絹本墨画淡彩	128.5× 42.0	軸装
26	高橋 萬年	1897-1956	雪松図	制作年不詳	紙本着色	142.0× 72.0	軸装
27	高橋 萬年	1897-1956	四季彩	制作年不詳	紙本着色	150.0×150.0	額装
28	高橋 萬年	1897-1956	白梅	制作年不詳	紙本着色	88.0×109.0	額装
29	高橋 萬年	1897-1956	スケッチ 野良着	制作年不詳	紙本着色	36.0× 22.8	額装
30	高橋 萬年	1897-1956	スケッチ 雀追い	制作年不詳	紙本着色	27.4× 24.4	額装
31	高橋 萬年	1897-1956	スケッチ 野山柴	1946 (昭和21)	紙本着色	各 29.0× 22.0	額装
32	高橋 萬年	1897-1956	スケッチ 桜	制作年不詳	紙本着色	36.6× 27.0	額装
33	高橋 萬年	1897-1956	スケッチ 蟹と魚	制作年不詳	紙本着色	59.8× 76.4	額装
34	高橋 萬年	1897-1956	スケッチ 鯉	制作年不詳	紙本着色	54.4× 76.8	額装
35	高橋 萬年	1897-1956	スケッチ 薔薇	制作年不詳	紙本着色	54.6× 76.6	額装
36	高橋 萬年	1897-1956	花	1954 (昭和29)	紙本着色	55.0× 76.0	額装

### 第3展示室：版画コレクション

No	作家名	生没年	作品名	制作年	材質	寸法 (cm)	形式・員数
37	ヤン・ヨンストン	1603-1675	動物図譜	1660	銅版、紙／革	各38.0×23.5	皮革装釘 書籍2冊
38	藤田 嗣治	1886-1968	自画像	1926	銅版、紙	44.5× 34.0	額装
39	梅津 祐司	1952-	未果てぬ夢VI	1978 (昭和53)	リトグラフ、紙	58.3× 51.8	額装
40	勝平 得之	1904-1971	盆市	1946 (昭和21)	木版、紙	39.8× 79.8	額装
41	三村 治男	1947-	釣船		木版、紙	54.0× 38.0	額装
42	勝呂 忠	1926-2010	海にて	制作年不詳	木版、紙	29.7× 40.0	額装
43	由木 礼	1928-2003	ファラオの目	1992 (平成4)	木版、紙	23.3× 28.7	額装
44	伊藤彌四夫	1929-2002	浮上94	1994 (平成6)	木版、紙	90.0× 60.0	額装
45	伊藤彌四夫	1929-2002	原生98-A	1998 (平成10)	木版、紙	90.0× 60.0	額装
46	伊藤彌四夫	1929-2002	原生h13-A	2001 (平成13)	木版、紙	90.0× 60.0	額装
47	吉村 益信	1932-2011	群盲撫象	1972 (昭和47)	シルクスクリーン、紙	58.5×107.5	額装
48	吉仲 太造	1928-1985	像=男	1974 (昭和49)	シルクスクリーン、紙	50.6× 36.5	額装
49	吉仲 太造	1928-1985	像=女	1974 (昭和49)	シルクスクリーン、紙	50.6× 36.5	額装
50	針生 鎮郎	1931-1998	梟	1979 (昭和54)	シルクスクリーン、紙	64.7× 50.5	額装
51	針生 鎮郎	1931-1998	われる	1982 (昭和57)	シルクスクリーン、紙	86.5× 61.1	額装
52	針生 鎮郎	1931-1998	ふたつ	1982 (昭和57)	シルクスクリーン、紙	61.6× 84.8	額装
53	馬場 彬	1932-2010	題不詳	1973 (昭和48)	シルクスクリーン、紙	35.8× 50.9	額装
54	馬場 彬	1932-2010	GRAY OF GRAY No.2 象徴の消滅	1981 (昭和56)	シルクスクリーン、紙	72.0× 72.0	額装
55	馬場 彬	1932-2010	GRAY OF GRAY No.6 浮遊	1981 (昭和56)	シルクスクリーン、紙	72.0× 98.0	額装
56	桑原 盛行	1942-	題不詳	制作年不詳	シルクスクリーン、紙	53.1× 53.0	額装

#### ◇関連記事

#### 印刷物

- ・ 読売新聞 7/13
- ・ さきがけスポーツ 8/25
- ・ 秋田魁新報 8/30

iii. 2016コレクション展

第Ⅲ期 異国へのまなざし ～画家たちの描いたもの～

会期：2016（平成28）年10月13日（木）～2017（平成29）年1月9日（月・祝）（86日間）

休館日：2016（平成28）年12月29日（木）～31日（土）

第1・第2展示室（6階）：「異国へのまなざし ～画家たちの描いたもの～」

第3展示室（6階）：「技と美を追い求めて」

担当：木村雅洋、小林紀子



第1展示室：異国へのまなざし（日本画）

No	作家名	作品名	制作年	材質	寸法 (cm)
1	制作者不詳	洋人調馬図（寄託品）	1800年代	絹本着色額装	53.5× 84.7
2	小田野直武	岩に牡丹図	1770年代	絹本着色額装	48.3× 72.7
3	制作者不詳	果菜図	江戸末-明治初期	絹本着色額装	33.8× 52.3
4	川端 玉章	四時群花図	1877(明治10)年頃	絹本金地着色額装	43.1× 68.3
5	平福 穂庵	アイヌ捕漁図	1884(明治17)年頃	紙本着色軸装	129.8× 60.1
6	長山 孔寅	梅下遊興図	1800年代初期	絹本墨画淡彩軸装	62.5×150.0
7	平福 百穂	清江	1931(昭和6)年	紙本墨画淡彩軸装	50.8× 61.7
8	平福 百穂	団栗集	1930(昭和5)年	リトグラフ(7葉中3葉) 各	25.7× 36.5
9	福田豊四郎	北京の屋根	1957(昭和32)年	紙本着色額装	50.0× 73.0
10	福田豊四郎	敦煌	1959(昭和34)年	紙本着色額装	162.1× 97.0
11	福田豊四郎	蒙疆	1939(昭和14)年	紙本着色2曲1隻	216.2×179.1
12	町田 曲江	哀愍	1936(昭和11)年	絹本着色額装二面	229.0× 71.0、 229.0×113.6
13	岩崎 鐸	結婚式	1951(昭和26)年	紙本着色額装	182.7×211.8
14	堀 文子	八丈島風景	1949(昭和24)年頃	紙本着色額装	70.7× 88.1
15	福田豊四郎	海外スケッチ等	—	紙・鉛筆・水彩等(7点)	35.0× 26.0他
16	柴田 安子	模写・カンピリ作品より	—	紙・鉛筆・墨(3点) 各	28.1× 24.2
17	横山 津恵	珊瑚礁V	1981(昭和56)年	紙本着色額装	145.5× 69.7
18	横山 津恵	フィレンツェの窓	1989(平成元)年	紙本着色額装	165.0×217.0

第2展示室：異国へのまなざし（洋画）

No	作家名	作品名	制作年	材質	寸法 (cm)
19	小西正太郎	風景（寄託品）	—	板・油彩・額装	15.2× 22.5
20	小西正太郎	コロー「真珠の女」模写	1923(大正12)年	キャンバス・木炭・額装	73.2× 54.2
21	小西正太郎	緑衣の女の肖像	1925(大正14)年	キャンバス・油彩・額装	91.0× 73.0
22	藤田 嗣治	オペラ座の夢	1951(昭和26)年	キャンバス・油彩・額装	23.0× 28.0
23	藤田 嗣治	猫を抱く少女	—	紙・リトグラフ・額装	32.0× 54.0
24	藤田 嗣治	南フランス風景	1936(昭和11)年	紙本墨画淡彩額装	131.5× 32.5
25	藤田 嗣治	北フランス風景	1936(昭和11)年	紙本墨画淡彩額装	133.0× 32.0
26	金沢秀之助	雪のポンヌッフ橋	—	キャンバス・油彩・額装	24.1× 33.2
27	金沢秀之助	南方風景 I	1942-44年頃	キャンバス・油彩・額装	38.0× 45.0
28	金沢秀之助	南方風景IV	1942-44年頃	キャンバス・油彩・額装	37.0× 45.0
29	田口 省吾	街の音楽	1931(昭和6)年	キャンバス・油彩・額装	112.1×145.5
30	田宮 進	丘 (Sicilia Italia)	1964(昭和39)年	キャンバス・油彩・額装	80.5×100.0
31	田宮 進	追想の断片	1989(平成元)年	キャンバス・油彩・額装	130.3×162.3
32	木島 恭一	旅路 トレドの道	1970(昭和45)年	キャンバス・油彩・額装	130.3×162.2
33	葛西 康	古都遠望(キエフ)	1974(昭和49)年	キャンバス・油彩・額装	112.1×145.5
34	相澤 謙一	小さな鐘楼	1986(昭和61)年	キャンバス・油彩・額装	116.7×116.7
35	伊勢 正義	異邦人	1974(昭和49)年	キャンバス・油彩・額装	185.0×251.0
36	佐藤 文雄	うつむく女神	1991(平成3)年	キャンバス・油彩・額装	194.0×162.0

37	三浦 明範	朝の祭壇	1989(平成元年)	キャンバス・テンペラ・油彩・額装	162.2×130.3
38	濱松小源太	作品	1930年代後半	キャンバス・油彩・額装	80.3×60.6
39	馬場 彬	高所と低所の掲示	1987(昭和62)年	キャンバス・油彩・額装	径118.0
40	馬場 彬	ドームについて	1993(平成5)年	キャンバス・油彩・額装	116.7×91.0

### 第3展示室：技と美を追い求めて（工芸）

No	作家名	作品名	制作年	材質	寸法 (cm)
41	関谷 四郎	銅鉄接合花瓶	1983(昭和58)年	接合・鍛金・鍍金・鉄・銅・金	高20.0×径20.0
42	関谷 四郎	接合横線壺	1968(昭和43)年	接合・鍛金・鍍金・鉄・銅・金	高20.0×径20.0
43	関谷 四郎	銀打出釜	1985(昭和60)年	鍛金・鍍金・銀・金	高18.5×径22.5
44	佐々木 英	蒔絵箱「月歌」	1979(昭和54)年	桐・夜光切貝・研出蒔絵	高13.0×10.0×20.0
45	佐々木 英	彩切貝ぶどう文線文雪吹	1984(昭和59)年	桜・彩切貝	高7.8×径7.3
46	関谷 四郎	壺	1984(昭和59)年	鍛金・鍍金・銀・金	高35.0×径21.0
47	関谷 四郎	金彩壺	1983(昭和58)年	鍛金・鍍金・銅・金	高25.0×径18.8
48	井上 良斉	山水壺（平福百穂絵付け）	1921(大正10)年	粘土・墨・素焼き・墨画	高33.3×径30.7
49	平福 百穂	松籟泉聲	—	絹本墨画淡彩・墨 顔彩	137.8×41.7
50	佐々木 英	蒔絵飾箱「海麗」	1974(昭和49)年	桐・玉虫貝・研出蒔絵	高13.0×10.0×20.0
51	佐々木 英	刈田図蒔絵中次	1982(昭和57)年	桜・彩切貝・研出蒔絵	高7.0×6.6
52	佐々木 英	筍蒔絵平棗	1982(昭和57)年	樺・螺鈿・研出蒔絵	高5.5×径7.8
53	河津 五郎	栗鼠	1972(昭和47)年頃	木彫・着色	高41.0×10.7×14.0
54	河津 五郎	鶉	1946(昭和21)年	木彫・着色	高12.5×21.5×12.5
55	河津 五郎	雛	1946(昭和21)年頃	木彫・着色	高7.0×15.5×10.0

### ◇関連記事

#### 印刷物

- ・読売新聞 10/12
- ・北鹿新聞 11/24
- ・秋田魁新報 12/4
- ・『rakra(ラ・クラ)』 11・12月号

## iv. 2016コレクション展

### 第IV期 Myコレクション —寄託作品のご紹介—

会期：2017（平成29）年1月20日（金）～4月9日（日）（80日間）

第1展示室(6階)：秋田蘭画・日本画コレクション

第2展示室(6階)：日本画コレクション

第3展示室(6階)：洋画コレクション

担当：藤井正輝・小林紀子



### 第1展示室：秋田蘭画・日本画コレクション

No	作家名	作品名	制作年	材質	寸法 (cm)
1	平福 百穂	柏に鶉	制作年不詳	絹本着色屏風	148.0×133.2
2	寺崎 廣業	松竹	制作年不詳	紙本墨画六曲一双	各168.6×370.8
3	佐竹 義躬	岩に牡丹図	制作年不詳	絹本着色軸装	92.7×31.1
4 (前期)	佐竹 曙山	松に唐鳥図	制作年不詳	絹本着色軸装	173.0×58.0
4 (後期)	小田野直武	鱒図	1770年代	紙本着色軸装	17.0×61.0
5	平福 穂庵	蘭亭曲水図	1885(明18)	紙本着色襖絵14面	167.5×104.5 他

6	平福 百穂	皐月空	1887(明20)頃	絹本着色軸装	140.0× 42.0
7	平福 穂庵	藤花図	制作年不詳	紙本着色軸装	135.5× 49.8
8	平福 穂庵	端鶴遊雛	1887(明20)	絹本墨画淡彩軸装	112.6× 42.1
9	平福 穂庵	鮭之図	1888(明21)	絹本墨画淡彩軸装	112.8× 41.6
10	平福 百穂	武尊誅梟帥図	1894(明27)	紙本墨画淡彩軸装	113.4×216.3

## 第2展示室：日本画コレクション

No	作家名	作品名	制作年	材質	寸法 (cm)
11	福田豊四郎	蒼林	制作年不詳	絹本着色軸装	44.0× 50.5
12	福田豊四郎	齒朶	1955(昭30)	紙本着色額装	87.0× 67.0
13	福田豊四郎	松	制作年不詳	絹本着色軸装	130.0× 41.5
14	福田豊四郎	十和田風景	1935(昭10)	絹本着色六曲一双	136.4×297.0
15	福田豊四郎	月夜	1954(昭29)	紙本着色四曲一隻	166.7×257.5
16	福田豊四郎	滝	1955(昭30)	紙本着色四曲一隻	168.0×256.0
17	福田豊四郎	梅雨若葉	制作年不詳	紙本着色軸装	131.0× 42.0
18	福田豊四郎	田園七曜集 (土拓く)	1934(昭 9)	紙本着色額装	60.6× 70.5
19	福田豊四郎	囲炉裏	1935(昭10)頃	紙本着色軸装	137.0× 33.0
20	福田豊四郎	冬の夜の家族たち	1962(昭37)	紙本着色額装	90.8× 65.2
21	柴田 安子	花鳥図	制作年不詳	絹本着色軸装	46.8× 51.0
22	桜庭藤二郎	題不詳 (仮題：風景)	制作年不詳	絹本着色額装	42.2× 51.3
23	高橋 萬年	題不詳 (仮題：花)	制作年不詳	絹本淡彩額装	61.8× 67.7
24	渡部 榮子	初春売り	1978(昭53)	紙本着色額装	147.0× 70.0
25	渡部 榮子	ひととき	1981(昭56)	紙本着色額装	194.8×165.0
26	館岡 栗山	なまはげ	1964年以前	紙本着色額装	151.0×207.0

## 第3展示室：洋画コレクション

No	作家名	作品名	制作年	材質	寸法 (cm)
27	小西正太郎	裸婦 (デッサン)	1922(大11)	コンテ・紙	48.1× 31.3
28	小西正太郎	婦人 (ピンクの下着)	1925(大14)	油彩・キャンバスボード	53.0× 38.0
29	小西正太郎	婦人 (ピンクの上着)	1924(大13)	油彩・キャンバス	80.4× 65.3
30	小西正太郎	エジプト模様をバックにした静物	1925(大14)	油彩・カルトン	73.0× 68.0
31	伊勢 正義	婦人像	1942(昭17)	油彩・キャンバス	111.5× 91.0
32	金沢秀之助	肉屋の店	1952(昭27)	油彩・キャンバス	162.0×130.3
33	加藤 貞子	石の雨が降る	1988(昭63)	油彩・キャンバス	162.0×162.0
34	佐々木良三	限定海域のものたち	1983(昭58)	油彩・キャンバス	162.0×162.0
35	佐々木良三	接地 I	2007(平19)	ミクストメディア・樹脂パネル	192.0×162.0
36	小川 恒雄	雲から水	1993(平 5)	キャンバス・油彩	161.8×130.5
37	馬場 彬	アンチ・モニュマン	1981(昭56)	油彩・キャンバス	130.3×162.0
38	山脇佐久子	相對異化・2	1992(平 4)	キャンバス・ミクストメディア	162.0×194.0
39	山脇佐久子	無始来.a	1994(平 6)	キャンバス・油彩	194.0×162.0

### ◇関連記事

印刷物

・秋田魁新報 1/31、3/29

## 教育普及事業

誰もが気軽に利用でき、美術への理解を深めることができる親しみやすい美術館を目指して、講演会や美術館教室、美術館講座等を開催している。また、美術館事業の広報活動を行うとともに、ハイビジョンギャラリーでの郷土作家を扱った美術番組等の上映、県内の美術情報や美術館に関する図書資料の提供等、美術情報センターとしての役割を果たす多面的な活動も行っている。さらに「あきたセカンドスクール推進事業」における、美術館を第二の学校とした授業の一環として、学校の学習活動を行っている。なお、県内の遠方地域に対しては、来館が困難な地域の学校を会場とした「出前美術館」、県立図書館を会場とした「ネットワーク事業」を実践している。このほか、親子で楽しく過ごせるキッズルームの開設や、団体鑑賞者に対する作品解説、美術館ボランティアによる美術館案内も実施している。

## ●キンビ・創作体験プログラム

### 美術館教室

No.	内容	期日	対象・定員	講師	日数	参加者	担当
I	水彩画教室「水彩で描く」	6月4日(土) 6月5日(日)	中学生以上 一般15名	鈴木 司(秋田公立美術 大学美術センター教授)	全2日	17名	藤井 小林
II	型染め教室 「ハンカチを染めよう」	9月3日(土) 9月4日(日)	中学生以上 一般10名	森 香織(秋田公立美術 大学助教)	全2日	10名	小林 西野
III	日本画教室「猫を描こう」	11月5日(土) 11月6日(日)	中学生以上 一般15名	小笠原 光(日本画家)	全2日	16名	奈良 藤井

### みんなの教室

No.	内容	期日	対象・定員	講師	日数	参加者	担当
I	「私って誰だろう？」写真コラージュポ ートレイトー本当の私、新しい私の発見ー	5月8日(日)	小学校3年生 以上一般 20名	浅野壽里(美術家・ART& ENGLISH”森のおと”主宰)	120分	7名	木村 西野
II	「コマ撮りアニメーション」	8月20日(土)	小学生以上 一般15名	松村 泰三(東北芸術工科 大学准教授)	150分 ×2	計18名	西野 木村
III	「なが〜い絵巻物を描こう」	12月11日(日)	小学生以上 一般15名	木村雅洋(当館学芸主事)	150分	11名	木村 西野

### きっずあーと

No.	内容	期日	対象・定員	講師	日数	参加者	担当
I	「びしゃびしゃアート」	7月17日(日)	未就学児(4~6歳) 各回30名	西野美佳(当館主任学芸主事)	120分 ×2	計91名	西野 木村
II	「どろどろアート」	10月16日(日)	未就学児(4~6歳) 各回30名	藤井正輝(当館学芸主事)	90分 ×2	計48名	藤井 西野

### 展覧会にちなんだワークショップ

No.	内容	期日	対象・定員	講師	日数	参加者	担当
I	江戸の遊び絵づくし展ワークショップ 「等身大！影絵で遊ぶ！」	5月15日(日) 6月11日(土)	幼児〜一般 各回50名	鈴木 京(当館学芸主事)	120分 ×2	56名 82名 計138名	鈴木 木村
II	ホキ美術館展ワークショップ 「美術館を描こう！〜写実に挑戦！〜」	8月6日(土) 8月7日(日)	中学生以上 一般20名	安彦 文平(宮城教育大学 准教授)	全2日	16名	西野 保泉

## ●美術館教室

### I. 水彩画教室「水彩で描く」

秋田公立美術大学教授鈴木司氏を講師にお迎えし、美術館教室を開催した。不透明水彩絵の具を使い、初日は「季節の樹木」というテーマで、はじめに筆で樹木の幹や枝を描き、そこに重ねるようにしてスポンジで葉を描く技を教えていただいた。2日目は「ビンや花瓶」というテーマのもと、型紙を使った回転対称形の描き方を解説していただいた。参加者は教えていただいた技法を駆使し、リアルな「樹木」や「ビン・花瓶」を描き上げた。



### II. 型染め教室「ハンカチを染めよう」

昨年度に引き続き、秋田公立美術大学助教森香織氏を講師に迎え、日本の伝統的染色技法である「型染め」の教室を開催した。参加者は、森氏の実演による説明や魅力的な作品の数々、丁寧なアドバイスを参考にしながら、下絵作りから仕上げの工程までを体験した。また、伝統の特殊な用具を使って制作する醍醐味を味わいながら、思い思いのハンカチを完成させていた。



### III. 日本画教室「猫を描こう」

日本画家・小笠原光先生をお招きして、猫をモチーフに制作を行った。参加者には、事前に下絵を準備してもらったので、例年よりも短い時間で完成することができた。当初は予定になかった、箔を使用する表現に取り組む方もいた。全くの初心者の方からは、画材の基本的な知識や工程をもう少し詳しく教えて欲しいという意見もあったので、次年度に生かしていきたい。



## ●みんなの教室

### I. 「私って誰だろう？」写真コラージュポートレート —本当の私、新しい私の発見—

美術家でART&ENGLISH”森のおと”を主宰されている浅野壽里氏を講師にお迎えし、自分の写真にコラージュして自画像を制作する教室を開催した。OHPフィルムに印刷したモノクロ写真の下に様々な色紙を切って貼り付け、幻想的な作品を完成させた。制作の前に瞑想を行うことで、心の中に秘めた複雑な形や色が画面に現れたので、参加者にとっては、自分の内面にある意外な感情や想いに目を向けるよい機会になったと思われる。



[関連記事](#)：秋田魁新報 5/11

## II. 「コマ撮りアニメーション」

美術には様々な表現方法があることを体験的に学ぶことをねらいとした教室である。本教室では、メディアアートに焦点を当てた活動内容とし、写真を使って参加者が出演する実写版のアニメーション作品を制作した。

参加者はそれぞれアイデアを出し合いながら、小道具や動きを工夫して撮影に臨み、映像メディアアートの楽しさを実感していた。活動を通して参加者同士のコミュニケーションも深まり、人と人をつなげる場ともなった。



## III. 「なが〜い絵巻物を描こう」

日本画の表現様式の一つ、「絵巻物」の制作を体験してみようという教室である。巻物を開いてゆくことで絵の世界が広がる点に焦点を当て、「好きなものをなが〜く描く」、「好きなものたくさん描く」、「好きなものを主人公にしたお話を描く」のいずれかの方法を参加者各自が選び、制作を進めていった。小学校低学年の児童もできるように、水性ペンやクレヨンから始まり、墨やパステル、カラーインクなども用意して、様々な画材を試しながら描いていった。事前に紙ロール等で制作しておいた表具を準備しておき、完成した後に巻物に仕上げ、世界に一つだけのオリジナルの絵巻物ができあがった。



## ●きっずあーと

### I. 「びしゃびしゃアート」

屋外（美術館前の彫刻広場）で水鉄砲をつかい、色水を飛ばしたりかけ合ったりして遊ぶ活動である。光や色の変化、水の感触を味わいながら全身の感覚を使って楽しむことをねらいとしている。

初めて出会う子どもたちであったが、活動が進むにつれ、互いのコミュニケーションが広がり、よりダイナミックな活動へと展開していった。また、参加者全員が白いTシャツを着用することにより、体験の楽しさを形として残すことができるように配慮した。



### II. 「どろどろアート」

昨年度初めて実施し大好評だった当教室を、今年度も開催した。絵の具を混ぜた色とりどりの液体粘土を、指先や手のひら、足のうらなどに付け、全身を使って大きな紙に描くという内容である。紙の強度が不十分だったという昨年度の反省から、今回は耐水性の障子紙を使用した。その結果、約1時間の活動中1度も破れることなく安全に描くことができた。参加者は粘土の感触や、次々に現れてくる色の面白さを、全身の感覚を使って楽しんだ。



**関連記事**：秋田魁新報 10/18

## ● 展覧会にちなんだワークショップ

### I. 江戸の遊び絵づくし展ワークショップ

「等身大！影絵で遊ぶ！」

江戸の遊び絵づくし展では歌川広重作《新板かげぼしづくし》シリーズを展示した。絵の中に描かれているのは、江戸時代も人気のあった影絵遊びのシルエットとその種明かしのポーズ。このシリーズにちなみ、ワークショップでは江戸の影絵再現を試みるため、4メートル弱の大きなスクリーンを用意し、参加者の後ろからライトを照らし、スクリーンに等身大の影を映した。会場には広重の作品に倣って色々な小道具を用意し、松や鳥などを作る江戸の影絵を参加者に体験してもらった。展覧会と併せて全身で江戸文化に親しむ機会となった。



### II. ホキ美術館展ワークショップ

「美術館を描こう！～写実に挑戦！～」

初めての方でも本格的な写実表現を楽しむことをねらいとしたワークショップである。あらかじめカメラで撮影した美術館の写真を画用紙の中央に配置し、その外側にある余白に風景のつづきを鉛筆で写実的に描く制作体験である。

鉛筆による線の描き方やグラデーションの付け方などを事前に学ぶことにより、どの参加者も精緻で遠近感のある風景を表現することができていた。



## ●ミュージアムコンサート

### I 「遊 ～江戸を奏でる～」

日 時 2016年5月22日（日）  
午後1時30分～午後2時30分

場 所 秋田県立近代美術館 5階中央ホール

出 演 田中 郷子〈琴〉  
岡田恵美子〈フルート〉

演奏曲目 作曲者不詳（※江戸時代の童謡）「子守歌」  
ダニエル・フリードリッヒ・ルドルフ・クーラウ作曲  
「モーツァルトのドンジョバンニのアリア」より変奏曲  
ジョルジュ・ビゼー作曲「カルメン」より「ハバネラ」  
中能島松声作曲「七福神」  
作曲者不詳（※江戸時代の流行歌）「忘れ唱歌」  
池上眞吾作曲「胡桃の森で」

観覧者数 116人



### II 「浅野未希&斎藤洋 ヴァイオリン・ピアノデュオ コンサート ～アフタヌーン名曲カフェ～」

日 時 2016年8月28日（日）  
1回目…午後1時30分～午後2時10分  
2回目…午後3時00分～午後3時40分

場 所 秋田県立近代美術館 5階中央ホール

出 演 浅野未希〈ヴァイオリン〉  
斎藤 洋〈ピアノ〉

演奏曲目 アイルランド民謡「ロンドンデリーの歌」  
モンティ作曲「チャールダーシュ」  
ドボルザーク作曲「わが母の教え給いし歌」  
ショパン作曲「ポロネーズ 変イ長調Op.53『英雄』」  
シューベルト作曲「アヴェ マリア」  
ハチャトゥリアン作曲「剣の舞」

観覧者数 266人



### III 「トレコンアモーレ Autumn コンサート」

日 時 2016年11月3日（木・祝）  
1回目…午前11時～午前11時40分  
2回目…午後1時30分～午後2時10分

場 所 秋田県立近代美術館 5階中央ホール

出 演 小野崎彰子〈ソプラノ〉  
荻田ヒサ子〈マンドリン〉  
木下 裕美〈ピアノ〉

演奏曲目 犬童球溪作詞/J. P. Ordway作曲「旅愁」  
里見義作詞/H. R. Bishop作曲「埴生の宿」  
サトウハチロー作詞/末広恭進作曲「秋の子」  
H. Heine作詞/F. Mendelssohn作曲「歌の翼に」  
A. J. Lemer作詞/F. Loewe作曲「踊り明かそう」  
高野辰之作詞/岡野貞一作曲「もみじ」  
中村雨紅作詞/草川信作曲「夕焼け小焼け」  
藤掛廣幸作曲「じょんがら抄」  
金子みすゞ作詞/鈴木憲夫作曲「私と小鳥と鈴と」  
Miyabi作詞/村松崇継作曲「いのちの歌」

観覧者数 178人



#### IV 「茂木風歌&優希 ピアノデュオリサイタル」

日 時 2017年2月5日（日）

1回目…午後1時30分～午後2時30分

場 所 秋田県立近代美術館 5階中央ホール

出 演 茂木 風歌〈ピアノ〉

茂木 優希〈ピアノ〉

演奏曲目 《ピアノソロ》

ベートーヴェン作曲「ソナタ曲集第2巻より告別op81a」

ベートーヴェン作曲「ソナタ曲集第2巻よりテレーゼop78」

ショパン作曲「ワルツ第7番op64-2」

ショパン作曲「ワルツ第14番 遺作」

バッハ作曲「平均律クラヴィア曲集第1巻より第2番BWV847」

バッハ作曲「平均律クラヴィア曲集第1巻より第21番BWV866」

《ピアノ連弾》

ブラームス作曲「ハンガリー舞曲 第1番 第5番 第6番」

ピアソラ作曲「リベルタンゴ」

ドビュッシー作曲「小組曲」より 小舟にて バレエ

観覧者数 153人



### ●美術館講座・美術講演

美術の鑑賞と理解を深めるために、仲町啓子館長が美術館講座として「浮世絵に遊ぶ」を8回実施した。  
詳細は次のとおりである。

#### ◇美術館講座「館長講座」－浮世絵に遊ぶ－

講師：仲町啓子館長（秋田県立近代美術館館長、実践女子大学文学部教授）

全8回、延べ受講者数350名（6F研修室）

- ① 5月 7日（土） 菱川師宣－浮世絵の誕生－
- ② 6月 4日（土） 奥村政信－見立て絵の遊び－
- ③ 7月23日（土） 鈴木春信－吾妻錦絵の魅力－
- ④ 9月10日（土） 勝川春章・鳥居清長－市井文化高揚の時－
- ⑤ 10月22日（土） 喜多川歌麿－青楼の画家？－
- ⑥ 11月12日（土） 東洲斎写楽－真をあばく－「摺物」の世界
- ⑦ 12月17日（土） 葛飾北斎－百まで描こうとした絵師－
- ⑧ 2月11日（土） 歌川広重・歌川国芳と幕末明治の浮世絵

#### ◇県生涯学習センター（あきたスマートカレッジ連携講座）

明快！Artゼミ

全3回、延べ受講者数 98名

- ① 5月26日（木） 「おもしろ浮世絵『遊び絵』の世界－江戸のユーモア再発見－」  
講師：鈴木 京（秋田県立近代美術館学芸主事）
- ② 7月15日（金） 「写実絵画を見る－ホキ美術館所蔵作品を中心に－」  
講師：保泉 充（秋田県立近代美術館主任学芸主事）
- ③ 10月14日（金） 「幻の画家・橘小夢とその時代」  
講師：奈良 香（秋田県立近代美術館学芸主事）

◇先生のための美術館講座「手づくりメディアアート」

開催日：2016年8月21日(日)

午前10:00～午後2:30

会場：秋田県立近代美術館 6階研修室、5、6階展示室

受講者：14名

講師：松村 泰三 氏

(東北芸術工科大学総合美術コース准教授)

県内の小・中・高等学校、特別支援学校の先生方や美術を学ぶ学生を対象とした講座である。

今年度、午前中は「手づくりメディアアート」と題し、東北芸術工科大学の松村泰三氏をお招きし、講義・演習を行った。主にアニメーションに関わる内容についてその原理や制作する際のポイントについて分かりやすい説明をしていただいた。さらに、簡単なアニメーションの制作を行い、より授業づくりにつながる講座となった。

午後からは展覧会を鑑賞しながら、セカンドスクールにおける鑑賞活動について情報交換を行った。「秋田蘭画」やキンビアートカードの活用について、前向きな意見が聞かれ、有意義な時間となった。

**関連記事**：教育あきた表紙 12月号 (No. 735)



平成29年度秋田県立近代美術館

先生のための美術館講座

# 手づくり メディアアート

メディア教育ってムズカシイ？  
先生方のそんな疑問にお答えする講座です。  
紙やペンなど、身近な道具を使って行うメディア教育をいっしょに学んでみませんか？  
開催中の展覧会鑑賞も行います。

日時 **8月21日(日) 10:00～14:30**

会場 秋田県立近代美術館 6階研修室、5階展示室、ほか

講師 松村 泰三 氏(東北芸術工科大学総合美術コース准教授)

対象・定員 小・中・高等学校及び特別支援学校の教職員  
県内美術館の学芸員、美術を学ぶ学生 等 20名

9:40～	【受付】
10:00～12:00	【講話・演習】 題名：「手づくりメディアアート」 講師：松村 泰三 氏(東北芸術工科大学総合美術コース准教授)
13:00～14:00	【展覧会鑑賞】 *『展覧会の場どころ』を鑑賞しながらの鑑賞です。 特別展 『水戸美術展覧会』を鑑賞しながらの鑑賞です。 コレクション展 『没後の年 葛原義典』
14:00～14:30	【座談会】 テーマ『美術館の教育的な利用について』 *終了後、名札の掲示で特別展をご覧いただけます。

▼お申込み方法  
電話、FAX、ハガキで  
①氏名(匿名・所属) ②電話番号  
をお知らせください。  
※申込み期間 7月21日(水)～8月12日(土)  
※参加費は一律無料にさせていただきます。

秋田県立近代美術館(秋田ふるさと村内)  
〒013-0094 秋田県横手市赤松字宮ヶ原02-16  
TEL0182-33-8855 FAX0182-33-8858

## ●出前美術館・出前美術展

### 出前美術館 ～Artが学校にやってきた～ in 大潟小・中学校

主 催：秋田県立近代美術館  
 共 催：大潟村教育委員会  
 会 場：大潟村立大潟中学校  
 会 期：2016(平成28)年10月29日(土)～11月 3日(木・祝)  
 担 当：三浦直、西野美佳、藤井正輝  
 作品数：45点(日本画7、洋画12、版画4、写真4、工芸5、  
 書道2、彫刻6、スケッチ4、レプリカ「不忍池図」1)  
 参加者(児童・生徒・教員・一般)：780人  
 (小学校:189、中学校:72、幼稚園:87、一般432)

どこの地域でも芸術作品の鑑賞ができるようにと、来館の難しい地域に美術館が外向いて実施している展覧会である。12年目、19校目の開催となった今年度は、大潟村教育委員会の御協力の下、大潟村立大潟小・中学校を会場に6日間開催した。

今年度の特徴的な取組として、「鑑賞授業の実施」「『不忍池図』レプリカ&リーフレットの活用」「子ども学芸員」の三つがあげられる。鑑賞授業では、美術作品鑑賞の楽しさを味わうとともに、より広く、深く味わってもらいたいことをねらいとして、小学校4～6年生と中学校1、2年生を対象とした鑑賞の授業を実施した。この鑑賞活動を通して子どもたちは、友達の様々な感じ方、考え方に触れ、色々な視点で見ることのよさを学ぶことができた。また、「子ども学芸員」では地域の方々に自分が担当する作品について解説を行った。自分の言葉で語るなど、作品を自分のものとしてして紹介する姿に地域の方々も感心していた。この活動を通して、作品の見方を深めると同時に、表現力や人と関わる力を高めることができた。『「不忍池図」レプリカ&リーフレットの活用』では、秋田蘭画についての関心を高めることができた。

多くの方々に秋田の美術文化のよさや美しさを伝えることができ、芸術の秋に相応しい充実した展覧会となった。



会場：大潟村立大潟中学校

#### 「みる」 (絵画・書・版画・写真・工芸) さわらないでね!

No	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横cm)
1	高橋 萬年	初秋	制作年不詳	絹本着色軸装	126.0× 34.0
2	福田豊四郎	濤	制作年不詳	絹本着色軸装	131.7× 42.4
3	紺野 五郎	留守家族一発車時刻	1916(大正5)	油彩/キャンバス	193.9×130.3
4	佐々木良三	痕跡A	1980(昭和55)	油彩/キャンバス	193.0×130.0
5	加藤 貞子	人形衆VI	1955(昭和30)	油彩/キャンバス	182.0×227.0
6	伊藤 康夫	ARCADIA(鳩を追う)	1992(平成4)	油彩/キャンバス	193.0×162.0
7	三浦 明範	斜線の風景	1984(昭和59)	油彩・テンペラ/キャンバス	162.2×193.3
8	松井 如流	虹	1971(昭和46)	墨/紙	70.0× 70.0
9	松井 如流	究	1974(昭和49)	墨/紙	97.0× 91.0
10	奈良 裕功	炭焼小屋	1928(昭和3)	紙本墨画着色	36.0× 57.0
11	奈良 裕功	トラフズク(虎斑木菟)	1932(昭和7)	紙本墨画着色	33.7× 24.6
12	奈良 裕功	クビキリギス(首蝨斯)	1928(昭和3)	紙本墨画着色	28.2× 40.1
13	奈良 裕功	シオカラトンボ(塩辛蜻蛉)	1920(大正9)	紙本墨画着色	24.2× 32.7
14	伊藤 弥太	作品	1965(昭和40)	油彩/キャンバス	100.0× 80.3

15	伊藤 弥太	汐瀬崎 (男鹿の春)	1967(昭和42)	油彩/キャンバス	97.0×162.1
16	斎藤 寅彦	時の跡 [イソヒヨドリ]	2012(平成24)	油彩・アキーラ/キャンバス	116.7× 91.0
17	斎藤 寅彦	時の跡 [繋ぐ]	2007(平成19)	油彩・テンペラ/キャンバス	162.0×130.3
18	斎藤 寅彦	蛸壺	2010(平成22)	油彩・アキーラ/キャンバス	91.0× 54.5
19	伊藤 博次	うみとすなと	1964(昭和39)	油彩/キャンバス	97.0×130.3
20	伊藤 博次	黄昏のメモリ	1998(平成10)	油彩/キャンバス	80.5×116.5
21	関谷 四郎	黒銅金彩花瓶	1980(昭和55)	鍛金・鍍金・黒銅・金	径20.5×高20.5
22	関谷 四郎	赤銅銀銅接合皿	1983(昭和58)	接合・鍛金・赤銅・銀・銅・鍍金	7.0×30.0×30.0
23	佐々木 英	蒔絵彩切貝水指「秋の日」	1978(昭和53)	キハダ・銅・鮑貝・蒔絵粉・色漆	径15.5×高20.0
24	横山 津恵	花籠	1990(平成2)	紙本着色	88.5×102.5
25	横山 津恵	風の声	1988(昭和63)	紙本着色	91.0× 60.6
26	館岡 栗山	八郎潟一日市	制作年不詳	紙本着色	65.5× 78.5
27	福田豊四郎	軍鶏	1954(昭和29)	紙本着色	89.5× 63.7
28	福田豊四郎	氷原	1958(昭和33)	紙本着色	65.0× 90.0
29	三村 治男	秋田港から寒風山を望む	1997(平成9)	木版/紙	20.0× 45.0 (47.5×63)
30	三村 治男	紅葉	1993(平成5)	木版/紙	37.0× 56.0 (57×75)
31	勝平 得之	収穫	1933(昭和8)	木版/紙	37.6× 52.2 (59×78)
32	勝平 得之	八郎潟冬の漁場	1960(昭和35)	木版/紙	26.2× 65.0 (52×91)
33	千葉 禎介	春耕	1950(昭和25)頃	ゼラチンシルバープリント	20.9× 29.0
34	千葉 禎介	雀追い	1943(昭和18)頃	ゼラチンシルバープリント	22.4× 28.8
35	千葉 禎介	もちつき	制作年不詳	ゼラチンシルバープリント	27.7× 18.3、 28.0× 18.8
36	千葉 禎介	雪の秋田	1941(昭和16)頃	ゼラチンシルバープリント	25.5× 30.6
37	小田野直武	不忍池図 (レプリカ)			98.5×132.5

「さわる」 (彫刻) やさしくさわってね!

No	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (縦×横cm)
38	朝倉 文夫	よく獲たり	1946(昭和21)	ブロンズ	51.6×64.0×29.0
39	舟越 保武	ANN	1983(昭和58)	ブロンズ	32.0×19.0×25.0
40	高田 博厚	女のトルソ	1973(昭和48)	ブロンズ	30.0×22.5×20.0
41	高田 博厚	男のトルソ	1973(昭和48)	ブロンズ	30.0×21.0×19.5
42	佐藤 忠良	常磐の大工	1956(昭和31)	ブロンズ	22.5×16.0×24.0
43	朝倉 響子	チナ	1925(大正14)	ブロンズ	51.0×18.0×18.0

「あそぶ」 (木のオブジェ) なかよくあそんでね! あとかたづけもね!

No	作家名	作品名			
44	杉山 明博	何ができるかな? 円形を用いた自在具			
45	—	木の砂場			

◇関連記事

印刷物

・教育あきた 12月号 (No.735)

## 出前美術展 ～ARTがエナジウムパークにやってきた～ 「画家たちの写生帳」

会 期：2017(平成29)年2月15日(水)～2月26日(日)

主 催：東北電力(株) 能代エナジウムパーク  
秋田県立近代美術館

会 場：能代エナジウムパーク カルチャーホール

担 当：三浦直、木村雅洋、藤井正輝

作品数：53点(福田豊四郎、高橋萬年、奈良裕功)

入場者(一般)：871名

素描作品52点、日本画作品1点を展示した。冬期開催のため例年に比べ入場者数はいまひとつだったが、会期に合わせて2月19日(日)に能代市立図書館で出前講座を開催し、地域の方々に近代美術館の所蔵している作品について知っていただく機会を設けることができた。



No	作家名	作品名	制作年	形状	寸法 (cm)
1	高橋 萬年	桜	—	紙・鉛筆、水彩	37.8×28.0
2	高橋 萬年	菊	—	紙・鉛筆、水彩	55.0×38.0
3	高橋 萬年	薔薇	—	紙・鉛筆・色鉛筆	55.0×38.0
4	高橋 萬年	杜若(カキツバタ)	—	紙・鉛筆・色鉛筆、水彩	55.0×38.0
5	高橋 萬年	花	1954(昭和29)	紙・鉛筆・色鉛筆、水彩	55.0×76.0
6	高橋 萬年	亀	—	紙・鉛筆・墨	38.0×55.0
7	高橋 萬年	鮎	—	鉛筆・色鉛筆・水彩、紙	55.0×38.0
8	高橋 萬年	鷺	—	紙・鉛筆、水彩	各15.0×42.0
9	高橋 萬年	獅子	1941(昭和16)	紙・鉛筆、水彩	28.5×36.8
10	高橋 萬年	ハタハタ	—	紙・鉛筆、水彩	38.5×54.5
11	高橋 萬年	鯉	—	紙・鉛筆、墨	38.5×54.6
12	高橋 萬年	雀小屋	1926(大正15)	紙・鉛筆、水彩	25.5×22.5
13	高橋 萬年	苹果(小下図)	1949(昭和24)	紙・鉛筆、水彩	44.0×58.5
14	高橋 萬年	農作業風景	—	紙・鉛筆、水彩	29.8×39.5
15	高橋 萬年	農作業風景	—	紙・鉛筆、水彩	29.8×39.5
16	高橋 萬年	初すり	—	紙・鉛筆、水彩	23.0×27.5
17	高橋 萬年	農婦	—	紙・鉛筆、水彩	23.0×27.5

No	作家名	作品名	制作年	形状	寸法 (cm)
18	福田豊四郎	しゃが	1920(大正9)	紙・墨、顔彩	55.6×19.8
19	福田豊四郎	豆の花	—	紙・墨、水彩	40.1×28.1
20	福田豊四郎	梅の實(スケッチ)	1920(大正9)	紙・墨、水彩	20.0×27.4
21	福田豊四郎	鴛(おしどり)	—	紙・鉛筆・墨、水彩	34.1×38.8
22	福田豊四郎	テッセン	1965(昭和40)	紙・鉛筆、水彩	39.4×54.6
23	福田豊四郎	柘榴(ザクロ)	1962(昭和37)	紙・鉛筆、水彩	31.8×47.0
24	福田豊四郎	二ツ井町・きみまち坂あたり	—	紙・鉛筆、水彩	各37.1×27.7
25	福田豊四郎	同和鉱業小坂精錬所	—	紙・鉛筆、水彩	35.4×25.2、 35.6×25.2
26	福田豊四郎	尾樽部にて	1926(昭和元)	紙・鉛筆	27.4×39.8
27	福田豊四郎	人物素描	1921(大正10)	紙・鉛筆	14.6×22.3
28	福田豊四郎	農婦(秋田県由利風俗)	—	紙・鉛筆、水彩	36.9×27.9
29	福田豊四郎	亀永さん	1923(大正12)	紙・コンテ	35.7×27.2
30	福田豊四郎	男の顔	1922(大正11)	紙・コンテ	27.7×22.0

31	福田豊四郎	四男美土スケッチ	1948(昭和23)	紙・鉛筆	59.6×42.5
32	福田豊四郎	リス	1924(大正13)	紙・鉛筆	28.1×20.0
33	福田豊四郎	子雀	—	紙・鉛筆、水彩	18.6×28.4
34	福田豊四郎	及川	—	紙・鉛筆・墨、水彩	28.0×37.7
35	福田豊四郎	トノサマガエル	1970(昭和45)	紙・鉛筆	20.8×20.3
36	福田豊四郎	白桃とぶどう	—	紙本着色額装	49.0×60.3

No	作家名	作品名	制作年	形状	寸法 (cm)
37	奈良 裕功	毛馬内風景	1932(昭和7)	紙本墨画着色	25.7×64.9
38	奈良 裕功	炭焼小屋	1928(昭和3)	紙・鉛筆、顔彩	38.0×58.7
39	奈良 裕功	薔薇(バラ)	1910(明治43)頃	紙本墨画着色	43.2×32.3
40	奈良 裕功	石楠花(シヤクナゲ)	1920(大正9)	紙本墨画着色	32.8×24.5
41	奈良 裕功	山漆	1928(昭和3)	紙・鉛筆、顔彩	37.0×28.0
42	奈良 裕功	満作	1928(昭和3)	紙・鉛筆、顔彩	27.7×36.9
43	奈良 裕功	虫狩	1928(昭和3)	紙・鉛筆、顔彩	28.0×36.9
44	奈良 裕功	二十日大根	1936(昭和11)	紙本墨画着色	28.1×40.3
45	奈良 裕功	落葉	1931(昭和6)	紙・鉛筆、顔彩	28.5×49.8
46	奈良 裕功	根曲竹	1932(昭和7)	紙・鉛筆、顔彩	37.6×57.5
47	奈良 裕功	銀蜻蜒・蝸牛 (ギンヤンマ・カタツムリ)	1924(大正13)	紙本墨画着色	25.1×34.0
48	奈良 裕功	揚羽蝶	1926(大正15)	紙本墨画着色	25.1×34.0
49	奈良 裕功	紋黄蝶、花虻、裏波小灰蝶・菊	1916(大正5)	紙本墨画着色	25.5×35.5
50	奈良 裕功	柘榴・首蠡斯(クビキリギス)	1934(昭和9)	紙本墨画着色	28.2×40.1
51	奈良 裕功	尉鷓(ジョウビタキ)	1929(昭和4)	紙・鉛筆	20.9×33.2
52	奈良 裕功	懸巢(カケス)	1929(昭和4)	紙・鉛筆	20.9×33.0
53	奈良 裕功	犬の親子	1932(昭和7)	紙・鉛筆、顔彩	37.6×57.5

## ◇関連記事

印刷物

北羽新報(出前講座) 2/20

## ●ネットワーク推進事業 (共催：秋田県立近代美術館、秋田県立図書館)

### ネットワーク事業 第1期 食 ～自然からの恵み～

会場：秋田県立図書館 2階特別展示室

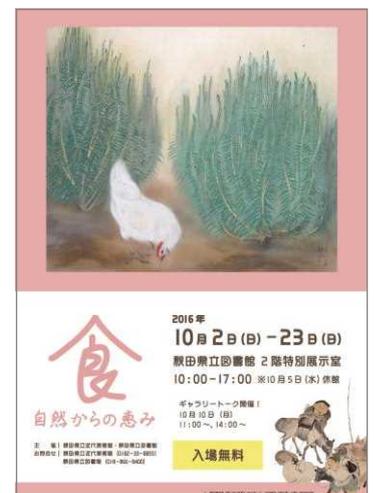
会期：2016(平成28)年10月2日(日)～10月23日(日)  
22日間(休館日10月5日)

展示作品：秋田ゆかりの作家らによる、食物としての豊かさをイメージさせる  
動植物を主題とした作品を展示。

ギャラリートーク：10月10日(月)①11:00～11:30 ②14:00～14:30(担当：鈴木)

担当：鈴木京・藤井正輝

入場者数：2,167名



No	作家名	作品名	制作年	寸法 (cm)	材質
1	増田 九木	花鳥	1823 (文政6)	116.0×42.5	絹本着色
2	平福 穂庵	藤花游鯉	1890 (明治23)	133.4×52.5	紙本墨画淡彩
3	荻津 勝章	柳枝貫魚	1897 (明治30)	129.0×61.5	紙本着色
4	小杉 放菴	黒真珠	制作年不詳	46.3×55.5	紙本着色
5	勝平 得之	秋田風俗十題・ドтта	1940 (昭和15)	29.0×40.4	木版、紙、泥絵具
6	勝平 得之	秋田風俗十題・リンゴ	1940 (昭和15)	29.0×40.0	木版、紙、泥絵具
7	勝平 得之	秋田風俗十題・はり	1941 (昭和16)	29.0×40.0	木版、紙、泥絵具
8	勝平 得之	秋田風俗十題・ささまき	1942 (昭和17)	29.0×40.4	木版、紙、泥絵具
9	奈良 裕功	根曲竹 (スケッチ)	1932 (昭和7)	37.6×57.5	紙、鉛筆、水彩
10	福田豊四郎	レンコン (スケッチ)	1927 (昭和2)	39.0×53.6	紙、鉛筆、水彩
11	柴田 安子	スケッチ 秋の田園Ⅰ	制作年不詳	21.3×29.5	紙、鉛筆、色鉛筆、水彩
12	柴田 安子	スケッチ 秋の田園Ⅲ	制作年不詳	29.4×21.2	紙、鉛筆、水彩
13	福田豊四郎	鶏とほうき草	1923 (大正12)	92.3×107.3	紙本着色
14	福田豊四郎	南瓜と少年	1935 (昭和10)	125.5×96.2	紙本着色
15	竹村 篁邨	恵比寿・大黒	制作年不詳	135.0×51.0	絹本着色
16	河津 五郎	茄子に飛蝗	制作年不詳	8.0×19.0×6.3	木
17	河津 五郎	茄子に天道虫	制作年不詳	2.4×8.8×2.9	木

○関連資料 (秋田県立図書館所蔵)

『福田豊四郎』

『酒運び (ほろよいボックス)』

『勝平得之作 民俗版画集 (絵葉書) 1 2 郷土料理』

『福田豊四郎素描集』

『菅江真澄 (民俗選書)』

『秋田』(雑誌) 他

#### ◇関連記事

印刷物

・秋田魁新報 10/18

## ネットワーク事業 第2期 油彩画の魅力 ～横手・湯沢の洋画家たち～

会場：秋田県立図書館 2階特別展示室

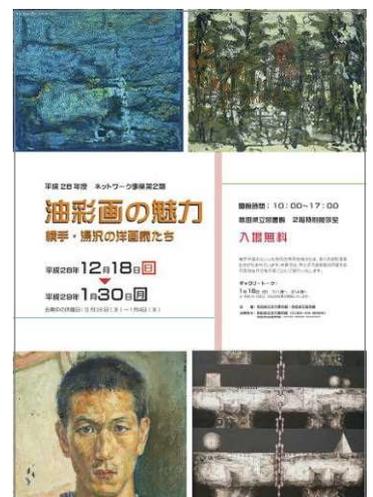
会期：2016(平成28)年12月18日(日)～2017(平成29)年1月30日(月)  
36日間 (休館日12月28日～1月4日)

展示作品：当館所蔵作品から、金沢秀之助や佐々木宗一郎など横手・湯沢出身の洋画家たち12名の作品と、図書館で所蔵する書籍などの資料を展示した。

ギャラリートーク：1月15日(日)①11:00～11:30 ②14:00～14:30 (担当：木村)

担当：木村雅洋・藤井正輝

入場者数：3,509名



作品（秋田県立近代美術館所蔵 ※一部寄託品あり）

No	作家名	作品名	制作年	形状	寸法 (cm)
1	伊藤 康夫	風の風景	1972(昭和47)	キャンバス・油彩・額装	162.1×130.3
2	小川 恒雄	雲のおり立つ場(対話) (寄託品)	1999(平成11)	キャンバス・油彩・額装	191.0×115.0
3	木村 榮治	漂民	1967(昭和42)	キャンバス・油彩・額装	130.5× 97.0
4	石田 黙	白い静物 (1971年)	1971(昭和46)	キャンバス・油彩・額装	162.1×130.6
5	由利 耶一	夜の花屋	1962(昭和37)	キャンバス・油彩・額装	116.6× 91.2
6	金沢秀之助	奈良公園にて	1967(昭和42)	キャンバス・油彩・額装	53.0× 65.2
7	高橋 功	コスモス・2	2004(平成16)	油彩・木	54.8× 51.0
8	山脇佐久子	無題 (寄託品)	—	キャンバス・油彩・額装	55.0× 46.0
9	井上 松治	雨あがり	—	キャンバス・油彩・額装	72.8× 91.0
10	水戸敬之助	室内	1965(昭和40)	キャンバス・油彩・額装	112.1×145.5
11	佐々木宗一郎	南国の名残り	1974(昭和49)	キャンバス・油彩・額装	130.3×162.1
12	佐藤 義雄	自画像	1935(昭和10)頃	キャンバス・油彩・額装	41.0× 31.8

資料(※以下は全て秋田県立図書館所蔵資料)

No	著者名	書名	出版年	出版元	備考
1	岩井川皓二	「夜のトマト」(伊藤康夫/画)			第7回さきがけ文学賞作品
2		森の散歩 小川恒雄 展	1999(平成11)	京阪百貨店アートサロン	
3	小川 恒雄	TSUNEO OGAWA 2000-2010	2010(平成22)	あかね画廊	
4	木村 榮治	木村榮治作品集	2002(平成14)	秋田文化出版	
5	折原 一	黙の部屋(石田黙/画)	2005(平成17)	文藝春秋	
6	辻 真先ほか	探偵Xからの挑戦状!(石田黙/画)	2009(平成21)	小学館	
7		金沢秀之助個展	1959(昭和34)		
8	秋田県立近代美術館	金沢秀之助展図録	2000(平成12)	秋田県立近代美術館	
9	野菊会	野菊(佐々木宗一郎/画)	1946(昭和21)	野菊会本部	
10	秋田県立近代美術館	佐々木宗一郎展	2006(平成18)	秋田県立近代美術館	
11	佐藤 和子	佐藤義雄画集 1915年～1979年	1980(昭和55)	佐藤和子	

◇関連記事

印刷物

秋田魁新報 12/27、1/17

## ● “ふれんどりーギャラリー” を活用した学校による展示事業

県内の小・中・高等学校、特別支援の学校を対象に、「子どもたちの活躍の場として」「多様な鑑賞体験の場として」「美術教育の取組を交流する場として」美術館に子どもたちの作品などを展示する事業である。

利用団体名・開催日



横手市立平鹿中学校  
平成28年 7月24日(日)～ 8月 7日(日)



秋田県立西目高等学校  
平成28年 8月8日(月)～ 9月 7日(水)



※みんなの教室「私って誰だろう？」の開催に先立ち、以下の展示を行った。



みんなの教室 予告展示 「こどもあーと展 2016」  
主催：秋田県立近代美術館、ART&ENGLISH"森のおと"  
平成28年 4月15日(金)～ 5月 8日(日)



## ●美術館のセカンドスクールの利用

### ◇ 概況

	セカンドスクールの利用											総利用 学校数	総利用 人 数	
	幼・保園		小学校		中学校		特別支援学校		高等学校		その他			
	園数	(人数)	校数	(人数)	校数	(人数)	校数	(人数)	校数	(人数)	団体数			(人数)
4月	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	0
5月	0	(0)	10	(404)	3	(151)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	13	555
6月	2	(61)	6	(188)	1	(46)	1	(23)	0	(0)	2	(35)	12	353
7月	0	(0)	6	(194)	3	(71)	1	(24)	5	(28)	2	(66)	17	383
8月	0	(0)	4	(114)	7	(18)	0	(0)	3	(3)	0	(0)	14	135
9月	0	(0)	14	(327)	6	(94)	1	(7)	0	(0)	0	(0)	21	428
10月	0	(0)	3	(126)	3	(106)	1	(13)	1	(43)	1	(6)	9	294
11月	3	(87)	15	(447)	1	(10)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	19	544
12月	0	(0)	5	(183)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	5	183
1月	0	(0)	1	(25)	0	(0)	0	(0)	3	(3)	0	(0)	4	28
2月	1	(30)	3	(126)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	4	156
3月	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	1	(75)	0	(0)	1	75
小計	6園(178人)		67校(2,134人)		24校(496人)		4校(67人)		13校(152人)		5団体(107人)		園・校・団体*のべ数	3,134人
合計	114校(3,027人)											119		
平成27年度	147校(5,279人)											147	5,279人	
平成26年度	123校(3,620人)											123	3,620人	
平成25年度	102校(4,097人)											102	4,097人	
平成24年度	111校(4,931人)											111	4,931人	

### ◇ 利用校

平成28年度セカンドスクール利用校一覧

あおぞら子ども園	太田南小学校	浅舞小学校	須川小学校	平鹿中学校
大瀧幼稚園	太田北小学校	吉田小学校	雄勝小学校	明峰中学校
認定こども園こひつじ	高梨小学校	醍醐小学校	山田小学校	山内中学校
大瀧小学校	横堀小学校	大森小学校	西馬音内小学校	増田中学校
子吉小学校	角館小学校	十文字第一小学校	三輪小学校	湯沢北中学校
東大曲小学校	中川小学校	十文字第二小学校	羽後明成小学校	羽後中学校
花館小学校	白岩小学校	植田小学校	東成瀬小学校	皆瀬中学校
内小友小学校	生保内小学校	睦合小学校	大瀧中学校	角館高等学校
大川西根小学校	神代小学校	山内小学校	御野場中学校	横手高等学校(定時制)
藤木小学校	西明寺小学校	大雄小学校	西仙北中学校	増田高等学校
角間川小学校	桧内小学校	湯沢東小学校	太田中学校	宮城野高校
神岡小学校	六郷小学校	湯沢西小学校	神代中学校	大曲支援学校せんぼく校
清水小学校	仙南小学校	三梨小学校	角館中学校	横手支援学校
豊川小学校	旭小学校	川連小学校	生保内中学校	稲川支援学校
豊岡小学校	栄小学校	駒形小学校	南外中学校	フレッシュ広場
太田東小学校	増田小学校	皆瀬小学校	横手南中学校	

※部活動等での利用 中学校3校、特別支援学校1校 計4校 93人

### ◇ 利用の位置付け(教科等)

・図画工作科、美術科、生活科、社会科、芸術等の各教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動

### ◇ 内容

- ・鑑賞体験…特別展、企画展、コレクション展、館内外の彫刻作品、「美術館」探検
- ・制作体験…水彩画、墨と顔彩、版画、大画面、土粘土づくり、展覧会と関連した制作 等
- ・探究・職業体験…インタビュー活動、職場体験学習、インターンシップ 等

### ◇ キンピ・アートカード 利用数

・小学校3校、中学校3校、高等学校2校、特別支援学校1校、総合教育センター 計9団体(53セット)

## ●博物館実習

期間：2016(平成28)年9月1日(木)～6日(火) 6日間

実習生所属大学及び人数

秋田公立美術大学3名、京都造形芸術大学1名、武蔵野美術大学1名

※同期間中にインターンシップ 秋田大学1名、岩手大学1名、会津短期大学1名

### ◆実習内容

期日	実習内容
9月1日(木)	オリエンテーション、施設・ギャラリートーク見学、展示に関する実習(展示に関する講話、作品ラベル作成等)、新聞資料等整理
9月2日(金)	教育普及活動補助、受付・監視業務、教育普及活動全般に関する実習
9月3日(土)	教育普及活動(美術館教室)補助、ギャラリートークのための資料調査
9月4日(日)	ギャラリートークのための資料調査、収蔵品に関する実習①(作品取扱・保存について)
9月5日(月)	ギャラリートーク実習、収蔵品に関する実習②(作品撮影)
9月6日(火)	美術館の広報活動に関する実習、実習反省会・資料のまとめ

## ●美術館ボランティア(AMC‘アムック’Akita Museum Cooperator)

秋田県立近代美術館におけるボランティア活動は、生涯学習振興の考えに基づいて導入された。美術館でのボランティア活動を通して、会員が美術に対する愛好心と知識を深めるとともに、県民と美術館の架け橋として主体的に活動することを目指している。

活動は、1カ月に1日(又は半日を2回)程度の活動日を各個人が定め、1年間継続することを原則としている。活動内容は、展示室活動、案内活動、事務補助活動、配布活動、野外彫刻清掃活動、イベント活動、自己研修などの他、会員への毎月の会報作成や、交流会、他美術館等における研修なども行っている。新会員については、事前に館職員とAMC役員によるオリエンテーションを行うなどして活動をサポートしている。

### ◆会員数・活動内容

1 会員数 70名(3月1日現在)

2 活動内容

#### ① 展示室活動・案内活動

i 館内案内、誘導(館内各施設、順路ほか)

・身障者、老人、子供対応

・団体の整理、誘導

ii 美術館での鑑賞マナーの普及活動

iii 資料配付(リーフレット、作品解説チラシほか)

iv 質問対応(展示資料、美術館の概要、観光、道路、交通機関など)

#### ② 事務補助活動

i 印刷物発送準備作業(ポスター、チラシ、美術館ニュースほか)

ii 図書・新聞等の資料整理

#### ③ 自己研修

i ハイビジョン鑑賞(番組、データベース)

ii 館蔵作品の調査研究等(図書資料室)

iii 鑑賞学習会(ギャラリートーク、ワークショップ等への参加)

#### ④ その他の活動

i ふるさと村内でのPR活動(展覧会・付帯事業)

ii ミュージアムコンサート等の手伝い

iii 講演会準備の手伝い

iv 野外彫刻の清掃

v 印刷物(AMC通信など)の作成・発行

### ◆おもな関連行事

① 鑑賞学習会(特別展4本、企画展1本、コレクション展4本で各1～2回)

② 役員会(13回)

③ 講演会・美術館講座・コンサートへの参加

④ 交流会(①回目6/19、②回目1/22)

⑤ 研修旅行(9/25 宮城県美術館「ポーラ美術館コレクション」、仙台市博物館「雪舟と宮本武蔵と水墨画」)

⑥ 新会員オリエンテーション(随時)

⑦ 総会(3/5)

# 収集事業

## 収集方針

- ①秋田蘭画・初期洋風画作品や資料
- ②近代以降の本県出身及びゆかりの作家の作品
- ③日本の美術思潮を学ぶことのできる作品や資料
- ④当館の収集作品としてふさわしい内外の作品や資料

## ●美術品収集

◆美術品等収集状況(平成28年度末まで)

※平成27年度末に種別・写真登録数の訂正を行った。

種別	県美術品取得基金	優秀美術作品収集事業	寄贈	他施設から所管換	合計
秋田蘭画	6	0	1	5	12
東洋画	0	0	1	1	2
日本画	219	31	209	181	640
洋画	51	147	195	73	466
版画	11	60	285	67	423
水彩画	0	1	9	0	10
彫刻	121	12	68	4	205
工芸	29	0	10	1	40
デザイン	0	0	16	6	24
書	13	7	213	2	235
写真	3	0	214	0	217
素描・下絵等	21	0	203	9	233
国内その他資料	5	0	131	5	141
外国版画	0	0	0	2	2
外国彫刻	7	0	0	1	8
外国映像資料等	1	0	2	0	3
合計	487	258	1,557	356	2,659

◆2016(平成28)年度収集

種別	県美術品取得基金	寄贈	他施設から所管換	合計
日本画	0	24	1	25
洋画	0	4	0	4
彫刻	0	1	0	1
工芸	0	1	0	1
デザイン	0	14	0	14
書	0	5	0	5
素描・下絵等	0	36	2	38
国内その他資料	0	11	0	11
合計	0	96	3	99

## 寄贈による収集

No	種別	作者名	作品名	制作年	技法・素材	寸法(cm)
1	日本画	寺崎 廣業	大黒	—	紙本墨画軸装	33.4×46.3
2	日本画	寺崎 廣業	美人観月図	—	絹本着色軸装	119.7×57.3
3	日本画	寺崎 廣業	人物(一人)	—	紙本墨画軸装	107.2×42.7
4	日本画	寺崎 廣業	梅花	—	紙本墨画軸装	130.3×30.2
5	日本画	寺崎 廣業	人物(二人)	—	紙本着色軸装	13.0×24.4
6	日本画	寺崎 廣業	竹石	—	紙本墨画軸装	30.4×44.0
7	日本画	邨田 丹陵	松梅	—	紙本墨画軸装	66.8×28.1
8	日本画	邨田 丹陵	芭蕉	—	紙本墨画軸装	130.2×29.3
9	日本画	高橋 萬年	刈入	—	紙本着色4曲1隻	167.6×336.8

10	日本画	高橋 萬年	大楠公	—	絹本着色軸装一幅	60.0× 70.9
11	日本画	高橋 萬年	山水（草生津川新緑）	—	絹本着色軸装一幅	130.6× 35.0
12	日本画	高橋 萬年	松とススキ	1923(大正12)年	絹本着色軸装一幅	126.2× 41.2
13	日本画	高橋 萬年	都之人物夏景	—	紙本着色軸装一幅	125.9× 29.5
14	日本画	高橋 萬年	神苑之朝	1938(昭和13)年	紙本着色軸装一幅	45.8× 51.4
15	日本画	高橋 萬年	桜に鳩	—	絹本着色軸装一幅	121.2× 35.6
16	日本画	高橋 萬年	不詳（歌仙図）	—	絹本着色軸装一幅	25.8× 23.0
17	日本画	高橋 萬年	不詳（天神）	—	絹本着色軸装一幅	127.3× 42.6
18	日本画	高橋 萬年	不詳（おぼこ）	—	紙本着色額装一点	129.2× 45.0
19	日本画	橋 小夢	花車	1965(昭和40)年頃	絹本着色2曲1隻	107.0×107.0
20	日本画	橋 小夢	立雛	1960(昭和35)年頃	紙本着色軸装	35.0× 43.0
21	日本画	橋 小夢	鷹匠若衆	—	紙本着色短冊	36.0× 6.0
22	日本画	橋 小夢	ふぢむすめ	—	紙本着色短冊	36.0× 6.0
23	日本画	橋 小夢	菊花	—	紙本着色色紙	27.0× 24.0
24	日本画	福田豊四郎	鴉	1940(昭和15)年	紙本銀地着色6曲1双	各168.5×372.0
25	洋画	高橋 功	雄物川町に雪が降る Lareige tembe sur Omonogawa-machi	1997(平成9)年	油彩、板	123.6× 84.0
26	洋画	高橋 功	光（黄色） Lumier(Jaune)	1998(平成10)年	油彩、板	40.0× 49.0
27	洋画	高橋 功	十月の月 La lune d'Octobre	1997(平成9)年	油彩、板	55.0× 17.0
28	洋画	高橋 功	月 La lune	1998(平成10)年	油彩、板	40.0× 15.0
29	彫刻	峯田 敏郎	記念撮影—遠い日の風音・ 小田野直武—	2016(平成28)年	彫刻、桂	180.0×97.0×76.0
30	工芸	橋 小夢	王朝絵巻（仮題）	昭和20年代	名古屋帯仕立 巾	30.0
31	デザイン	橋 小夢	衣装デザイン「お寺のもへじ」	—	墨・顔彩、紙	29.5× 19.4
32	デザイン	橋 小夢	銭塘奇譚 第一場 衣装デザイン 「唐子」	—	墨・顔彩、紙	29.5× 19.4
33	デザイン	橋 小夢	銭塘奇譚 第一場 衣装デザイン 「朱生」	昭和20年代	墨・顔彩、紙	29.5× 19.4
34	デザイン	橋 小夢	銭塘奇譚 第一場 衣装デザイン 「蓮」	昭和20年代	墨・顔彩、紙	29.5× 19.4
35	デザイン	橋 小夢	銭塘奇譚 第二場 衣装デザイン 「朱生」	昭和20年代	墨・顔彩、紙	29.5× 19.4
36	デザイン	橋 小夢	銭塘奇譚 第二場 衣装デザイン 「蓮」	昭和20年代	墨・顔彩、紙	29.5× 19.4
37	デザイン	橋 小夢	衣装デザイン(王昭君、木蘭、 虞美人)	—	鉛筆・墨・顔彩、紙	29.0× 25.5
38	デザイン	橋 小夢	着物図案「秋草に蝶」	昭和初期～10年頃	墨・岩絵具、紙	88.0× 41.5
39	デザイン	橋 小夢	着物図案「紫陽花」	昭和初期～10年頃	墨・岩絵具、紙	91.0× 46.0
40	デザイン	橋 小夢	着物図案「道成寺」	昭和初期～10年頃	墨・岩絵具、紙	65.5× 45.0
41	デザイン	橋 小夢	留袖図案「御所車に草花」	昭和初期～10年頃	墨・岩絵具、紙	90.0× 41.5
42	デザイン	橋 小夢	留袖図案「四季草花」	昭和初期～10年頃	墨・岩絵具、紙	90.0× 42.0
43	デザイン	橋 小夢	留袖図案「春秋草花に汐汲桶」	昭和初期～10年頃	墨・岩絵具、紙	90.5× 41.5
44	デザイン	橋 小夢	留袖図案「藤に秋草」	昭和初期～10年頃	墨・岩絵具、紙	90.0× 41.5
45	書	寺崎 廣業	書	1918(大正7)年	紙本額装	30.0× 87.8
46	書	寺崎 廣業	一行書	—	紙本墨書軸装	129.0× 30.3
47	書	赤星 藍城	二別観楓	—	墨、紙／軸装	
48	書	高坂 修司	駕浪	2004(平成16)年	額装	75.0×161.0
49	書	高坂 修司	好風	2004(平成16)年	額装	106.0×164.0
50	素描	橋 小夢	海辺の春（小下図）	—	鉛筆・顔彩、紙	31.2× 34.5
51	素描	橋 小夢	傀儡師（小下図）	—	鉛筆・顔彩、紙	31.0× 34.5
52	素描	橋 小夢	道行（小下図）	—	墨・朱、紙	41.0× 33.5

53	素描	橘	小夢	地獄太夫（小下図）	—	鉛筆・墨・朱、紙	67.0× 42.0
54	素描	橘	小夢	水妖（下図）	—	鉛筆・墨・朱、紙	58.3× 40.5
55	素描	橘	小夢	襖絵「武士と奴」（小下図）	—	鉛筆・顔彩、紙	37.5×107.0
56	素描	橘	小夢	童子（一）	—	墨・顔彩、紙	20.0× 26.0
57	素描	橘	小夢	童子（二）	—	墨・顔彩、紙	20.0× 26.0
58	素描	橘	小夢	童子（三）	—	墨・顔彩、紙	20.0× 26.0
59	素描	橘	小夢	スケッチブック 6冊	—		
60	素描	橘	小夢	スケッチ（手習本より11枚）	1968(昭和43)年	墨・顔彩、紙	24.5× 16.7
61	素描	橘	小夢	感應丸	大正末～昭和初期	墨・ペン、紙	28.0× 19.0
62	素描	橘	小夢	柳の前	大正末～昭和初期	墨・ペン、紙	28.0× 19.0
63	素描	高橋	萬年	古土佐	—	紙本墨画（淡彩）	31.0× 41.0
64	素描	高橋	萬年	無題	—	紙本墨画（淡彩）	31.0× 40.1
65	素描	高橋	萬年	古佛畫	—	紙本墨画（淡彩）	29.8× 40.8
66	素描	高橋	萬年	無題	—	紙本墨画（淡彩）	30.0× 40.8
67	素描	高橋	萬年	寫生集	—	紙本墨画（淡彩）	30.0× 40.0
68	素描	高橋	萬年	（仮）縮図模写	—	紙本墨画（淡彩）	28.0× 39.0
69	素描	高橋	萬年	（仮）縮図模写	—	紙本墨画（淡彩）	27.8× 39.8
70	素描	高橋	萬年	古佛畫	—	紙本墨画	30.0× 41.0
71	素描	高橋	萬年	模様	—	紙本墨画（淡彩）	30.0× 40.6
72	素描	高橋	萬年	古佛畫	—	紙本墨画（淡彩）	30.0× 41.0
73	素描	高橋	萬年	浮世絵	—	紙本墨画（淡彩）	30.0× 41.0
74	素描	高橋	萬年	（仮）楠木正成	—	紙本着色	23.4× 67.0
75	素描	高橋	萬年	（仮）模写帖、写生帖	—	紙本墨画	28.0× 38.8
76	素描	高橋	萬年	（仮）便せん	—	木版	24.6× 33.2
77	素描	高橋	萬年	（仮）武具	—	紙本墨画	29.0× 38.8
78	素描	高橋	萬年	（仮）犬スケッチ	—	紙本墨画	32.0× 98.4他
79	素描	高橋	萬年	（仮）鯉スケッチ	—	紙 鉛筆 木炭 淡彩	24.0×813.0他
80	素描	高橋	萬年	写生帖	—	紙 鉛筆 淡彩	各 16.4× 23.0
81	素描	高橋	萬年	スケッチ	—	紙 鉛筆 淡彩	12.2× 18.6
82	素描	高橋	萬年	スケッチ	—	紙 鉛筆 淡彩	13.2× 18.2
83	素描	高橋	萬年	スケッチ	—	紙 鉛筆 色鉛筆	15.0× 23.0
84	素描	高橋	萬年	模写	—	紙本着色	36.4× 25.0他
85	素描	高橋	萬年	スケッチ・資料類	—	紙本墨画（淡彩）	15.0× 23.0他
86	資料	橘	小夢	牡丹燈籠(No. 4, 5, 6, 7, 8, 9)	1934(昭和9)年	印刷、紙	25.5× 17.5
87	資料	橘	小夢	絵葉書（女定九郎、お吉人情本、吉三人形）	—	印刷、紙	14.0× 9.0
88	資料	橘	小夢	年賀状（姫君3枚）	1968(昭和43)年	墨・顔彩、紙	14.8× 9.9
89	資料	橘	小夢	年賀状（犬張子1枚、朝日1枚）	1970(昭和45)年	墨・顔彩、紙	14.8× 9.9
90	資料	寺崎	廣業	寺崎氏系譜・箱（表）、箱（裏）、 巻物（巻頭部分）、系譜付属書付物類	—	巻物等	—
91	資料	寺崎	廣業	印章（約24点）	—	印章（約25点）	—
92	資料	橘	小夢	遺愛品（「意匠世界」6冊）	1900(明治33)年	精美会版画	24.0× 16.7
93	資料	橘	小夢	遺愛品（雑誌7冊）	—		—
94	資料	橘	小夢	遺愛品（書籍8冊）	—		—
95	資料	橘	小夢	遺愛品（筆8本、筆立て1個）	—		—
96	資料	橘	小夢	遺愛品（「大和錦」36部）	大正期	木版、紙	14.0× 9.0

#### 他施設より所管換

No	種別	作者名	作品名	制作年	技法・素材	寸法(cm)
1	日本画	福田豊四郎	鳥海山	—	絹本着色額装	43.0× 50.0
2	素描	藤田 嗣治	八千代の肖像画	—	紙 墨	24.0× 17.0
3	素描	東郷 青児	八千代の肖像画	—	紙 墨	24.0× 17.0

## ●図書資料

※平成28年度新収図書登録期間（平成28年3/16～平成29年3/15）

分類	平成28年度新収図書	分類別合計
一般図書		
美術総記	33	1,764
日本美術	26	2,808
西洋美術	1	686
東洋、その他の美術	1	151
秋田資料	3	576
関係諸学	9	932
所蔵品図録、研究報告、年報	284	5,145
展覧会図録	254	8,414
美術雑誌他	74	7,159
計	685	27,635

## ●美術品保存・修復

No.	種別	作家名	作品名	修復内容
-----	----	-----	-----	------

※ 本年度は実施せず。

## ●重要文化財等指定

### 国指定重要文化財

No.	指定年月日	名称	備考
1619	昭和43. 4. 25	絹本著色不忍池図（小田野直武筆）1面	
1971	平成11. 6. 7	絹本著色唐太宗花鳥図（小田野直武筆）3幅	

### 秋田県指定有形文化財

No.	指定年月日	名称	備考
9	昭和32. 4. 4	絹本著色芍薬花籠図（小田野直武筆）1幅	
17	昭和53. 2. 14	小田野直武筆写生帖 1冊	
19	昭和57. 1. 12	鶴之図（沈南蘋筆）2幅対	
21	平成16. 3. 19	紙本着色ファン・ロイエン筆 花鳥図模写 1幅	
22	平成17. 3. 22	平福穂庵 乳虎 1幅	
23	平成20. 3. 21	寺崎廣業筆 高山清秋 6曲1双	
24	平成20. 3. 21	平福百穂筆 春山 1幅	
25	平成23. 3. 22	小田野直武筆 富嶽図 1幅	
6	平成28. 3. 25	白雲筆 奥州街道並羽州街道風景図 1帙2帖	

## 燻 蒸

実施期日：2017年(平成29)1月12日（木）～1月17日（火）

燻蒸場所：5階展示室 総容積 4,596.0m<sup>3</sup>

実施業者：東化研株式会社

※ 燻蒸容積：2階収蔵庫（2室） 1,281.8m<sup>3</sup>  
 3階収蔵庫（3室） 2,091.0m<sup>3</sup>  
 5階展示室（4室） 4,596.0m<sup>3</sup>  
 6階展示室（3室） 2,890.8m<sup>3</sup>  
 地下1階一時保管室 217.1m<sup>3</sup>

収蔵庫及び一時保管室に保管している美術品及び関係資料をカビ・害虫から守るため、平成28年度は燻蒸を東化研株式会社に委託し上記6日間にわたり、実施した。酸化エチレン（C<sub>2</sub>H<sub>4</sub>O）と代替フロン（HFHC134a）の混合剤（商品名エキヒュームS）を気化器によりガス化投薬し、内部濃度を基準有効濃度200g/m<sup>3</sup>の基準として、48時間密閉燻蒸を行った。ガス濃度測定は、ガスが均一化するまでは1時間毎に、ガスが均一化した後は2時間毎に行った。燻蒸期間中は、安全確保の措置を取る。ガス解放は強制ファン等を使用し、速やかに行った。供試虫、供試菌による燻蒸効果判定は(財)文化財虫害研究所で行い、2月に良好と認め、合格と判定した。

# 美術品の貸し出し

No.	作家名	作品名	貸出先	貸出期間	展覧会名など
1	田宮 進	微風の海景	秋田県知事公舎	H21. 8/5～H28. 8/4	知事公舎に展示
2	伊藤 弥太	1. 北国の街 (その2)	秋田県立図書館	H22. 3/1～H28. 3/31	多目的ホールへの展示
3	金沢秀之助	2. 風景Ⅲ			
4	伊藤 弥太	1. 田園の秋	秋田県知事公室秘書課	H22. 4/1～H28. 3/31	副知事室への展示
5		2. 北浦風景			
6	河村千代三	南風	秋田県知事公室秘書課	H24. 2/24～H29. 2/23	公舎玄関に展示
7	渋谷 重弘	1. 時の痕跡	公立大学法人国際	H28. 3/1～8/31	ホールに展示
8	松井 如流	2. 妙	教養大学		
9	勝平 得之	1. <農民風俗十二ヶ月>堆肥 (3月)	秋田県知事公室秘書課	H28. 3/28～5/27	副知事室への展示
10		2. <秋田風俗十題>みづき			
11	勝平 得之	1. <秋田風俗十題>鹿島流し	秋田県知事公室秘書課	H28. 5/28～7/27	副知事室への展示
12		2. <農民風俗十二ヶ月>水車 (7月)			
13	松井 如流	1. 臨張遷碑	一般財団法人毎日書道会	H28/7/1～8/10	「第68回毎日書道会」
14	千葉 禎介	1. 子供たち	秋田市立赤れんが	H28/7/11～10/20	「土方巽の秋田、秋田の
19		2. 雪の秋田	郷土館		土方巽」
20	草薙 興宗	1. 牡丹	平福記念美術館	H28. 7/20～10/10	「没後80年 草薙興宗
21		2. 若い婦人			日本画展」
22	佐藤雄治郎	1. 下浜風景	公立大学法人国際	H28. 9/1～2/28	ホールに展示
23	大井 錦亭	2. 郷	教養大学		
24	藤田 嗣治	1. 横臥裸婦	株式会社キュレイ	H28. 9/1～H29. 9/8	DIC川村記念美術館
25		2. 裸婦	ターズ		いわき市立美術館
26		3. 裸婦立像			新潟県立万代島美術館
27		4. 裸婦立像			
28	勝平 得之	1. <秋田風俗十題>竿燈	秋田県知事公室秘書課	H28. 7. 28～9/27	副知事室への展示
29		2. <農民風俗十二ヶ月>稲刈り (9月)			
30	寺崎 廣業	1. 墨堤之雪	秋田市立千秋美術館	H28. 8. 29～11/27	「生誕150年記念 寺崎
39		2. 天の岩戸			廣業展」
40	勝平 得之	1. <秋田風俗十題>リンゴ	秋田県知事公室秘書課	H28. 9. 28～11/27	副知事室への展示
41		2. <秋田風俗十題>はり			
42	小田野直武	1. 不忍池図	サントリー美術館	H28. 10/20～H29. 1/31	「小田野直武と秋田
56	佐竹 義躬	2. 岩に牡丹図			蘭画」
57	藤田 嗣治	1. ユキ	平野政吉美術財団	H28. 11/1～H29. 2/19	「藤田嗣治 無限に
77	ジャン・コクトー	2. 横顔			深い線」
78	勝平 得之	1. <秋田風俗十題>あねこ	秋田県知事公室秘書課	H28. 11/28～H29. 1/27	副知事室への展示
79		2. <秋田風俗十題>まゆだま			
80	勝平 得之	1. <秋田風俗十題>かきだて	秋田県知事公室秘書課	H29. 1/28～3/27	副知事室への展示
81		2. <農民風俗十二ヶ月>そりひき (12月)			
82	笠原 幸生	1. 日没海2011	笠原幸生	H29. 2/1～3/6	「笠原幸生 彫刻展」
83		2. 日没空2012			
84	福田豊四郎	1. 平原	一般財団法人創画会	H29. 3/1～H30. 3/31	「創画会70周年記念展」
85	佐々木裕久	2. 冬の蟹気楼			
86	掘 文子	1. 廃墟	一般財団法人林美術財団	H29. 3/14～6/18	「白寿記念 掘文子展」
87		2. 八丈島風景	名都美術館		
88	勝平 得之	1. <秋田風俗十題>ささまき	秋田県知事公室秘書課	H29. 3/28～5/27	副知事室への展示
89		2. <農民風俗十二ヶ月>早乙女 (5月)			

## 調査・研究業績

### 仲町啓子

講座 美術館講座「館長講座」ー浮世絵に遊ぶー、秋田県立近代美術館、2016年5月～2017年2月まで8回

### 保泉 充

講座 あきた県庁出前講座「あきたの美術ー秋田蘭画、寺崎廣業を中心にー」 秋田市役所センター 3階、2016年8月10日

講座 あきた県庁出前講座「あきたの美術ー秋田蘭画、福田豊四郎を中心にー」 能代市立図書館、2017年2月19日

講座 明快！アートゼミ「写実絵画を見る」 秋田県生涯学習センター、2016年7月15日

### 西野美佳

講座 あきた県庁出前講座「キンビアートカードを使った鑑賞活動」 秋田県立稲川支援学校、2016年6月23日

資料作成 「キンビ・セカンドスクールプログラム」 秋田県立近代美術館、2017年

資料作成 出前美術館「子ども学芸員のための鑑賞ガイド」 秋田県立近代美術館、2016年

実技講座 きっずあーと「びしゃびしゃアート」 2016年7月17日

発表 平成28年度 北海道・北東北美術教育研究会「美術館を活用した美術教育に関する実践」 秋田県立近代美術館、2016年9月1日

論考 「美術館と学校との連携Ⅲー鑑賞体験の充実を目指してー」『秋田美術No. 53』（紀要） 秋田県立近代美術館、2016年3月20日、pp. 6-24

### 木村雅洋

実技講座 みんなの教室「なが〜い絵巻物を描こう」 2016年12月11日

作品解説 第2期ネットワーク事業「油彩画の魅力〜横手湯沢の洋画家たち〜」ギャラリートーク 秋田県立図書館、2017年1月15日

### 藤井正輝

資料作成 出前美術館「子ども学芸員のための鑑賞ガイド」 秋田県立近代美術館、2016年

実技講座 きっずあーと「どろどろアート」 2016年10月16日

### 奈良 香

講座 明快！Artゼミ「幻の画家・橘小夢とその時代」 秋田県生涯学習センター、2016年10月14日

作品解説 「幻の画家・橘小夢とその時代①～⑤」『秋田魁新報社』 2016年9月12～16日

作品解説 「秋田県立近代美術館特別展 橘小夢とその時代」『河北新報』 2016年11月13日

作品解説 「ギャラリーと〜く 絵画×物語」『秋田魁新報社』 2017年3月8日

### 小林紀子

資料作成 「秋田蘭画と小田野直武」リーフレット 秋田県立近代美術館、2016年

講座 あきた県庁出前講座「キンビアートカードを使った鑑賞活動」 秋田県立稲川支援学校、2016年6月23日

### 鈴木 京

講座 明快Artゼミ「おもしろ浮世絵「遊び絵」の世界〜江戸のユーモアを楽しむ」 秋田県生涯学習センター、2016年5月26日

講座 平成28年度北秋田市民ふれあいプラザ定期講座グッドライフ講座「おもしろ浮世絵「遊び絵」の世界〜江戸のユーモアを楽しむ」 北秋田市民ふれあいプラザ、2016年6月24日

講座 秋田県立大学講義「秋田の歩き方入門」 秋田県立大学、2016年7月15日

講座 あきた県庁出前講座「あきたの美術 秋田ゆかりの作家・作品〜日本画を中心に〜」 川尻地区コミュニティセンター、2016年8月17日

講座 あきた県庁出前講座「あきたの美術〜日本画 寺崎廣業を中心に〜」 泉地区コミュニティセンター、2016年12月13日

作品解説 『江戸の遊び絵づくし』図録 アートワン、2016年

作品解説 「ギャラリーと〜く 特別展 江戸の遊び絵づくし 上」『秋田魁新報』 2016年5月4日

作品解説 「ギャラリーと〜く 特別展 江戸の遊び絵づくし 下」『秋田魁新報』 2016年5月11日

作品解説 『小田野直武と秋田蘭画』図録 サントリー美術館、2016年

## 村田詩織

資料作成 「秋田県立近代美術館 館内マップ」秋田県立近代美術館、2017年

## 高橋 満 (秋田県立近代美術館長期研修員)

資料作成 「2016年県内美術展開催一覧 (1~12月)」『秋田美術No. 53』（紀要）秋田県立近代美術館、2017年3月20日、pp. 50-58

## 刊行物

◆2015年度 秋田県立近代美術館年報 2016年6月発行 A4判 58頁

◆秋田蘭画と小田野直武リーフレット 2016年9月・2017年3月発行 A4巻三つ折 6頁

◆秋田県立近代美術館ニュース『ARK』No. 72 2016年9月発行 A4判 4頁

展覧会レポート：江戸の遊び絵づくし展、ホキ美術館展

2016コレクション展 第1期「斎藤寅彦 時の跡」、2016コレクション展 第2期「没後60年 高橋萬年」

トピックス：橘小夢とその時代展

レポート：キンビ・創作体験プログラム “きっずあーと” 「びしゃびしゃアート」

インフォメーション：2016年度・下半期の美術館事業

◆秋田県立近代美術館ニュース『ARK』No. 73 2017年3月発行 A4判 4頁

展覧会レポート：橘小夢とその時代展、生誕150年寺崎廣業とその時代展、絵画×物語 描かれたストーリー展、

2016コレクション展 第3期「異国へのまなざし」

Artが学校にやってきたin大瀧小学校・中学校

トピックス：2016コレクション展 第4期「My コレクション」

レポート：セカンドスクール利用状況

インフォメーション：2017年度・上半期の美術館事業

### ※秋田県立近代美術館ニュース『ARK (アーク)』

秋田県立近代美術館では、展覧会の概要やさまざまな美術館活動などの広報を目的とし、美術館ニュース「ARK」を年2回発行している。(平成20年度よりデザインを親しみやすいものに改変した)「ARK」とは、ラテン語で「箱」を意味する言葉で、『聖書』では、ノアが大洪水から逃れた箱船のことをさす。当館の外観が“空中に浮遊する巨大な箱船”に見えることから命名された。

◆秋田美術 第53号 2017年3月20日発行 A4 58頁

随想：福田豊四郎《早苗曇り》—不思議な少年—

美術館と学校との連携Ⅲ —鑑賞体験の充実を目指して—

《寄稿》福田豊四郎における落款の基礎的研究

高橋萬年の落款について

2016年県内美術展開催一覧

仲町啓子 (秋田県立近代美術館 館長)

西野美佳 (秋田県立近代美術館 主任学芸主事)

安田隼人 (小坂町立総合博物館郷土館 学芸員)

鈴木 京 (秋田県立近代美術館 学芸主事)

高橋 満 (秋田県立近代美術館 長期研修員)

### ※秋田美術

秋田県の美術や美術教育、そして展覧会等に関する調査・研究活動の成果を論文として集約するとともに、秋田県内の美術界の動きを総括し、県内美術館、ギャラリー等の展覧会開催状況をまとめている。

◆平成29年度行事案内リーフレット 2017年3月発行 A4 2頁

◆平成29年度キンビ・創作体験プログラム 2017年3月発行 A4 2頁

◆秋田県立近代美術館 館内マップ 2017年3月発行 A4巻三つ折 6頁

◆キンビセカンドスクールプログラム 2017年3月発行 A4 4頁

# 入館状況

## 平成28年度 月別入館者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
入館者数(人)	4,228	9,131	6,916	9,370	11,027	9,551	9,590	6,835	3,274	4,175	3,145	3,073	80,315

## 利用者数一覧表

事業別 区分	入館者	特別展入場者					企画展入場者			その他 ※(4)	
		江戸の遊び絵 づくし展	ホキ美術館展	橘小夢と その時代展	寺崎廣業と その時代展	計	食～自然から の恵み～ ※(1)2/13～	絵画×物語 展 ※(2)～4/16	計	計	
開催期間	4/1(金)～ 3/31(金)	4/23(土)～ 6/26(日)	7/2(土)～ 9/11(日)	9/17(土)～ 11/27(日)	12/3(土)～ 2/5(日)		4/1(金)～ 4/17(日)	2/11(土)～ 3/31(金)			
日数(日)※(3)	352	65	72	72	52	261	17	49	66	25	
利用者数(人)	80,315	11,909	19,142	8,769	1,968	41,788	1,755	4,498	6,253	32,274	
一日平均(人)	228	183	266	122	38		103	92			
有 料	個 人	一般・学生	7,467	13,763	5,895	812	27,937	-	-	0	0
		シルバー	-	-	-	197	197	-	-	0	0
		身障 一般・学生	283	625	327	-	1,235	-	-	0	0
		団体 一般・学生	807	1,126	482	22	2,437	-	-	0	0
	合計		8,557	15,514	6,704	1,031	31,806	0	0	0	0

※(1)「食～自然からの恵み～」は、平成28年2月13日～平成28年4月17日まで開催。

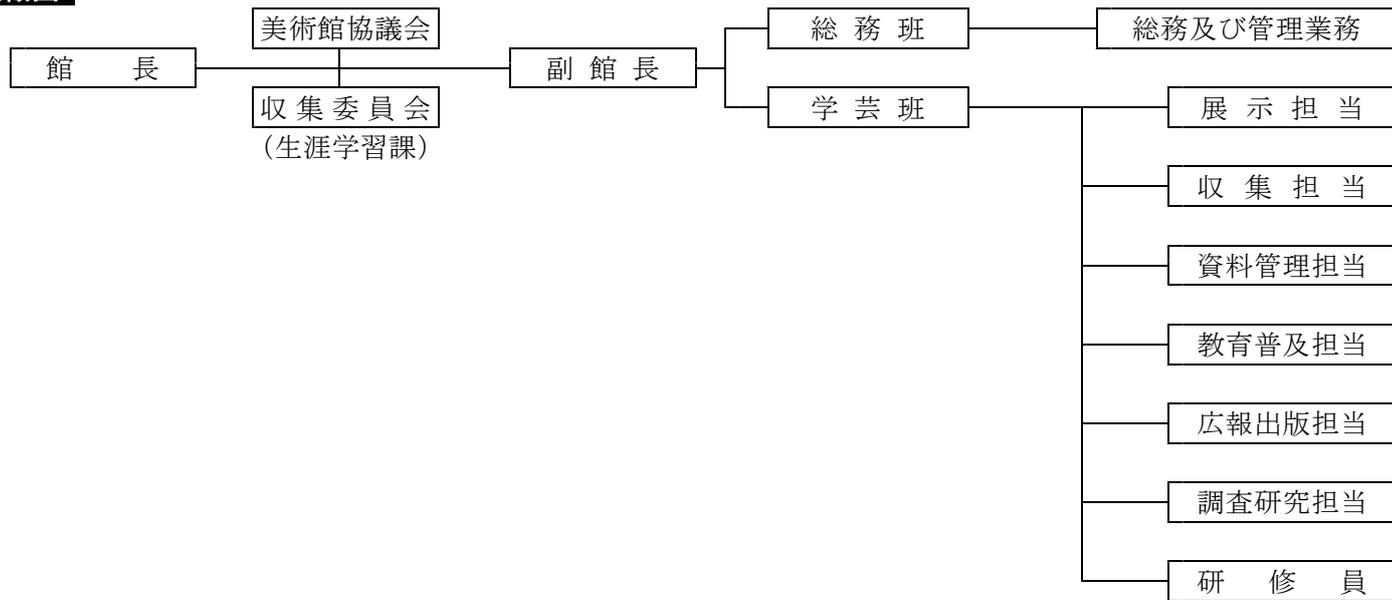
※(2)「絵画×物語 描かれたストーリー」は、平成29年2月11日～平成29年4月16日まで開催。

※(3) 平成28年12月29日～31日、平成29年1月10日～19日は年末及び館内メンテナンスのため休館。

※(4) その他利用者数32,159人には特別展期間中入館者22,517人、ネットワーク事業(県立図書館にて)の観覧者5,676人、大潟村立大潟小学校・中学校出前美術館の観覧者780人、出前授業の参加者75人、能代エナジウムパーク出前美術展の観覧者871人、会期中の出前講座の参加者40人、常設展の2,315人等が含まれる。

# 組 織

## 組織図



## 職 員

館 長  
副 館 長  
副主幹(兼)班長  
副 主 幹  
主 査  
主任学芸主事(兼)班長  
主任学芸主事  
学 芸 主 事

技 能 主 任  
研 修 員  
事務補助職員  
事務補助職員

仲 町 啓 子  
三 浦 直  
古 村 光 晴  
柴 田 卓 也  
茂 木 亨  
保 泉 充  
西 野 美 佳  
木 村 雅 洋  
藤 井 正 輝  
奈 良 香  
小 林 紀 子  
鈴 木 京  
伊 藤 正 信  
高 橋 満  
本 間 恵里子  
草 薨 亜 樹

学 芸 補 助 職 員  
解 説 員

村 田 詩 織  
岡 田 聡 子  
樋 渡 初美香  
柴 田 千 泰  
藤 田 園  
菊 地 佳 奈  
沓 澤 史 恵  
佐 藤 美 佳  
藤 沢 香奈子  
佐 藤 理 美  
鈴 石 睦 美  
原 彩 野  
児 玉 友 美

## 美術館協議会委員

会 長  
副 会 長

木 村 雅 美  
亀 沢 修  
浅 野 壽 里  
泉 一 志  
檜 尾 典 子  
澤 谷 ゆりか  
澁 谷 和 之  
永 沢 弘  
松 田 砂 織  
涌 井 良 介

横手市まちづくり推進部生涯学習課長  
小坂町教育委員会事務局長  
アート教室「森のおと」主宰  
秋田魁新報社文化部長  
公募(イベント会社役員・司会業)  
秋田ふるさと村総務部総務課長  
澁谷デザイン事務所代表  
横手市立横手南小学校長  
えがおの花書道教室代表  
日本放送協会秋田放送局長

# 建築・設備概要

## 建築概要

建設地／秋田県横手市赤坂富ヶ沢62-46  
敷地面積／164,936.81㎡(秋田ふるさと村)  
建築面積／2,947.32㎡  
延床面積／11,166.50㎡  
構造／鉄骨鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)  
地下1階 地上7階 PH1階  
設計／株式会社 山下設計東北支社  
監理／秋田県土木部営繕課・山下設計東北支社

## 施工

建築工事／大成・フジタ・三井・伊藤建設工事企業体  
空調／ダイダン・山二建設工事共同企業体  
電気／東光電気・伊藤電気建設工事共同企業体  
給排水衛生／岡田水道施設工事(株)  
受変電／羽後・伊藤電気建設工事共同企業体  
弱電／千代田電気工業(株)  
昇降機／三菱電機(株)

## 設備概要

### ●電気設備

受変電設備／受電電圧3φ 3W 6.6KV 50Hz  
設備容量1,500KW

非常用発電設備／ディーゼル発電器(A重油)300KVA200V

蓄電池設備／非常照明・電源設備制御兼用 250Ah×1台

監視設備／中央監視装置：機能分散型DDC方式による集中監視制御

照明設備／蛍光管主体

展示室照明：高演色性蛍光管(調光及び集中点滅制御方式) 外壁照明：無電極ランプ(パターン照明方式)

視聴装置設備／拡声放送・電気時計・身障者トイレ呼出表示・TV共聴研修室AV装置・ハイビジョンギャラリー4系統(110インチ背面投射型1台・60インチ背面投射型3台)ハイビジョンデータベースシステム1系統(32インチCRT1台)

防犯設備／防犯センサー・ITV装置

防災設備／自動火災装置・防排煙設備

### ●空調設備

熱源設備／吸収式冷温水発生機2000RT×2台 LPG  
焚真空式温水ボイラー80,000Kcal/H×1台

空調設備／ユニット型空調機(還風機組込型)×4台  
ユニット型空調機(全熱交換機組込一体型)×5台  
ファンコイルユニット天井カセット型×105台  
水冷式パッケージ型空調機×6台  
空冷式ヒートポンプ型パッケージ×3台

換気設備／第1種及び第3種換気方式

排煙設備／機械排煙及び自然排煙

自動制御設備／機能分散型

薫蒸設備／常圧手動式ユニット型20㎡

### ●給排水衛生設備

給水設備／上水引込口径75mm 重力給水方式  
受水槽24m<sup>3</sup> 高置水槽6m<sup>3</sup>

給湯設備／局所式(電気貯湯式)：各階湯沸室・宿直室ガス

排水設備／建物内：汚水・雑排水・雨水の各分流式  
建物外：生活排水はふるさと村施設全体の浄化槽へ導入

ガス設備／ふるさと村施設全体の集中LPG装置より供給  
主に空調用熱源のエネルギー源として利用

消火設備／炭酸ガス消火・屋内消火栓

### ●エレベーター設備

乗用エレベーター 1150kg 105m/分 2台

乗用エレベーター 1150kg 90m/分 1台

荷物用エレベーター 3000kg 45m/分 1台

小荷物用エレベーター 300kg 30m/分 1台

### ●エスカレーター

展望エスカレーター 9000人/時 30m/分 1分

## 主な設備

5階展示室(4室) 983.10㎡	収蔵庫(5室) 852.9㎡
(1)260.28㎡	会議室 69.4㎡
(2)293.76㎡	実習室・準備室 135.0㎡
(3)237.13㎡	図書資料室 160.5㎡
(4)191.93㎡	調査研究室 45.5㎡
6階展示室(3室) 786.90㎡	ハイビジョンギャラリー 241.9㎡
(1)255.96㎡	研修室 226.7㎡
(2)293.76㎡	キッズ・ルーム 128.9㎡
(3)237.13㎡	

# 関係法規

秋田ふるさと村条例（抜粋）

## 第1章 総則

（設置）

### 第1条

秋田県の文化遺産を次代に継承するとともに、郷土の文化を創造する機会を提供し、及び観光レクリエーション活動のための利便の増進を図り、もって県民のゆとりのある文化的な生活の向上に寄与するため、秋田県ふるさと村（以下ふるさと村という）を横手市赤坂字富ヶ沢に設置する。

（業務）

### 第2条

ふるさと村は、次の表の上欄に掲げる施設の区分に応じ、それぞれ同表の下欄に掲げる業務その他ふるさと村の設置の目的を達成するために必要な業務を行う。

施設	業務
秋田県立近代美術館	県にゆかりある作家の優れた美術作品を中心に収集し、保管し、及び展示し、併せて美術に関する調査研究及び普及活動を行う。

## 第2章 近代美術館

（近代美術館）

### 第4条

秋田県立近代美術館（以下「近代美術館」という。）は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第30条に規定する教育機関とする。

（職員）

### 第5条

近代美術館に事務職員その他の所要の職員を置く。

（近代美術館協議会）

### 第6条

近代美術館に博物館法（昭和26年法律第285号）第20条第2項に規定する博物館協議会として、秋田県立近代美術館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会は、委員10人以内で組織する。

3 委員は、次に掲げる者のうちから、教育委員会が任命する。

- 一 学校教育及び社会教育の関係者
- 二 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- 三 学識経験のある者
- 四 近代美術館の利用者

4 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（入場料等の徴収）

### 第7条

近代美術館の特別展示室（特別の企画に基づく展示

を行う展示室をいう。以下同じ）に入場する者から、別表第1に定めるところにより、入場料を徴収する。ただし、幼児、小学校児童、中学校及び高等学校の生徒並びに高等専門学校及び大学の学生（これらの者に準ずる者を含む。）については、この限りではない。

2 前項本文の規定にかかわらず、同項本文の入場料と合わせてふるさと村のスノーホワイト城又はかまくらシアターの使用料を同時に納める者の入場料（定期券によるものを除く。）については、別表第1に定める金額の範囲内において知事が別に定める。

3 入場料は、特別展示室への入場の都度徴収する。ただし、定期券による入場にあたっては、これを発行するときに徴収する。

（入場料等の減免）

### 第8条

知事は、特別の理由があると認めるときは、入場料を減免することができる。

（入場料等の不還付）

### 第9条

既に徴収した入場料は、還付しない。ただし、知事は、入館者の責めに帰することができない理由により特別展示室に入場することができなくなった場合その他特に必要があると認められた場合は、その一部又は全部を還付することができる。

（規則への委任）

### 第10条

この条例に定めるもののほか、近代美術館の管理に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

## 附則

この条例は、平成26年4月1日から施行する。

## 別表第1

特別展示室の入場料（第7条関係）

区分	金額（一人につき）
普通料金	820円。ただし、知事が別に定める展示にあつては、1,500円を超えない範囲内で知事が定める額
団体料金 （20人以上の団体）	740円。ただし、知事が別に定める展示にあつては、1,350円を超えない範囲内で知事が定める額
定期券 （有効期間1年）	2,500円。

## 教育機関の管理及び運営に関する規則（抜粋）

（趣旨）

### 第1条

この規則は、学校以外の教育機関の管理及び運営の基本的事項を定めるものとする。

### 第12条

条例第7条の規定による使用料の減免を受けようとする者は、別に定めるところにより、申請書を知事に提出しなければならない。

### 第8章の2 近代美術館

（開館時間）

#### 第37条の2

秋田県立近代美術館（以下この章において「近代美術館」という。）の開館時間は、午前9時30分から午後5時までとする。ただし、近代美術館の長（以下この章において「館長」という。）は、必要があると認めるときは、当該時間を変更することができる。

（休館日）

#### 第37条の3

近代美術館の休館日は、次の各号に掲げるとおりとする。

- 1 年始（1月1日及び1月2日）
- 2 年末（12月29日から12月31日まで）

（資料の館外貸出し等）

#### 第37条の4

近代美術館の資料の館外貸出しを受け、又は特別利用しようとする者は、館長の定めるところにより、所要の手続きを経なければならない。

（準用）

#### 第37条の5

第3条第3項及び第4項の規定は近代美術館の休館日の取扱い等について、第6条の規定は近代美術館の利用を拒否し、又は近代美術館からの退去を命ずる場合について、第7条の規定は近代美術館に資料を寄贈する場合等の手続について、第12条の規定は秋田県ふるさと村条例（平成5年秋田県条例第45号）第8条の規定による入場料の減免を受けようとする場合について準用する。

（補則）

#### 第37条の6

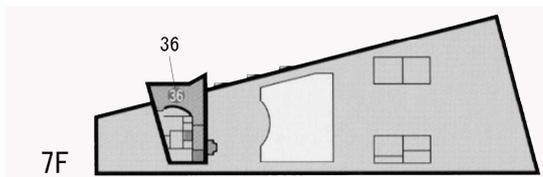
この章に定めるもののほか、近代美術館の管理及び運営に関し必要な事項は、館長が教育長と協議して別に定める。

## 附則

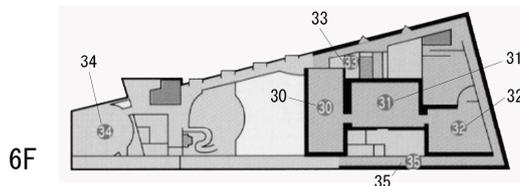
この規則は、平成26年4月1日から施行する。

# 館内図

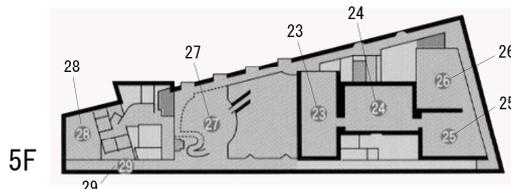
7F 36 近美キッズ・ルーム Kid's Room



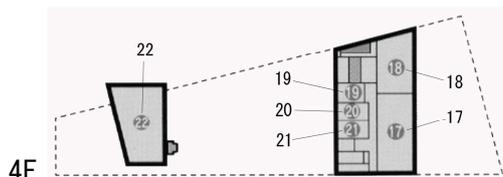
6F 35 スロープギャラリー Slope Gallery  
 34 研修室 Auditorium  
 33 授乳室 Baby Room  
 32 展示室(3) Exhibition Gallery3  
 31 展示室(2) Exhibition Gallery2  
 30 展示室(1) Exhibition Gallery1



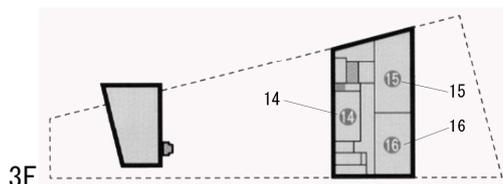
5F 29 ふれんどりーギャラリー Friendly Gallery  
 28 ハイビジョンギャラリー Hi-Vision Gallery  
 27 中央ホール Main Hall  
 26 展示室(4) Exhibition Gallery4  
 25 展示室(3) Exhibition Gallery3  
 24 展示室(2) Exhibition Gallery2  
 23 展示室(1) Exhibition Gallery1



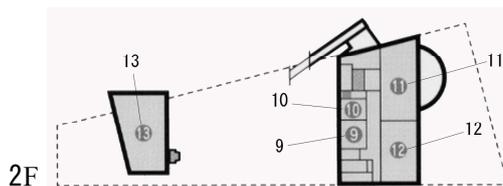
4F 22 電気室 Electric Room  
 21 調査・研究室 Study Room  
 20 館長室 Director's Room  
 19 応接室 Lounge  
 18 図書・資料室 Library  
 17 事務室 Museum Office



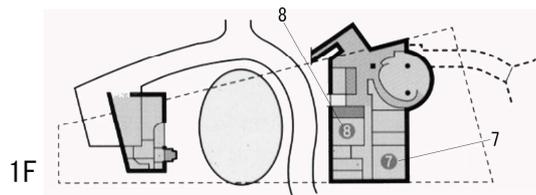
3F 16 収蔵庫(5) Storage Room5  
 15 収蔵庫(4) Storage Room4  
 14 収蔵庫(3) Storage Room3



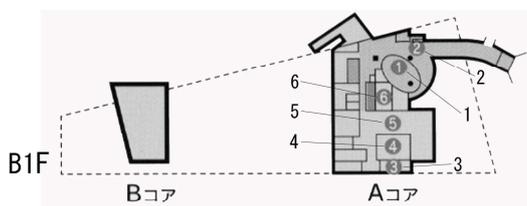
2F 13 機械室 Machine Room  
 12 収蔵庫(2) Storage Room2  
 11 収蔵庫(1) Storage Room1  
 10 暗室 Dark Room  
 9 写真室 Photo Studio

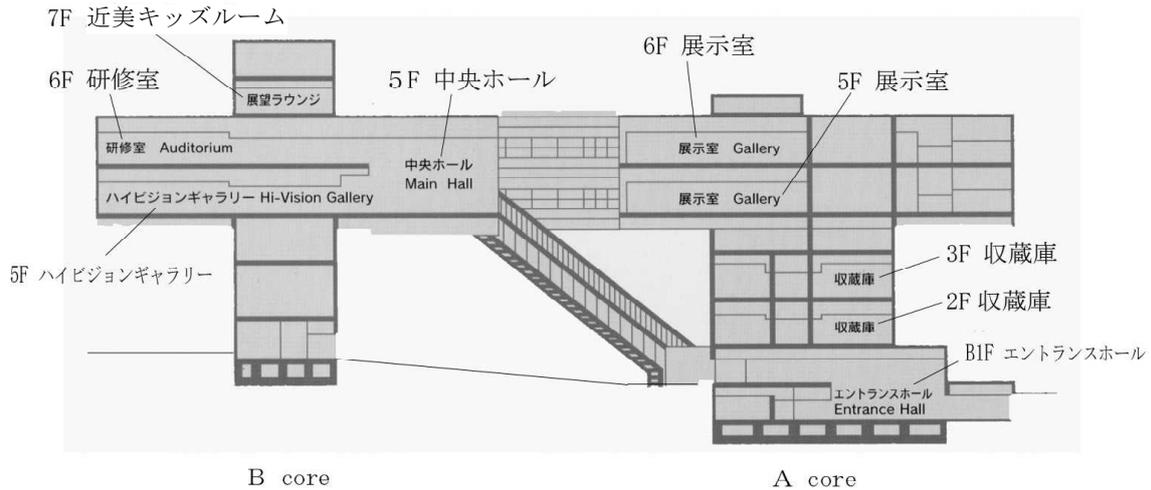


1F 8 会議室 Conference Room  
 7 実習室 Atelier



B1F 6 薫蒸室 Fumigation Room  
 5 荷解室 Packing Room  
 4 一時保管庫 Temporary Storage Room  
 3 管理室 Guard Room  
 2 インフォメーション Information  
 1 エントランスホール Entrance Hall





- 1 エントランスホール  
彫刻が並ぶアプローチギャラリーを抜けると大理石の壁に囲まれたエントランスホールが広がります。
- 2 エスカレーター 外の景色をながめながら、1階から5階へと皆様をお連れします。
- 3 中央ホール 自然光一杯のアトリウムは展示スペースへの入り口です。正面にハイビジョンギャラリー、右へ進むと展示室へと続きます。
- 4 ハイビジョンギャラリー 美術館の所蔵品や国内外の名作を高精細度の画像で提供するスペースです。
- 5 展示室 5階4部屋の企画展示室では、美術館独自の企画、他美術館・諸団体との共催により、広く内外の美術を特色あるテーマでご紹介します。また6階3部屋のコレクション展示室では、年4～6回の展示替えを行いながら、美術館の所蔵品を常時公開しています。
- 6 実習室 専門的な技法講座や基礎的な美術講座など、幅広い実技講座を行います。
- 7 研修室 充実したAV機器を完備し、展覧会に合わせた講演会の開催や美術史講座など、多目的に活用できるスペースです。
- 8 収蔵庫 5室からなる収蔵庫は、温湿度管理によって多くの作品保存・管理に対応できる機能をもっています。
- 9 野外展示スペース 自然の起伏を利用した緑の中の展示空間です。見るだけでなく、直に触れることで、より身近に作品を鑑賞していただけます。

## 利用案内

### ◆開館時間

午前9時30分～午後5時00分  
(入館は午後4時30分まで)

### ◆休館日 (2016年度)

2016年12月29日～12月31日(年末休館)  
2017年1月10日～1月19日(メンテナンス休館)

### ◆料金

	一般	高・大学生	小・中学生	未就学児	障害者
特別展 江戸の遊び絵づくし展 団体(20名以上)・前売り料金	1,100円 900円	無料	無料	無料	半額
特別展 ホキ美術館展 団体(20名以上)・前売り料金	1,200円 1,000円	800円 600円	無料	無料	半額
特別展 橘小夢とその時代展 団体(20名以上)・前売り料金	1,000円 800円	500円 400円	無料	無料	半額
特別展 寺崎廣業とその時代展 団体(20名以上)・シルバー(70歳以上)料金	500円 450円	無料	無料	無料	無料
企画展・コレクション展	無料	無料	無料	無料	無料

教育課程に基づく学習活動として利用する児童・生徒・学生及び引率者の入館料は免除されます。あらかじめ「観覧料免除申請書」を提出し、その承認を受けて下さい。

## General Information

### ◆Museum hours

9:30 a.m. ～5:00 p.m. (Last Admission 4:30 p.m.)

### ◆Closed (Fiscal year 2016)

- Dec. 29-31, 2016 Year-end Holidays
- Jan. 10-19, 2017 Maintenance Week

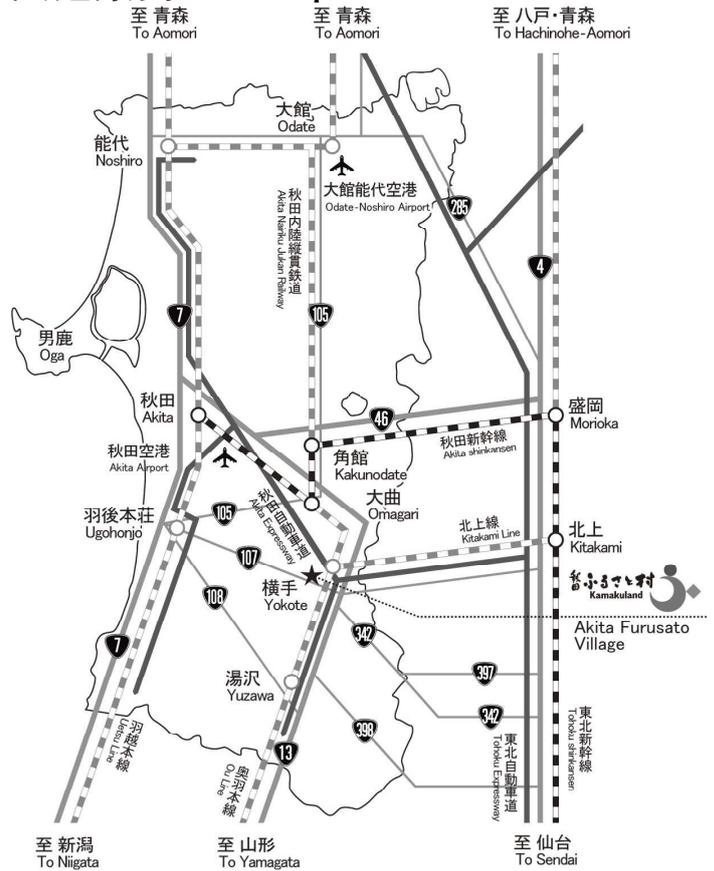
### ◆Admission Fee

	Adult	senior high school & college student	elementary school & junior high school student	pre-school child	handicapped person
Special Exhibition Edo no asobiezukushi ※	¥1,100 ¥900	¥0	¥0	¥0	¥550
Special Exhibition Hoki Museum ※	¥1,200 ¥1,000	¥800 ¥600	¥0	¥0	¥600
Special Exhibition Sayume Tachibana ※	¥1,000 ¥800	¥500 ¥400	¥0	¥0	¥500
Special Exhibition Kogyo Terasaki *	¥500 ¥450	¥0	¥0	¥0	¥0
Permanent Exhibition	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0

※ Group Discount (20 persons and more) & an advance ticket.

\* Group Discount (20 persons and more) & Senior discount (persons of 70 and above).

## 交通案内 Transportation



- (JRとバスで)  
JR横手駅東口からバス「ふるさと村行き」で、ふるさと村下車
- (お車で)  
秋田自動車道 横手インターより3分
- (高速バスで)  
高速バス 湯沢・秋田線「横手インター入口」下車 徒歩10分
- (By JR train and bus)  
Get off at JR Yokote Station. Go out of the East Exit and take the bus for Akita-Furusato Mura.
- (By car)  
Get off at Yokote Interchange on the Akita Express Way, then you will get there in 3 minutes.
- (By Express bus, Yuzawa-Akita Line)  
Get off at "Yokote Inter Iriguchi", then you will get there in 10 minutes on foot.

秋田県立近代美術館年報 2017年6月発行

編集・発行 秋田県立近代美術館

〒013-0064 秋田県横手市赤坂字富ヶ沢62-46

TEL. 0182-33-8855 FAX. 0182-33-8858

URL [http://www.pref.akita.jp/gakusy/public\\_html/index.html](http://www.pref.akita.jp/gakusy/public_html/index.html)

E-mail: [akitamma@rnac.ne.jp](mailto:akitamma@rnac.ne.jp)